



ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 366 : GOVERNOR'S

Monthly Letter

第366区 ガバナー

井関久楠

区内各会長及び幹事殿あて

月 信 (写)

GOVERNOR: HISAGUSU ISEKI

OFFICE: 和歌山市西汀丁 内田ビル 3階

Uchita Bldg., Nishi-Migiwacho, Wakayama-shi

ADDRESS: P.O. BOX 5, WAKAYAMA

和歌山局 私書箱5号 640-91

TELEPHONE: 0734-22-0847

CABLE ADDRESS: INTEROTARY WAKAYAMA

第 1 号 (昭和45年 7 月 1 日 発行)

No. 1 July 1. 1970



William E. Walk, Jr. R.I. 会長と井関久楠ガバナー (1970.5.23 レークブラシッド・クラブにおいて)

A Message from the President of Rotary International 1970—71

BRIDGE THE GAPS

- ＊ between people
- ＊ between nations
- ＊ between man and his environment

William E. Walk, Jr.
President

1970—71年度 国際ロータリー会長のメッセージ

隔りを取り除こう

- ＊ 人と人との間の
- ＊ 諸国間の
- ＊ 人とその生活環境の

ウィリアム E. ウォーク Jr. 会長

就任ご挨拶

新らしく生れました第366区のロータリアンの皆さん。この世界的な偉大な組織を持つロータリーを通じて、1970—71年度に特に親しくおつきあいする機会を持つ事を心から喜んでおります。私は去る5月19日から27日までアメリカのニューヨーク郊外レックプラシッドで開かれた国際ロータリー協議会に出席いたし、引続きアトランタに開かれたロータリー規定審議会及び国際大会に出席して今日までにかつて味わった事のない大きな感激を持って帰って参りました。

RI現会長、次期会長その他諸先輩方に滞在中たびたび親しくお眼にかかり、特に次期会長から本年度ロータリーの進むべき方向を直接お聞きする機会を与えられた事を無上の幸福と考えております。この本年度会長の意見を皆さん

にお伝えして、それぞれの新しいアイデアを考え出してロータリーに貢献していただく重大な責任をになつて参りました。

その一つは、このすばらしいロータリーをひとりでも多く私共と分かちあえる立派な会員を7月中に1クラブ1名宛、会長の責任においてふやすということです。そうする事によつて全世界に1万4千名の立派な新会員ができます。更に9月中に各地区に一つは是非新しいクラブをふやすことです。これはガバナーの責任です。それによつて世界中に314の立派な新クラブができるはずであります。

次に本年かかげるテーマは、この現代世界の緊迫した情勢を反映したものであります。そのためには、先づ70年代の人間を理解する必要があります。青少年、成年と老人、皮膚の黒い人、黄色い人と白い人、富める人と貧しい人、雇主と従業員、都会人と農村人、学

生と教師など、そうしてそれに世代間のギャップ、社会的ギャップ、人口移動のギャップ、経済的ギャップが生れておるのであります。そのギャップを生み出したのが人間であります。人間が作り出したものならば人間がそれを取り除く事ができるはずであります。誰れかがそれを除く事を助けなければなりません。

ロータリーはこれらの問題をとりあげて、そのギャップを取り除くために本年度だけでなく70年代にわたって、会務奉仕、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕のそれぞれについて、そのロータリーの精神を活かして努力して行くべきだといふのであります。

会員の皆さん。こん身の力をふるつて、お互に手を取りあつて、ギャップを取り除くことに努力しようではありませんか。

塚本前ガバナーへのお礼のことば

この一年間いろいろご苦労様でした。厚くお礼を申し上げます。塚本さんは全くロータリアンとしての 先天的なご性格をお持ちの方でした。それは、もちろん40年近くもロータリアンであられ、しかも幹事を永く勤められ、遂に名誉幹事という他のクラブに例のないお世話をしていたいただいた事にもよりましようが、そのお人柄が内満な人なつつい全く角のない人格者であられたため、極めて自然に気取るような事なく、楽しくガバナーをおつとめいただいた事を眼のあたりに拝見して、私もその十分の一でもあやかりたいと思つておつたのでございます。

殊に、万国博の開催中でありその事務万端を引受けられ、一層多忙であられた中に、前RI会長の方針をよく実践いただきまして、かずかずの新陳代謝を計つてロータリーの向上発展に努力していただきました。まづ何よりも地区の

分割を実現下され、更に公式訪問、地区大会、インターシテイ・フォーラム等にかずかずの革新をスムーズにやつてのけられました。さらに新クラブを数多く創設されました。これらのことをひとつひとつ数えあげれば全く際限がない程、数多くの事績を残されました。これを引継ぐ私は、余りの貧弱さを感じて、き憂しておる次第です。何とぞ今後とも大阪の中央におられる有力なパストガバナーとして、自由な立場でより一層御指導と御協力をお願いいたします。今日までのお礼を厚く申し上げます。本当にありがとうございました。

■366地区 1970—1971年度 クラブ出席競争規定

- (1) 出席競争は7月1日より翌年6月30日までの年度について行なう。
- (2) 各月の出席率により、それぞれ順位を決定してガバナー月信に発表する、同率のクラブが2以上あるときは、会員数の多きを上位に、また会員数も同じ場合は創立の古きを上位とする。
- (3) 年間出席の優秀なクラブに対しては上位より10位までにガバナーより賞を贈る。最優秀のクラブに対しては、地区年次大会の席上で優勝旗を贈られる。

■クラブ出席競争についての考え方

今年度より当地区が第366地区として新しく分離発足して、現在は52クラブとなりましたので、今年度は昨年度の第1、2、3、の区分をやめて、会員数にとらわれずに出席率を競うことといたします。100人以上の会員数のクラブには多少苦しいことと思われませんが、現在において100人以上の会員数のクラブが4クラブですので、会員数の区分をなくすることとします。

■年度はじめに当りご注意とお願い

新年度にあたりお忘れなくやつていただきたい諸手続きや送金がありますので、次に申します。

◎委員会資料

これは4色の用紙に印刷されて「クラブ会長必携」にはいつております。必ず会長からそれぞれの委員長へ配付の上よくよんで実行するようにして下さい。資料のない委員会については、会長から活動すべき内容を指示して委員の働きやすいように配慮下さい。

◎クラブ出席率の報告

6月分の報告は7月10日迄に必着するよう塚本前ガバナーあてにお出し下さい。7月分からは私の事務所あてをお願いします。

◎新会員・退会会員・変更会員の報告

これは幹事さんの仕事ですが、報告用紙を手に入れて、新会員・退会会員・変更会員（会員種類・職業分類・住所など）をかならずそのつど、国際ロータリー中央事務局およびガバナー事務所へご提出下さい。

◎クラブの刊行物

クラブ会報やそのほか、クラブで発行されている刊行物は1部をガバナーへお送り下さい。他の1部はエバンストンの国際ロータリー中央事務局へ郵送して下さい。

◎R Iへの年度初めの報告

別項の年間カレンダーに指定してあるとおりに、クラブから提出すべき各種の報告と送金とを7月早や目をお願いします。

- ① 半期報告
- ② 人頭分担金
- ③ ロータリアン誌の購読数報告
- ④ ロータリー財団への寄付
- ⑤ ロータリー米山記念奨学会への寄付
- ⑥ ロータリーの友購読数報告と送金

⑦ 地区資金送金

⑧ ガバナー月信購読料送金

⑨ ボーイスカウトジャンボリーへの寄付等です。詳細は別項のカレンダーをご覧ください。

◎公式訪問について

別項のとおり実行するつもりです。1ヶ月ぐらい前に書面を差上げて確認いたしますが訪問日の10日乃至2週間前までに「クラブの計画及活動目標の要約」をガバナー事務所迄お送り下さるようお願いいたします。それをよく読んでから訪問いたしたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。時間割その他は前塚本ガバナーの方針と同じです。また予定表にありませんでした新クラブについては後程早いめに決定して日程をお知らせいたします。

■ガバナー月信について

先般各クラブへの月信の購読数をお知らせ願いました。できるだけ沢山の会員にお読み下さるようお願い致します。これは塚本前ガバナーの方針と相反するのですが、熱心な会員の方々よりの要望もあり、又会長の報告をどれだけ熱心に聞かれるかも疑問であり、欠席者等の問題もあります。情報の面でも書類を目で見ながら報告を聞いたほうが身につくと思います。又地区が半分になりましたので印刷コストの問題もあります。月信を毎回綴って行くのも楽しみなものであり入会されてからの記録にもなります。

■地区幹事の担当区分

中村 広男・藤沢 元雄

総括

田村 敏弘・勝本 信夫

地区諸会合、地区内クラブ及び他地区連絡

山崎 城・雑賀 孝夫

月信、法規、渉外

垂井芳太郎

出席、ガバナー庶務

■ガバナー公式訪問および I. C. G. F.

予定日取

- ◎7月15日(水) 粉 河
16日(木) 門 真
17日(金) 寝 屋 川
21日(火) 大阪西北
22日(水) 海 南
24日(金) 那智勝浦
25日(土) 白 浜
28日(火) 大阪阪南
29日(水) 大阪西南
31日(金) 大阪城南
- ◎8月1日(土) 池 田
5日(水) 守 口
6日(木) 富 田 林
8日(土) I. C. G. F. 御坊1組
10日(月) 堺 南
11日(火) 松 原
14日(金) 和歌山南
18日(火) 大 東
19日(水) 東 大 阪
20日(木) 箕 面
22日(土) I. C. G. F. 和歌山2組
26日(水) 新 宮
27日(木) 田 辺
29日(土) 大阪天満橋

◎公式訪問の時間割その他

- 10:45~12:00 会長・幹事との懇談
12:30~13:30 クラブ例会に出席
13:45~16:00 クラブ協議会に出席

夕食のご招待は勝手ながらご辞退させていただきます。

夕刻に例会を開催するクラブは、3:00より会長、幹事との懇談、続いてクラブ協議会出席、そのあとで例会に出席いたします。

◆国際ロータリー主要役員および 第366区地区委員組織図 (。印は長)

◎RI会長

William E. Walk, Jr.

(Ontario, California, U.S.A.)

◎事務総長

George R. Means

(Evanston, U.S.A.)

◎日本各地区のガバナー

- 350 伊 藤 元一郎 (北 見)
351 河 野 通 正 (深 川)
352 桜 井 文 彦 (水 沢)
353 佐 藤 民二郎 (大 館)
355 岡 崎 藤 磨 (水 戸)
357 河 野 秀 夫 (熊 谷)
358 安 田 幾久男 (東京銀座)
359 入 江 直 祐 (神 奈 川)
360 伊藤次郎左衛門 (名 古 屋)
361 矢 橋 六 郎 (大 垣)
365 絹 川 清 (京 都)
366 井 関 久 楠 (和 歌 山)
367 中 川 昌 一 (高 松)
368 高 山 忠 雄 (神 戸 東)
369 西 尾 栄 治 (下 関)
370 末 永 直 行 (福 岡 西)
373 八 田 秋 (別 府)

◎第366区バストガバナー

- 北 沢 敬二郎 (大 阪)
森 寿五郎 (大 阪 南)
原 田 秀 雄 (大 阪 北)
塚 本 義 隆 (大 阪)

◎第366区ガバナーノミニー

- 尾 形 繁 之 (堺)

◎地区諮問委員

- 塚 本 義 隆 (大 阪)
原 田 秀 雄 (大 阪 北)
森 寿五郎 (大 阪 南)
北 沢 敬二郎 (大 阪)

■R.I.第366区ガバナー

- 井 関 久 楠 (和 歌 山)

■クラブサービス部門

総括担当 塚本 義隆 (大 阪)

※地区資金委員会

・垂井 清之助 (和歌山)
大 瀨 甲子郎 (大 阪)
古 川 進 (大 阪 北)

※地区指名委員会

・塚本 義隆 (大 阪)
原 田 秀雄 (大 阪 北)
平 沢 興 (京 都 東)
堀 内 清 (京 都)
井 関 久楠 (和歌山)

※会員拡大職業分類委員会

・箕田 貫一 (大 阪 西)
草 田 源兵衛 (橋 本)
阪之上 健一 (堺)
脇 阪 栄一 (大 阪 淀川)
松 野 文 治 (池 田)

※広報委員会

・八反田 角一郎 (大 阪 北)
蘭 村 嘉八郎 (和歌山東)
藤 本 博 (大 阪)

※ロータリーの友地区委員

今 井 龍 雄 (大 阪)

※ロータリーの友専門委員

原 清 (大 阪 北)

■職業奉仕部門

・富 久 力 松 (大 阪)
長 谷 林 平 (和歌山南)
美 馬 隆 一 (大 阪 北)

■社会奉仕部門

・森 寿五郎 (大 阪 南)
大 原 正 蔵 (豊 中)
中 元 忠 夫 (大 阪 東)

※青少年活動委員会

・竹 中 泰 三 (和歌山)
松 本 進 (大 阪 南)
中 西 良 二 (大 阪 天満橋)

※インターアクト委員会

・宮 本 章 (堺 南)

安 本 松 隆 (和歌山東)

金 子 仁 郎 (大 阪)

※ローターアクト委員会

・古 市 実 (大 阪 北)
総 田 長兵衛 (有 田)
水 川 孝 (大 阪)

■国際奉仕部門

総括担当 原 田 秀雄 (大 阪 北)

※世界社会奉仕委員会

・原 田 秀雄 (大 阪 北)
吉 田 豊 (和歌山東)
長谷川 善 吾 (八 尾)
児 山 圭 佑 (河内長野)
尾 形 繁 之 (堺)

※青少年交換接待委員会

・世 戸 一 夫 (大 阪 南)
菱 川 和 夫 (和歌山)
浜 本 吉世輔 (高 槻)
矢 倉 吉治郎 (貝 塚)
吉 川 信 蔵 (大 阪 淀川)

※シドニー大会行委員会

・岡 道 固 (和歌山東)
坂 田 勝 郎 (大 阪)
梅 村 栄 (大 阪 住吉)

■拡 大 部 門

・松 島 清 重 (大 阪)
藤 沢 元 雄 (和歌山)
井 上 猛 (大 阪 北)
小 野 寺 裕 (田 辺)
鏡 山 松 樹 (枚 方)

■ロータリー財団部門

総括担当 塚本 義隆 (大 阪)

※財団奨学会委員会

・小 中 義 美 (和歌山)
峯 村 英 薫 (大 阪 東)
野 田 三 郎 (茨 木)
須賀川 太 郎 (大 阪 南)
吉 村 栄 吉 (豊 中 南)

※研究グループ交換委員会

・奥 村 竜 三 (大 阪 北)

広 田 善 八 (和 歌 山)
佐 多 直 康 (大 阪)
尾 形 繁 之 (堺)

※財団推進委員会

◦若 月 春 雄 (和歌山南)
磯 野 巖 (堺)
百 々 貞 雄 (大 阪 東)

※財団学友委員会

◦奈 良 伝 (大 阪)
浜 光 治 (和 歌 山)
古 谷 庄太郎 (大 阪 西)

◎地区大会 (1970～71) 委員会

大会委員長 玉 置 勇 (海 南)

大会副委員長 冬 野 広 楠 (海 南)
幹 事 林 喜兵衛 (海 南)
プログラム委員長 田 村 欽 吾 (海 南)
S. A. A. 川 口 秀 夫 (海 南)

◎地 区 幹 事

◦中 村 広 男 (和歌山東)
勝 本 信 夫 (和 歌 山)
垂 井 芳太郎 (和 歌 山)
山 崎 城 (和 歌 山)
維 賀 孝 夫 (和 歌 山)
田 村 欽 弘 (和 歌 山)
藤 沢 元 雄 (和 歌 山)

◎地 区 会 計

山 中 静 (和歌山南)

主なるクラブ年中行事ならびに幹事報告送金等主要事務 年間カレンダー

(1970年7月～1971年6月)

月 日	事 項	報 告 先	送 金 先
1970年 7月1日 (前期)	1. 半期報告 (Semi Annual Report)	◦ R. I. 中央事務局 ◦ (写) ガバナー	
	2. 人頭分担金 (per Capita Dues) 1人当り ¥1,440 (4 弗) (半年分) (中途入会者はその半期間追加送金は不要)	◦ R. I. 中央事務局 ◦ (写) 東京都千代田区有楽町1-12	◦ 三井銀行本店内 (又は三菱銀行本店内) 国際ロータリー在日財務 代行者 (フィiscal・エイジェント) 佐藤喜一郎口座
	3. 「ロータリアン」 (The Rotarian) 購読数報告 1部につき ¥540 (1 弗50) (半年分)	三井銀行本店内 窓100 国際ロータリー在日財務 代行者 (フィiscal・エイジェント)	
	4. ロータリー財団への寄付 1弗寄付 ¥360 (1 年分) (これは7月1日のみ、但し随時・特別寄付可) 新入会員の10弗の寄付は入会の際¥3,600	佐 藤 喜一郎氏 ◦ (写) ガバナー	
1971年 1月1日 (後期)	5. ロータリー米山記念奨学会への寄付 (会員1人、半年分 ¥500)	◦ 東京都千代田区有楽町1-4 月山ビル 窓100 財団法人ロータリー米山記念奨学会	◦ 1. 三井銀行京橋支店左記口座 ◦ 2. 振替口座東京51817 ◦ 3. 左記へ現金書留
	6. 「ロータリーの友」購読数報告 1人当り (半年分) ¥660 (雑誌を受取つた月より起算、月割1部¥110の計算にて払込まれること)	◦ 東京都千代田区丸ノ内3-4 日石ビル7階 窓100 「ロータリーの友」編集事務所	◦ 三井銀行丸ノ内支店 「ロータリーの友」編集事務所口座
	7. 地区資金 (District Funds) 会員 (名誉会員を除く) 1人あたり (半年分) ¥800 ただし中途入会者および新クラブ設立の場合、その半年間は追加送金不要。	窓640-91 和歌山局私書箱5号 ガバナー事務所内 地 区 資 金 委 員	窓640 和歌山市本町1丁目 紀陽銀行本店 国際ロータリー 第366区 地区資金委員 垂井清之助口座
	8. ガバナー月信 (写) 購読数報告 1人当り (半年分) ¥180		
	9. ボイスカウト (世界ジャンボリー大会) 協力金 1人当り (半年分) ¥500		
	10. 地区大会分担金 (これは1月1日のみ) (1名当り) ¥2,000		

8月8日～ 10月17日	近接都市クラブ連合討論会 (Intercity General Forum)	時期および場所…塚本ガバナー月信 5月1日第11号参照
9月13日～ 19日	世界理解週間 (World Understanding Week)	
10月11日～ 17日	青少年活動週間 (Youth activities Week)	
11月15日～ 21日	ロータリー財団週間 (Rotary Foundation Week)	
1月24日～ 30日	ロータリー雑誌週間 (Rotary's Magazine Week)	
2月23日	ロータリー創立記念日 (Anniversary of Rotary)	
3月5日～ 6日	1970年度年次地区大会 (Annual District Conference)	県民文化会館 (和歌山市) ホスト 海南R.C.
3月下旬～ 4月上旬	次年度会長・幹事・決定報告 (公式名簿記載資料提出)	◦ R.I. 中央事務局 (A) ◦ (写) ガバナー (B)
4 月	国際大会出席代表信任状 Credential of Convention	ガバナー (又は大会出席者)
5月16日～ 20日	国際大会 (International Convention)	オーストラリア、シドニー市にて
適 当 の 時 期	1971～72年度地区協議会 (District Assembly)	
	クラブ討論会 (Forum on Club Level) (4大奉仕部門別に年4回開催)	
	クラブ協議会 (Club Assembly) (年5回以上開催)	
毎 月	出席率報告 (翌月10日までに必着するよう注意!!)	ガバナー事務所
その都度	新入会者、退会者、その他変更	◦ R.I. 中央事務局 (英文) ◦ ガバナー事務所 (和文)

●R.I. 中央事務局 Rotary International 1600 Ridge Avenue, Evanston, Illinois, 60201, U.S.A.

●文 献 注 文 先 邦文 (東京都千代田区丸ノ内3丁目4 日石ビル4階 国際ロータリー文献事務所)
電話 東京 (212) 4981
英文 (R.I. 中央事務局)

国際ロータリー 第366区 ロータリークラブ一覧表

クラブ名	例会日	例	会	場	事	務	所	会	長	幹	事
A	有田	木	丸万食堂3階		有田川木材協同組合		松尾	晴夫	川村	正	三
D	東	火	三洋電機健康保険会館		東大阪市長栄寺1の27		間	敬一	宮中	住	毎
G	御	金	紀州信用金庫本店		紀州信用金庫本店4階		北	榮	武	文	宏
H	橋	木	幸福相互銀行橋本支店2階		橋本商工会議所		中	岩	中	田	介
	大	水	東大阪商工会議所		左に同じ		福	清	小	菅	和
	枚	火	枚方信用金庫本店		枚方寝屋川商工会議所		倉	勇	島	山	武
	枚	木	石切五洲閣		福德相互銀行枚岡支店		岡	利	杉	森	芳
I	灰	水	茨木商工会議所4階		茨木商工会議所3階		高	美喜	大	森	慈
	池	土	池田銀行本店		左に同じ		築	義雄	細	川	俊
	和	水	住友銀行和泉支店		泉州銀行和泉府中支店		森	菊三郎	牛	角	万
	泉	金	大和銀行泉大津支店		商工会館		藤	喜代楠	田	野	一
	泉	木	泉州銀行泉佐野支店		左に同じ		矢	秀治	田	附	太
K	門	木	松下電工本社会議室		松下電工		丹	正治	藤	井	昭
	海	水	和歌山相互銀行海南支店		海南商工会議所		玉	圭四郎	山	西	芳
	貝	火	貝塚市立産業会館		左に同じ		鹿	延雄	池	田	誠
	河	金	河内長野商工会館		左に同じ		中	時男	池	田	誠
	岸	水	泉州銀行本店		左に同じ		敷	栄雄	一	瀬	茂
	粉	水	幸福相互銀行粉河支店		左に同じ		田	次郎	柿	本	敏
M	松	火	松原市商工会館		左に同じ		馬	伝	長	谷	川
	箕	木	箕面観光ホテル		左に同じ		藤	井	山	口	溝
	守	水	三洋電機健康保険会館		左に同じ		三	義雄	谷	口	竹
N	那	金	那智勝浦町観光会館		那智勝浦町勝浦490		金	盈	東	口	芳
	寝	金	大和銀行寝屋川支店		枚方寝屋川商工会議所		白	清一	樋	口	宗
O	大	金	新大阪ホテル4階		新大阪ホテル1階		菊	秋金	矢	都	文
	大	木	大阪コクサイホテル		左に同じ		増	盛	杉	本	義
	大	火	大阪都ホテル4階		羽賀一郎会計事務所内		古	島	内	力	身
	大	金	上本町近鉄百貨店 レストラン部		上本町近鉄百貨店6階		田	政	加	藤	一
	大	水	阪急百貨店		左に同じ		吉	清	藤	井	森
	大	火	ファミリー会館2階		ファミリー会館6階		古	修	白	井	三
	大	火	高島屋5階ホワイトローズ		高島屋本社		田	五兵衛	木	村	康
	大	水	大阪ロイヤルホテル		左に同じ		岡	碩平	石	原	幸
	大	金	近鉄百貨店阿倍野店6階集会室		近鉄百貨店阿倍野店内		横	敏彦	堀	江	恭
	大	土	松坂屋大阪店8階社交室		松坂屋大阪店秘書課内		安	元	松	中	正
	大	月	阪神百貨店7階グリーンルーム		左に同じ		小	清三郎	鎮	目	達
	大	金	阪神百貨店7階グリーンルーム		左に同じ		田	良雄	神	山	幸
	大	月	レストランニュー柏原		左に同じ		前	正	川	村	敬
S	堺	木	堺商工会議所会館5階		堺商工会議所会館3階		木	田	新	忠	興
	堺	月	堺商工会議所会館5階		堺商工会議所会館3階		小	新	大	正	三
	堺	木	北野田ボール		大美野142 管家敬祐様方		大	塚	村	春	三
	新	水	三和銀行新宮支店		新宮商工会議所		脇	雅信	尾	崎	一
	白	土	雁風荘内		左に同じ		玉	友	湯	川	喜
T	吹	木	摂津信用金庫片山支店		左に同じ		友	永	九	井	憲
	高	火	新東洋		羽衣42-13浅原隆三様方		平	岡	浅	原	隆
	高	木	高槻商工会議所2階ホール		高槻商工会議所		松	本	堺	井	秀
	田	木	紀陽銀行田辺支店		左に同じ		廣	本	柏	木	喜
	富	木	PLカントリー倶楽部		左に同じ		西	野	南	一	夫
	豊	火	三和銀行豊中支店		左に同じ		西	藤	小	橋	知
	豊	木	三和銀行豊中支店		左に同じ		岩	崎	加	藤	衛
W	和	火	県経済センター6階		県経済センター2階		西	村	正三	九	郎
	和	木	県経済センター6階		県経済センター2階		小	笠原	紀	三	九
	和	金	県経済センター6階		県経済センター2階		紀	俊	嗣	野	田
Y	八	水	八尾商工会議所会館		左に同じ		戸	田	孝	山	畑



ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 366 : GOVERNOR'S

Monthly Letter

第366区 ガバナー

井関 久楠

各会議員及び関係者へ

月 信 (写)

GOVERNOR: HISAGUSU ISEKI

OFFICE: 日武山前町二 内田ビル 3階

Uchira Bldg., Nishi-Migiwacho, Wakayama-shi

ADDRESS: P.O. BOX 5, WAKAYAMA

日武山前町 島基5号 640-91

TELEPHONE: 0734-22-0847

CABLE ADDRESS: INTEROTARY WAKAYAMA

第 2 号 (昭和45年 8 月 1 日 発行)

№ 2 August 1, 1970

隔りを取り除こう

(1970年7月1日付ウオーク R.I. 会長のメッセージ)

親愛なる同僚ロータリアン諸君：

昨年私とおなじく、皆さんも一人残らずご覧になった写真は、私をたいへん驚嘆させました。それは大気圏外からある天体を撮影したもので、着実に、静かに軌道の上を進む、見事に着色された天体で、それは申すまでもなく我々の住む地球でありました。人間と我々を取りまく遊星とは沈黙をつづけ荒涼として見えますが、我々の地球は緑に輝き、生氣に満ちて動いています。しかし或る人は「それはいつまで続くものか？」と疑っております。

この探究的質問に対しては、我々が今年度及び今後10年に行なう決定の如何によって、その解答が与えられるであらう。一部の人は終わったばかりの10年を「無意味な60年代」

と評しました。同じ歴史学者はこれから始まる10年を「意義深い70年代」と呼んでおります。私はこの予言的中することを心から祈っております。

私は、現代の世界の人々並にこの70年代に最も必要なことは、人々が共存の道を学ぶことであると信じます。1970年代の課題を理解するということは、70年代の人々——黒色、褐色、赤色、黄色、白色等、すべての国々の人々並に彼らの問題を理解することです。これは共存の道を学ぶという課題に対する基本条件であります。我々は他の人々と通信することだけに止めず、お互いに理解し合うことを学ばなければなりません。

世界中の新聞雑誌は、我々の社会に存在する多くの「ギャップ」をこぞって非難します。その若干をあげてみても、経済上のギャップ（格差）、意思疎通のギャップ（欠如）、人種間のギャップ（障壁）、世代間のギャップ（断層）、生活環境のギャップ（不均衡）、道德上のギャップ（欠陥）、技術上のギャップ（優劣）を云々します。

宇宙探険にあれほどの偉業を成し遂げた人間が、お互いのために「隔りを取り除こう」とする手段の探究に同様な時間と精力とを傾注しなかったことは誠に残念なことであります。

皆さんの地域社会も私のそれも、絶えず拡大する諸問題に直面しています。持てる者と持たざる者との拡がりつつある格差、激しい人種差別、市場での偽善行為、屑と塵埃による土地の荒廃、河川、湖水、海洋の汚濁及び空気の汚染は今なお実在している問題であります。地球上には、援助と理解を強く求めている35億の人間の憎悪と恐怖があります。世界は永い間人間の基本的必要事項を無視して来ました。ロータリアンはこれらの環境問題の研究にもっと多くの時間を費し、そしてその解決に助力しなければなりません。

いわゆるギャップなるものは何れも人間が作ったものであります。人間は人間がひき起した問題の解決策を見出しうる筈であります。しかし誰かが隔りを取り除くための媒体の役を果さなければなりません。もしロータリー・クラブを検討の場として、各会員が問題を深く研究しロータリアンに受け入れられる解決策を見出すならば、ロータリアンは隔りを取り除くことができます。ロータリアンは新時代に対する理解と認識とを持たねばなりません。我々は、クラ

ブ、社会、職業並に国際奉仕の諸計画を推進するために一層努力しなければなりません。今年度は、国際関係を改善するための手段として、我々は世界社会奉仕に一層重点をおかなければなりません。ロータリー精神の粋の中で、個人としての奉仕の新たな実現が計られるべきであります。

■ロータリアンは如何にして助力し得るか？

人と人との間の隔りを取り除くこと

(Bridge the gaps between people.)

1. 世代間の断層即ち若者と成人、並びに年長市民と青年市民の間の隔りは、青少年団体、職業相談会及び地域社会プログラムを支援して老年者の問題及び今日の青年が当面する問題の緩和に助力することによって、取り除くことができます。

The generation gap between young people and adults, between senior citizens and their juniors, can be bridged through support of youth organizations, career conferences and community programs to help ease the lot of the elderly and the problems facing today's youth.

2. 人種間の障壁は、情報の伝達法の改善と、時、所を問わぬ頑迷さを克服することによって、取り除くことができます。

The racial gap can be bridged through improving communication and fighting bigotry wherever it may exist.

3. 一部の人々を飢餓、住宅不足、医療の欠乏又は皆無によって苦しめている経済上の格差は

失業者に対する職業教育、小企業の援助及び新事業の地域社会への誘致によって、取り除くことができます。

The economic gap that now leaves some human beings with hunger, inadequate housing, little or no medical care, can be bridged through job training programs for the unemployed and uneducated, help to small-businessmen, and the attraction of new businesses to the community.

4. 事業並びに専門的職業における道徳上の欠陥は、技能に誇りを持つよう奨励し、職業関係に「4つのテスト」を実践し、同業組合及びその倫理要綱を支持し、消費者対小売業者、製造業者対供給業者、並びに雇主対使用人の関係を改善することによって、是正することができます。

The ethical gap in business and professions can be bridged through encouraging pride in workmanship, practicing The Four-Way Test in your business relations, supporting your trade association and its code of ethics, and through improving relations between consumers and retailers, manufacturers and suppliers, and employers and employees.

■諸国間の隔りを取り除くこと

(Bridge the gaps between nations.)

1. 開発国と開発途上の国との間にある経済上の格差、技術分野における若者たちの教育プログラム、世界社会奉仕、技術援助プログラム及び小企業相談所プログラムによって、取り

除くことができます。

The economic gap between developed and developing countries can be bridged through educational programs for young men in technical fields, world community service and programs of technical assistance and the small-business clinic.

2. 諸国民間の意思疎通の欠如は、青少年交換、ロータリー財団の支援並びに通信の交換によって補うことができます。

The communication gap between all peoples can be bridged through youth exchange, support of The Rotary Foundation and exchange of information and correspondence by Rotary clubs and their members.

■人とその生活環境の不均衡を是正すること

(Bridge the gaps between man and his environment.)

生活環境の不均衡は、あなたの地域社会及び国に清浄な水と空気を求めて、均衡のとれた本来の生活環境を取り戻し維持するように貢献する識者を育成する、教育的及び行動的プログラムによって、是正することができます。

The environmental gap can be bridged through educational and action programs which create an enlightened people working for clean air and clean water and working to restore and then maintain the natural ecological balance in your community and your country.

ロータリーは、これらの隔り並びに人間の生活環境の問題を理解するための鍵となり得るのであります。各ロータリークラブは、これらの問題の徹底的自由討議の場となることができます。

Rotary can be a key to understanding of these "gaps" and also man's other environmental problems. The individual Rotary club can become a forum for a complete and open discussion of all these problems.

私は本1970～71ロータリー年度において、諸君に次の2項目の実行を切望いたす次第であります。

1. これらの問題を貴下並びに貴地域社会の状況に照して検討すること。

I urge you, in this Rotary year 1970-71, to :

Investigate these problems as they apply to you and your community; and

2. 隔りを取り除くために、我々の社会に設置されている機関を支持すること、もしこのような機関が存在しない場合には、貴下が率先して社会を啓発し、情報を提供し、問題に対する解答を見出してその解決に助力し、かくして隔りを取り除くこと。

Support agencies designed to bridge the gaps in our societies. If such agencies do not exist, take the leadership yourself to enlighten, inform, help find the answers and then help solve these problems, and then BRIDGE THE GAPS.

これら全人類の緊急問題の解決に貢献するために、個々のロータリアンとして、又同僚ロータリアンと協力して、貴下としては何をなさるおつもりですか？

敬具

■第1回合同地区委員会開催

7月4日（土）午前11時から大阪・新大阪ホテルにおいて井関ガバナー司会のもとに本年度初の合同地区委員会が開催され、53名の多数の委員の方々、北沢バスターガバナー初め各バスターガバナーも御出席下され色々とお指示を賜り、活潑な討議がなされました。本年は各委員一堂に会して議事が進められ、ガバナーの挨拶後塚本直前ガバナーから直前ガバナー会合における参考事項の説明がありました。

日本でロータリーが出来て50年になりますので、50年記念事業を計画いたしております。

又ロータリーの状況については

- (イ) 日本の地区の改編は、355区を新潟と群馬・茨城と栃木の2つに、東北は3つに分けて地区の分割は終りとする。

- (ロ) 万国博例会場の報告

3ヶ月間、76回開催、12,702名（1日平均167人）主催RCが7,100名（93人）国内4,531名（60人）海外から1,012名（14人）

- (ハ) 札幌オリンピックには全国のロータリークラブで聖火台を寄付したい。

- (ニ) 世界ジャンボリーが日本で初めて開催されるので、既に各クラブにお願いして御寄付願っているが、全国のRCで4,100万円集まる予定であり、2万人収容の大テントを寄付したい。

- (ホ) RCも1,000クラブを突破して、6月16日現在1,012クラブであり、亀岡クラブが1,000番目のクラブである。

- (ヘ) シドニー国際大会について

9月30日迄に申込む。日本交通公社、富士海外旅行社が事務手続を代行してくれます。

(ト) R. I. の決議につき説明等があり午前中の会議を終了。

午後は各委員会の代表から本年度の計画・予算、今後の方針等について詳細に報告され、又過去の委員会活動に対する反省事項等についても活潑な論議が交わされました。各委員会の計画、方針等については月信に逐次発表して参りたいと存じます。

◎青少年活動委員会の報告について

委員長、竹中泰三君から報告が来ておりますが、青少年活動週間も近づいておりますので、次に掲載いたします。

本年度の地区内各 R C の青少年に対する奉仕活動は、各 R C の地域社会のボーイスカウトに対し、全面的に協力援助することを、重点的目標にいたしたいと思ひます。

ロータリアンの「奉仕の理想」に徹する精神と、ボーイスカウト運動の基本精神とは、誠に相通ずるものがあり、国際ロータリー中央事務局からの通達事項の中にも、青少年奉仕委員会の活動指導の1つとして、ボーイスカウト運動に対する援助という1項目が、かけがえされていることは、御承知のとおりです。

しかしながら、本年度は特に、その援助を物心ともに、強力に実施いたしたいと考えるのはボーイスカウトの世界ジャンボリーが1971年にはじめて、日本で開催されることであります。このことは、かつての東京オリンピックの開催にもまさるとも劣らぬ、国際親善上まことに有意義な世紀の一大行事であります。

世界のロータリアンが共に1つの輪になる如く、世界各国から集って来たボーイスカウト達が、相互に手をつなぎ、その訓練を通じて国際

親善の実をあげよう私達は協力をいたしたいのであります。

御承知のとおり、青少年に対する奉仕活動は本質的には社会奉仕委員会に属するものでありますので、この奉仕をより効果的にするためには、特に一方通行的な奉仕の仕方ではなく、常に相手のニーズを把握していただくよう、御努力願いたいと考えます。

そのためには、ボーイスカウト運動の実際の活動振りを御覧いただく機会を持っていただくことと、精神的な理解の上に立った、経済的援助であることが、望ましいと思ひます。

各クラブの具体的な行事といたしましては、先づ第一に、ボーイスカウト運動にたずさわっている指導者の方々を、例会に招待し、あるいはスカウトの子供達とともに話し合い、かれらに対しても、ロータリーを理解させる必要があると考えます。

ロータリアンとボーイスカウトの子供達との双方の理解を深めることが、将来かれらの中から、立派なインターアクトやロータアクトのメンバーが生れでることを信じると同時に、R I 会長のメッセージの Bridge the Gaps のとおり、大人と青少年の間のギャップをなくするために、ボーイスカウトの子供達が、必ず役立つことを、私は信じてやみません。

各クラブにおかれましては、是非とも、本年度はボーイスカウト運動に対し、物心ともに援助協力する方針に御賛同下さいますようお願いいたします。

◎研究グループ交換委員会の報告について

7月4日、合同地区委員会において委員長、奥村龍三君から次のような報告がありました。

(1) 昨年度中に西豪州からの G. S. E. T の飲

迎ならびに研究指導に特別の配慮と協力をされたことに感謝いたします。

- (2) 本年度は、当方から、西豪州に送ることであるから、先ず各クラブにこの計画を徹底するよう、啓蒙運動をいたしたい。
- (3) 委員会の計画としては、
 - 7月中に、地区合同打合せ
 - 8月中に、募集要項の決定
 - 9月、10月中に、各クラブにて応募者のしめ切り
 - 11月中に、団員、団長の決定
 - 1月中に、オリエンテーション開始
 - 3月18日、出発
 - 5月18日、帰着（但し、シドニーにてのロータリー世界大会に出席のこと）

◎ローターアクト委員会の報告について

委員長、古市実君から次のような報告が参っておりますので、以下にその要領を記載いたします。

- (1) ローターアクト、クラブ結成の推進
現在の6クラブ（大阪北、大阪、守口、大阪南、有田、和歌山）を10クラブに拡大するよう努力する。
- (2) ローターアクト、クラブの活動意義を各クラブを通じてロータリアンに徹底する。
- (3) ローターアクト、クラブの活動基本方針の検討。
- (4) 地区協議会は、365区と合同で開催するようになりたい。

◎財団推進委員会の報告について

委員長、若月春雄君から、次のような報告が参っておりますので、ご紹介いたします。

- (1) 今年度は、日本ロータリー50周年の記念す

べき年であるから、366地区の会員は1人当たり5～10ドルの寄付をしたい。

- (2) 近來ポールハリス、準ポールハリス賞の寄付が、漸次多くなったことは喜ばしい。できるだけ大口の寄付は歓迎するが、あまり個人の見栄や競争心にわたらぬよう留意する必要がある。
- (3) 各クラブ毎に例年財団へいろいろの心組みで寄付をされているが、案外、孫の出産祝いに財団へという額も担当あるという一例を申述べておきたい。
- (4) 分割以前の365区は、200%地区であった。366区になっても、新設クラブは創立時100%になっている上に、さらに認承状伝達式の時1名当たり10ドルの寄附を願って、200%地区を下廻らないようにいたしたい。

■職業分類調査と職業分類充填、未充填一覧表作成について

都市の発展、産業構造の変化、技術革新に伴う新職業の出現など職業分類は大変に変動いたしております。地区協議会会長部会でも申し上げたとおり8月末日迄に各クラブの職業分類表（充填、未充填）を作成願いたいと思います。地区協議会の際お渡ししました、「ロータリー職業分類対訳表」により8月末日迄に作成願いたいと思います。この表を作成することにより、その地域の新しい職業を発見でき、また新しい会員も獲得することができるようになります。これについては職業分類委員会にお奨めするように願います。

■会員の増加について

前号のガバナー月信の就任ごあいさつの中で7月中に1クラブ1名宛、会長の責任において新会員をふやすようお願いいたしました。もし7月中にこのことが実現されていなければ、8月中に、是非とも1名の新入会員をふやしていただくよう、重ねてお願いいたします。

■ロータリー日本50周年について

三井銀行常務取締役米山梅吉さんが、前に渡米の際ロータリークラブの会合に出席され、大いに心を動かされ、三井棉花の社長福島喜三郎さんがアメリカのテキサス州ダラスのロータリークラブの会員となり帰国されてから協力を得て東京に初めて誕生したのが1920年10月20日です。それで本年10月20日を50周年記念日といたすことに決定いたしました。そこで

(1) 50周年記念誌編さん発行

500ページ位、価格 2,000円位

71年4月頃完成、全会員購入

(2) 資料室開設、東京都有楽町

各RC資料寄贈方依頼

(3) 式典

東京RCは10月20日開催

各RCはその前後に記念例会開催

■R. I. ウォーク会長の来日について

R. I. 会長 Bill Walkさんが8月18日(火)万国博例会(主催、枚方RC、寝屋川RC)へ出席され、更に翌19日(水)京都クラブの歓迎例会へ出席されますので、多数御出席をお願いいたします。

■近づく特別週間行事について

ロータリーの重要なプログラムを強調するため、各クラブは、特別週間行事として、例会プログラムその他適切な行事を計画するよう、各委員会委員長さんの注意を喚起して下さい。

◎世界理解週間 (World Understanding Week)

9月13日から19日まで

◎青少年活動週間 (Youth Activities Week)

10月11日から17日まで

◎ロータリー財団週間 (Rotary Foundation Week)

11月15日から21日まで

◎雑誌週間 (Magazine Week)

1月24日から30日まで

■訂正事項

ガバナー月信第1号中、下記事項を謹んで訂正申し上げます。

・5 ページ右側、上から14行目

355 区ガバナーのお名前は、岡崎藤鷹と訂正いたします。

・6 ページ左側、上から15行目

草田源兵衛(橋本)を、木村茂(橋本)と訂正いたします。

・6 ページ左側、下から7行目

中元忠夫は、中許忠夫の誤りですから、訂正いたします。

・7 ページ、年間カレンダー中

ロータリー米山記念奨学会の振替口座番号は東京41817と御訂正下さい。

・9 ページ、第366区ロータリークラブ一覧表中、下から17行目

大阪柏原、幹事のお名前を、堀川繁利に御訂正下さい。

■ガバナー公式訪問およびI.C.G.F.

予定日取(その2)

- ◎9月1日(火) 豊中
2日(水) 八尾
3日(木) 和歌山東
5日(土) I.C.G.F. 高石3組
8日(火) 貝塚
10日(木) 大阪東
11日(金) 河内長野
16日(水) 和泉
17日(木) 高槻
19日(土) I.C.G.F. 吹田4組
22日(火) 枚方
24日(木) 豊中南
25日(金) 大阪淀川
30日(水) 茨木
- ◎10月1日(木) 堺
2日(金) 大阪住吉
3日(土) I.C.G.F. 枚岡5組
7日(水) 岸和田
8日(木) 有田
9日(金) 泉大津
13日(火) 高石
14日(水) 大阪北
15日(木) 泉佐野
17日(土) I.C.G.F. 松原6組
20日(火) 大阪南
22日(木) 吹田
23日(金) 御坊
26日(月) 大阪西
27日(火) 和歌山
29日(木) 枚岡
30日(金) 大阪
- ◎11月5日(木) 堺東南
9日(月) 大阪柏原
12日(木) 橋本

◎変更について

8月19日(水)東大阪の公式訪問は、ウオーク会長の来日歓迎のため取りやめます、新しい日取は、追って発表させていただきます。

◎公式訪問の時間割その他

10:45~12:00 会長・幹事との懇談

12:30~13:30 クラブ例会に出席

13:45~16:00 クラブ協議会に出席

夕食のご招待は勝手ながらご辞退させていただきます。

夕刻に例会を開催するクラブは、3:00より会長、幹事との懇談、続いてクラブ協議会出席、そのあとで例会に出席いたします。

■ペルーとトルコの震災に救援の アドレス

◎ペルーのバスターガバナーのアドレス

Luis V. Altuna

Apdo, 174, Piura, Piura, Peru

◎トルコでは、2小学校々舎が倒壊し、再建を 計画しています。

アンカラRCのアドレス

The Rotary Club of Ankara

Grand Ankara Hotel, Ankara, Turkey

■6月10日現在、世界中のRC及び 会員数について

RC数 14,312

会員数 148ヶ国、676,000名(推定)

昨年7月1日以降の新クラブの数は、52ヶ国で474RCに達しました。

松本兼二郎殿寄贈

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 366 : GOVERNOR'S



Monthly Letter

第366区 ガバナー

井関久楠

区内各会長及び幹事殿あて

月 信 (写)

GOVERNOR: HISAGUSU ISEKI

OFFICE: 和歌山市西汀丁 内田ビル 3階

Uchita Bldg., Nishi-Migiwacho, Wakayama-shi

ADDRESS: P.O. BOX 5, WAKAYAMA

和歌山局 私書箱5号 640-91

TELEPHONE: 0734-22-0847

CABLE ADDRESS: INTEROTARY WAKAYAMA

第 3 号 (昭和45年 9 月 1 日 発行)

№ 3 September 1, 1970



I.C.G.F. 御坊1組会場 8月8日(土)

I. C. G. F. 開 催 報 告 (御坊 1 組—紀南地方)

第366地区第1組の I. C. G. F. は、8月8日、御坊クラブの例会場紀州信用金庫本店ホールで開かれました。この日立秋とはいえ、むし暑い天候でしたが、海南 (27名)、有田 (27名)、白浜 (15名)、田辺 (26名)、那智勝浦 (15名)、新宮 (16名)、御坊 (56名)、それにオブザーバーとして、和歌山東、和歌山南から3名ずつの計187名の参加を見ました。

塚本ゼネラル・リーダーの御意向を体し、ホストの御坊クラブでは、簡素質実を旨とし内容のあるフォーラムとしたい、I. C. G. F. のホストクラブの会長として、勉強できる機会に恵まれたことは生涯の幸であり、思い出となるであろうとの、北野会長の挨拶がありました。清楚な夏菊と百合の花をあしらった設営と外気の残暑はさもあれ、ほどよく効いた冷房で室内は清涼の感が満ちていました。来賓には尾形繁之ガバナーノミニオンを迎え、部門別リーダーは以下の各君でした。

(1) クラブサービス部門 脇村孝三郎 (田辺)

(2) 社会奉仕部門 (青少年奉仕を含む)

河合哲次郎 (有田)

(3) 国際奉仕部門 (ロータリー財団を含む)

岩崎 正夫 (新宮)

(4) 職業奉仕部門 川合 善一 (那智勝浦)

討議を4部門にしぼったのは、より多くの時間をかけてより深く勉強するとの、ゼネラルリーダーの方針だからでした。

(1) クラブサービス部門では、クラブの内部に存する年令差、新旧別による隔りがあると思えば、クラブサービスの活動を通じてとり除くことを考えよう、とのテーマでした。脇村リーダーの労作ともいうべき、7月1日現在の各クラブ年令別、新旧別構成等についての状況を分

析した資料についての解説がありましたが、よい参考となりました。年令差、新旧別の格差はさほど強い影響を、もっていないと思われますが、ただメーキアップの率については、御坊など若年組の方が若干よいとの報告があったのと食事の好みについては、老若に多少の差があるのではないかと白浜クラブの意見でした。

次にロータリーの拡大強化について——は、塚本リーダーから、静止は後退に通ずるとの御意見が出され、クラブ新設を強調されました。

(2) 社会奉仕部門では、公害問題に対する認識と今後の対策について——です。海外から日本の現状を見ると、日本は公害の実験場であるとの所見をもたれている由、与える側、受ける側及び行政当局と3位1体となって感情的になることなく、社会生活の向上と環境の調和を図り、且つ推進されるよう努力する以外にないであろうとの判断です。

次に、青少年奉仕として、モラルの昂揚と、インターアクト、ローターアクトの設立と運営について討議されました。モラルの問題は、大人の側にも責任があることだし、両アクトについては、従来不振であった原因、今後振興させるについての溢路に、反省を求められました。

(3) 国際奉仕部門では、岩崎リーダーが、前年につづき連続のお勤めでした。姉妹クラブとの提携と接触はどうか、姉妹クラブをもたないクラブは、今後如何に計画があるか等について討議、塚本リーダーから、韓国の姉妹クラブへロータリーの友日本版の贈呈運動が提案されました。

また、研究グループの訪問については、各クラブの接待や案内の親切が過ぎて、県下東端の新宮クラブへ来た頃は、グロッキー気味だとの岩崎リーダーの報告は、実感としてよくわかりました。接待や案内も、ほどほどにと考えるべきでしょう。



次に、財団については、各クラブ及び各ロータリアンの理解と協力を得て実績をあげる以外に策はないでしょうし、世界社会奉仕については、今年は9月15日を中軸とする「世界理解週間」を各クラブとも盛り上げて、成果をあげるよう要望されました。

(4) 職業奉仕部門では、これは一般に難解な部門とされているが、「ロータリアンの理想と友愛」はよりよく読まれるべきであり、職業はロータリーそのものであるから、自分の職場を最善のものとする自覚をもつべきであるとの助言をいただきました。

公害問題に対してロータリアンとしては如何にあるべきか——ロータリアン経営の事業場において、誠意をもって公害の排除に当り非常な効果を挙げている実例を、塚本リーダーからお話があり、企業の責任と経営のバランス等むつかしい問題です。

以上概略ですが、ガバナー就任以来最初のフォーラムが、終始なごやかに親近感にあふれ、しかも長時間熱心且つ真剣に研究討議され、成果の上ったことを感銘深く存じます。終りに、ホストの御坊クラブのフォーラム関係委員各位の御労苦に、御礼の言葉を申し上げます。なお次年度は、新宮クラブが引受けて下さることをこの機会にご報告申し上げておきます。

インターアクト訪韓記

パストガバナー 原田 秀雄

前年度に計画された旧 365 区インターアクト会員の韓国訪問も、無事一週間の旅を終えて、去る7月30日伊丹空港に帰着した。

一行は16名で、参加クラブは4校。

・団長 原田秀雄パストガバナー

・堺市立工高インターアクト

顧問 川端博夫、3年 青木吉広

2年 中川 進、2年 新谷厚志

・大阪市立東高インターアクト

顧問 神木正治郎、3年 稲村正英

3年 江里口和博、2年 篠前元男

・奈良市立一条高インターアクト

顧問 天野辰夫、3年 西手清英

3年 井上良美、3年 筒井啓子

・京都市立西京商高インターアクト

顧問 今坂 尚、3年 松本康男

3年 李 順子

今回の訪韓は、一方的となったことは非常に残念であったが、多くの人々の非常な好意により予期以上の効果をおさめ、多くの友を得ることができたことは。将来20年30年先の両国の親交を深める上に、極めて大きな布石を投げ得たことと信じてやまない。

地区資金並びに各スポンサークラブの援助等多額の経費を要したことについては、月信の紙上を借りて、厚く御礼を申し上げる次第である。

以下、訪韓日記を記す。

7月24日(金) 11.00 伊丹空港発の大韓航空202便で、塚本直前ガバナー、古市地区ロータクト委員長等、多数の見送りを受けて出発、1時間半でソウル金浦空港着。同空港には、375区呉善煥直前ガバナー、ソウル南RCの金鐘大I.C.委員長、同I.C.の会員多数の心か

らの出迎えを受け、パレスホテルにおけるオリエンテーションの後、打ちそろってソウル市教育委員会を訪問、これは日本と大いに異なり大きな権力を有するもので、韓国のI.C.会員の規律、礼儀の極めて正しい、頼もしい学生ぶりの根源が、この委員会の厳しい教育方針にあることが強く感じられた。続いて、徳寿宮美術館、博物館、北岳山のスカイウエー等と、厳しい韓国の歴史、更に北鮮に直面する緊張の一端を見学。再び市内に入り、韓一館での歓迎宴に臨む。ここでは更に、現ガバナー朴東奎氏の参加を得たが、後で段々と判った事であるが、今回の我々の旅行は、殆んどが呉善煥氏の細かい配慮により、行届いた計画がなされており、経費等もできるだけ節約するよう、各方面と交渉され、一同誠に感謝にたえなかったところである。

7月25日(土)今日は、例会もないまま、再び昨日同様、呉氏以下全員、早朝よりホテルを訪問、日本大使館、85年の歴史を誇る梨花女子高、中央庁、景福宮、慶会楼、昌徳宮、ウオーカーヒル等、訪問の後、呉直前ガバナー邸で、同夫妻の心のこもった茶菓の接待を受けた。本日これらの各所訪問の途次、元李王家の方子殿下をお訪ねしたことは、年配の人々には感無量のものであった。

7月26日(日)再び早朝より韓国I.C.会員の訪問を受けた。金鐘大氏も来訪され、各I.C.会員それぞれに連れ立って、町へ、或いは金氏邸へ招待され、午後には、ホテルで、両国I.C.のあり方についての討論会を催したが、これにも呉、金両氏の出席を得た。

7月27日(月)例により、呉、金両氏とI.C.会員の来訪に始まり、打ちそろって半島ホテルの漢陽RCの例会に出席、趙東秀、呉善煥両バスターガバナー、朴東奎ガバナー等同席、それぞれ会員の丁寧な紹介が行われた。

午後4時、ソウル発特急列車にて大邱へ。7時すぎ東大邱駅着、プラットフォームには黄竜雲ガバナー、金鐘仁バスターガバナー始め大邱市内各RCの役員一同、I.C.会員多数が花輪を持って盛大に出迎えており恐縮した。歓迎会に臨んだ後、I.C.会員は当地のI.C.会員宅に来韓以来始めて民泊することとなった。

7月28日(火)朝、黄ガバナーの来訪を受け、366区対376区の姉妹地区締結文書の署名交換を行い、一同と共に、太邱市長、金寿鶴氏を訪問敬意を表し、ここから更に立派な大学を望みなどして慶州へと、できたばかりの高速道路を運って、正午前慶州着。ここに同地RC会員の出迎えを受けた。慶州には、I.C.はない。ここで会った人々の中で、慶州RCの会員呉鎮哲氏には、その後一方ならぬお世話になった。同地で博物館、仏国寺、石仏、天文台等、極めて古い遺跡に目を見張り、夕方ホテルに到着。

7月29日(水)今日は、釜山へ行く日であるが、釜山の金永韶バスターガバナーとの連絡が悪く、大変苦労した。釜山へは列車では間に合わないし、軽い病人も出たため少しでも早くと思い、前夜、深夜に及んで前記呉鎮哲氏をわずらわして、バスを1台入手、全員そろってこれにより釜山へ向った。釜山RCは当日海上例会の日に当り、漸く尋ねあてたRC事務所も鍵がかかり、会議所の取り計らいで、同副会長、王相殷氏にお目にかかり、親切に乗艇場までの案内をしていただいた。ここで金永韶バスターガバナー始め、RC会員I.C.会員の待ちうける哨戒艇に乗り移り、時間おくれの例会となった。

港内一巡後、艇を辞し、釜山の名門校、慶南高校を訪れ、同校のI.C.会員と懇談。また同夜の宿泊は、釜山RCで予定されていたものを都合で急ぎ変更するハプニングがあったが、これは当方の希望を入れて努力していただいた、王相殷氏の御好意によるものである。

7月30日(木)釜山RCの好意のバスで、両国I.C.会員とともに空港に赴き、12.00発 大韓航空303便で、金永福、崔根清釜山RC会長、王相殷各氏等、多勢の見送りを受けて出発、13.30予定通り伊丹着、塚本直前ガバナー外多数の出迎をうけて、解散した。

国際ロータリー 第366区
国際ロータリー 第376区 間
の姉妹締結同意書

国際ロータリー第366地区および同第376地区は、両地区間に姉妹関係を結ぶことに同意し、下記のとおり定める。

第1条(目的) 両地区間および両地区内のロータリークラブ相互間に、国際理解を促進し、世界平和に寄与するために、諸活動を行なうことを目的とする。

第2条(活動内容) 実行しやすい項目から着手し、漸次活動を広め関係を深めるものとする。次ぎに活動内容の例を示す。

(A)地区およびクラブ刊行物(ガバナー月信、クラブ会報、ロータリー雑誌、会員名簿、その他)、クラブバナー、観光スライド、フィルム、録音テープ、土産品などの交換。

(B)両地区内の活動状況および消息を相互に通報し、これらを地区またはクラブの刊行物に掲載し紹介する。

(C)会員が、相手地区へ旅行の際は、なるべくその地のロータリークラブに出席して知り合いを広める。

(D)両地区内のロータリークラブ相互間に姉妹関係を結ぶことを奨める。

(E)クラブ訪問の会員および家族には、観光その他について可能な限りの便宜を与える。

(F)地区年次大会その他主要行事には、相手地

区へ案内状を発して出席参加を奨める。但し旅行費用などは本人の負担とする。

(G)学生の訪問その他、双方の協議によって計画する他の諸事項。

第3条(他地区との関係) 両地区および両地区内のクラブは、本取り決めのほかに、他の地区および他地区内のクラブとの間に、姉妹関係を持つことは自由とする。

第4条【(存続期間)】本取り決めの存続期間は1970年7月1日より1973年6月30日までの3カ年とする。期間満了後は、双方が存続を希望する時は、事前に書面をもって同意を表明することにより、さらに3カ年延長することができる。

第5条(発効) 本取り決めは、韓国語および日本語をもってし、1970年7月28日、大邱市において国際ロータリー第376地区ガバナー Long Woon Whang および第366地区ガバナー井関久植代理原田秀雄前ガバナーが、署名することにより発効する。(両人署名)

各委員会より

◎拡大部門委員会の報告について

委員長、松島清重君から次のような報告が参っておりますので、以下に掲載します。

昨年度中、拡大の状況は、全国14地区では、928クラブに、新設84クラブ、合計1,012クラブ(6月16日現在)となっており、旧365区の内、新365区では、32クラブに、新設5クラブで、計37クラブ、新366区では、50クラブに、新設3クラブで、53クラブ、でありました。新年度70—71年の予定は、少くとも5クラブを、井関ガバナーは御希望の由であります、委員会でも新しく計画の決定したものは、次のとおりです

大阪府。

- (1) 大阪攝津（特別代表、吹田R.C.、細谷昌夫君）
- (2) 大阪心齋橋（特別代表、大阪R.C.、浅田敏章君）
- (3) 豊中クラブで準備中のもの、豊中西及び豊中北。
- (4) 堺クラブで2、
- (5) 藤井寺、羽曳野、河内、泉南、四条畷があります。

和歌山県。

和歌山北、串本、御坊周辺、があります。

◎職業奉仕委員会の報告について

委員長、富久力松君から、次のような報告が参っておりますから、ご紹介いたします。

昨年度、秦委員長のもとで、「職業奉仕の勘どころ」という40ページのパンフレットが刊行され、よくまとまっているので、今年度は、しいてやらなくてもよいと思うが、経費が許されるならば、次のようなことを考えている。

会員は、立派な天職をもった人ばかりで、これがリードする会社には、それぞれ良い社訓、社是、モットーがあるはずである。各自にはそのことを再認識してもらうために、他の者には参考資料とするために、各会員各自の属するクラブを通じてそれを募集し、選考委員会を設けて選考し、優秀なものを小冊子に印刷し、配布してはどうかと思っている。

◎会員拡大職業分類委員会の報告について

7月4日の地区合同委員会の後、委員長、箕田貫一君から次のような報告がありましたので次に掲載いたします。

1. 会員拡大の方針

クラブの活動を強化するためには、会員の拡大と質の向上をはからなければなりません。一方、会員がクラブの活動に積極的に参加することは、地域社会のロータリーに対する関心を高め、会員の増加が一層容易になります。旧365区の昨年度の会員の動向は、期初クラブ数82、会員数4,710人に対し、本年5月末で、クラブ数85、会員数5,152人で442人（9.3%）の増加がありますが、新クラブ3、会員数88人を差引くと、純増354人（7.5%）となっています。

本年度は、会員増加の目標を、純増10%に置き、これが達成に努力したい。

新会員の増加について

(1) 各クラブの職業分類、会員推薦及び会員選考各委員会が、それぞれの役割を果たすことはもちろんであります。会員の拡大については会員推薦委員会を中心として、全会員が新会員の推薦につとめる。

(2) 居住所会員、シニアアクティブ会員及びアディショナル正会員等の制度を活用する。

(3) 新会員の推薦にあたり

(イ) 人物本位とすること。

(ロ) クラブの平均年令を引き下げるためなるべく若い人を。

ハ 大都市と地方都市のクラブは、その会員構成の内容が多少異なると考えるが、それぞれの地域の実情に応じて適当な会員を物色すること。

(4) 新会員のクラブ同化について

(イ) 新会員は、速かにクラブに同化するため、入会前及び入会初期に、適切なロータリー情報の教育につとめる。

(ロ) 入会後は、クラブの委員会委員に任命するか、または、クラブの活動に参加させる。

2. 職業分類について

都市の発展、産業構造の変化、技術革新に伴う新職業の出現など、職業分類は流動している。各クラブは、地域内の職業分類を調査検討して適正な職業分類の設定と統一につとめる。職業分類については、全地区職業分類委員会において編集された「ロータリー職業分類対訳表」を参照すること。

◎財団学友委員会の報告について

委員長、奈良伝君からの報告を、次に掲載いたします。

この学友とは、ロータリーフェローであった人を指し、366区内に居住し、または職場をもちつ学友のために仕らく委員会である。委員は、従来どおり、地区大会にさいして、学友を招いてもらうようその斡旋をする。別に、年1回以上学友会合を斡旋し、学友とロータリーとの関わりを深め、学友相互の友好を進める。

現在、該当の学友は、下記の6名である。

今田 純子 (1957年)

藤井 隆、星野 千一 (1963年)

鞍智 匡章 (1964年)

清水 光 (1966年)

川島 良一 (1967年)

◎青少年交換歓待委員会の報告について

委員長、世戸一夫君から次のような報告が参っておりますので、ご紹介いたします。

1. 69—70年の方針に従って交換計画を進める。
2. 対象地区は、649地区(イリノイ)、587地区(テキサス)、280地区(オーストラリア)、528地区(カリフォルニア)、その他ハワイ等も考える。人数は、約12名とする。
3. 本年度も前年度と同様、日本からの学生及び外国からの学生に、小遣として1人30,000

円づつ支給する。

4. 年令は、原則として高校生とし、ロータリアンの子弟、またはクラブの推薦する学生とする。
5. 期間は、夏期、短期が望ましいが、クラブの希望により、1年間の交換もお世話することができる。
6. できる限り、交換学生に、オリエンテーションを行い、歓迎会、送別会、報告会を開き交換プログラムが有効に行えるようにする。
7. 交換学生のために、オリエンテーションの簡単なガイドブックを作る。

◎社会奉仕委員会の委員3名追加委嘱

社会奉仕委員会は、委員長、森パストガバナーのほか、大原正蔵君、中許忠夫君の2名でしたが、次の3名の方に、新しく委員を委嘱いたしました。

播野林太郎 (堺)

黒田 龍馬 (大阪)

山本幸兵衛 (和歌山)

◎“On-To-Sydney” シドニー大会行委員会報告とお知らせ (委員長 岡 道固)

当地区「シドニー大会行委員会」を、8月7日(金)午前10時半から、新大阪ホテル2階ロビーにて開催、種々協議いたしました。来年度のシドニー大会は大へんな人気で、当地区からも多数の参加者がある様子ですので、今までに解りました情報をお伝えいたします。

◎シドニー大会日本輸送委員会(委員長 柏原 孫左衛門君)は、日本交通公社並びに富士海外旅行株式会社の両社を、公式代理店に指定し、この両社に9月末日までに参加申込をされた方々を、当該委員会がお世話します。期限後の申込並びに他の方法による旅行での大

会参加は歓迎いたしますが、当該委員会での
お世話はいたしかねますとのことであります

◎富士海外旅行社では12コースの案を立て、日
本交通公社では9コースの案を立てて、すで
に皆様に御案内しておることと存じます。

◎その他、当地区内の会員向きに、大阪空港を
出発、帰着地とするいくつかのコースの立案
を、当委員会まで申し出ている旅行社もあり
ます。当委員会は、これらも承認いたすこと
になりましたので、いづれ当該旅行社から御
案内が参ることと存じます。

◎以上の諸コースの内、適當のものを御選択の
上、ふるっての御参加をお誘いいたします。

◎大会支配人、M・K・Tabb氏から、当委員
長への来信によれば、シドニー大会での宿舍
の申込は、10月初めに大会支配人から配布す
る「公式宿舍申込書」によって、個人的にの
み受入れられ、詳細は郵送される公式申込書
に同封されます。その書類は、

Convention Manager
Rotary International
1600 Ridge Ave., Evanston
Illinois 60201, U.S.A.

から得られます。宿舍の申込は先着順に取扱
われ、宿舍が確定すれば、できるだけ早く申
込者個人に、10月から開設される下記の「ロ
ーターリー宿舍事務局」から通知されます。

Rotary Housing Bureau
Box 475, G.P.O.
Sydney, N.S.W. 2001, Australia

◎個人で行かれる方、または公式指定の代理店
以外の旅行社から行かれる方は、上述の宿舍
申込の手續に特に御注意願います。

◎大会登録は、シドニーに到着してから、大会
場 Royal Agricultural Society Show
Ground で受付られ、登録料は、その時に
のみ受納されます。ロータリアン並びに16才

以上のゲストは、オーストラリア通貨20ドル
16才未満のゲストは無料で、小額の特別交通
費のみ納付すればよろしい。

◎シドニー大会に関する情報については、

"The Rotarian" に御注意いただきたく、当
委員会にとどく "Prevue" による情報は、ガ
バナー月信でお伝えいたしますから、御注目
下さい。

《お知らせ》

◎大阪北RC 井上 猛君
(新ポール・ハリス・フェロー誕生)

7月16日付、ロータリー財団から、ポール、
ハリス、フェローの称号が、大阪北RCの井上
猛君に贈られました。

メダルは、地区大会の席上、同君にお渡しす
る予定です。

◎ペルー地震義捐金について

358 区の安田幾久男ガバナーから、上記につ
いて、7月28日付、次の来信がありました。

(1) 日本各地区よりの義捐金は、各地区ガバ
ナーより、フィスカル・エージェントに、地区
別最終金額を一括して送金すること。

(2) フィスカル・エージェントに集められた
円価に見合うドル価をRI本部にて、ペルーの
災害地区ガバナー宛送金のこと。

以上のとおりRI本部との間に打合せ進行中
でございますが、RI本部より承諾の返事あり
次第、改めてその旨お知らせいたしますとの
ことであります。

なお、366区としては、6月13日の地区協議
会の席上、有志の方々から御寄付がありました
が、このほか各RCでは、それぞれ各クラブの
御寄付をとりまとめられ、上記の送金方法の決
定次第御送金下さるよう、お願いいたします。

◎出席報告について

毎月出席報告は、R I本部への報告を、11日朝発送しないと間に合いません。つきましては、ガバナー事務所に毎月10日必着で、御通知いただきたいのです。7月分は、14クラブが延着いたしました。延着クラブは60%として報告することになっておりますので、各クラブ幹事に強くお願いいたします。なお、各クラブではメーキャップ報告を、例会当日直ちに発送いただくよう、特にお願いいたします。

■国際交換青少年学生の交歓会開催

7月16日(木)18時～20時、新大阪ホテルにおいて地区青少年交換歓待委員会主催で、第649区、第587区、第280区との交換学生送別懇親会を開きました。この会合は第649区(米国イリノイ)から来訪した交換学生6人が月会の滞在を終えて17日帰国するのと、彼れらと同行してこちらから同地区へ訪れる学生4人のためのサヨナラ・パーティ、また、6月26日当地到着以来顔を合わせる機会のなかった第587区(テキサス)からの学生4人と、同地区へこれから訪問するこちらの交換学生2人、さらに、第280区(オーストラリアのビクトリア州)からこの3月以来堺の羽衣学園へ入学して1か年勉強しつつあるグラハム嬢らのための懇親パーティを兼ねた催しでありました。合計17人の交換男女学生を中心に、その受入れ家族、送り出し家族、それぞれのスポンサーになっていただいたロータリークラブ(大阪淀川、京都南、京都西、橋本、堺)の会員諸君、地区青少年交換委員、世戸一夫同委員長、塚本直前ガバナー、堀内元ガバナーなど総数57人参加というにぎやかな会合となりました。世戸委員長の歓迎送別のことば塚本直前ガバナーのあいさつのあと、交換学生1人1人が2分ずつ発言し、またホスト、フェ

ミリーの感想やはげましの言葉、最後の堀内元ガバナーの思い出話やこれから行く学生への注意などを話されて、にぎやかな楽しい催しを終わりました。残念であったのは第528区(カリフォルニア)から来日中の交換学生2人と、同地へ出かける貝塚クラブのスポンサーの学生2人が地方旅行中のため当日出席できなかったことです。なお、1969—70年度の交換学生は受入れ13人、送出し9人、計22人であります。その氏名は前ガバナー月信5月号と6月号にのっています。(塚本バスターガバナー記)

■前年度ロータリー財団寄付額 85クラブから約5万ドル

本年6月末現在の数字としてロータリー財団からの報告によれば、旧第365区85RCが1969—70年度中にロータリー財団へ寄付した総額は49,833・66米ドル(邦貨にて1,794万円)にのぼりました。これは前年度よりも7,108米ドル(邦貨255万円)も増加しています。各クラブの御厚意に対して深謝申上げる次第であります。

◆200%クラブ(11) 門真、貝塚、粉河、箕面、寝屋川、小浜、大野、大阪城南、大阪西北、大阪西南、大阪天満橋。

◆300%クラブ(30) 綾部、福井、福井北、御坊、橋本、彦根、枚方、枚岡、泉大津、勝山、舞鶴、舞鶴東、松原、水口、峰山、宮津、近江八幡、大阪阪南、大阪淀川、鯖江、新宮、白浜、吹田、高石、富田林、豊中南、敦賀、大和郡山、八尾、八日市。

◆400%クラブ(21) 福知山、五条、東大阪、海南、樫原、岸和田、京都南、京都山科、守口、長浜、大阪南、大阪住吉、大阪西、大津、高槻、武生、田辺、豊中、宇治、和歌山南、大和高田。

◆500%クラブ(7) 有田、池田、和泉、泉佐野、河内長野、大阪北、和歌山。

◆600%クラブ(5) 茨木、京都、京都西、奈良
和歌山東

◆700%クラブ(1) 大阪

◆800%クラブ(2) 大東、堺南

◆900%クラブ(1) 京都北

◆1000%クラブ(2) 那智勝浦、大阪東

◆1100%クラブ(1) 堺

◆1300%クラブ(1) 京都東

(注) 全クラブの平均は510%となります。

また、年度途中の新設クラブは本表の計算に含まれておりません。(塚本記)

■ Interact 会員と万国博出展の 西洋諸国館代表との懇談会開催

7月20日(月)14時から17時半まで、新大阪ホテル会館において第365区及び第366区インターアクト委員会の主催により万国博出展の西洋諸国パビリオンから代表派遣を求めて、両地区内のインターアクト学生との間で国際理解増進を目的として懇談会を催しました。前回(5月23日)はアジア諸国代表を招待して開きましたが、今回は2回目で参加者62人にのぼり大盛会でありました。出席のパビリオン代表は次の5人です。

Miss Claudette Palka (アメリカ)

Mr. Herbert Plutschow (スイス)

Mr. Stephen Kentwell (オーストラリア)

Miss Nanette Twine (同上)

Mr. Heinrich Koehler (ドイツ)

こちら側の出席は宮本章第366区インターアクト委員長、塚本直前ガバナー、足達保信(奈良)安本松隆(和歌山東)両元会長、インターアクト5校(西京商高欠席)の顧問先生6人、学生37人、これに加えて近く米国カリフォルニア Berkeley へ夏期交換学生として出発する9人らで、全体の懇談会ののち、5組に分れて熱心

な質問応答を1時間半つづけて国際理解増進の目的を果しました。最後に、ゆかた姿に着替えした奈良一条高校男女学生の花笠おどりや大漁おどりの余興まで飛出し、にぎやかなうちに閉会しました。(塚本記)

■万国博ロータリー例会会場へR I の “世界平和ポスター”展示中

日本万国博ロータリー会場に、いま第1回ロータリー世界ポスター美術コンテスト入選作品11点が展示されています。これはR I から7月下旬に送ってきたもので、9月12日(土)まで展示されます。ポスターの題目は「世界理解による世界平和」で、次のような説明が書いてあります。

「ここに展示の11枚のポスターは全世界の若人の美的表現で、絵は国際ロータリーの第1回世界ポスター美術コンテストの優勝および入選作品であり、国際ロータリーの世界理解週間(9月15日を含む週間)において注目の的となるもの。五大大陸にある諸クラブの主催により、募集した中等学校生徒の作品数百点から選ばれたが、すべて古くて新しい探求——世界平和——への若人の感覚をよく表わしている」

●R I ニュースから

◎会長さんの秘けつ(例会司会について)

1. 例会のプランを明確に把握して、実行に移すこと。
2. 時間勵行一開会と閉会を時間どおりに。
3. 発言は、明瞭に、聞きとれるよう。簡潔に、要領よく。
4. プログラムを生かせ一会場を白けさせるな。
5. 会長の時間を活用すること。——ロータリー情報の伝達、クラブの報告事項

欠席会員の動静、クラブ活動について語る
 ことをお忘れなく。

6. 卓話者に感謝するのはよいが、卓話の内容にまで言及しなくてもよろしい。
7. 情熱的に、興味を忘れず、知識欲を持って行動は、効果的に、テキパキと。

◎ 7月2日現在・世界中のRC数その他

RCの数 14,366

会員の数 679,500 (148ヶ国)

昨年7月1日以降の新クラブ数、55カ国で合計530クラブ、前年度に比して10クラブ少い。

7月出席報告 (Attendance Report For July)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率
1	高 槻	5	51	-1	100.00	29	大 阪 北	5	157	—	96.14
2	橋 本	5	55	—	100.00	30	枚 方	4	50	+1	96.04
3	和歌山東	5	71	—	99.71	31	大阪天満橋	4	50	—	96.00
4	和 泉	5	62	+4	99.67	32	御 坊	5	59	-1	95.90
5	新 宮	5	55	+1	99.62	33	大阪阪南	4	46	—	95.65
6	大阪淀川	5	69	-1	98.55	34	大阪西北	4	44	+6	95.45
7	茨 木	5	53	+2	98.34	35	富 田 林	5	53	—	95.38
8	高 石	4	43	+1	98.26	36	那智勝浦	5	35	—	95.30
9	大阪西南	4	52	—	98.08	37	大 阪 東	5	87	—	94.94
10	有 田	5	49	-1	97.96	38	岸 和 田	5	58	-1	94.83
11	松 原	4	47	-1	97.87	39	海 南	5	53	-1	94.61
12	泉 佐 野	5	55	-1	97.82	40	田 辺	5	66	+1	94.27
13	粉 河	5	27	-1	97.78	41	大 東	4	34	—	94.14
14	東 大 阪	5	55	—	97.74	42	八 尾	4	49	-1	93.62
15	吹 田	5	59	—	97.59	43	大阪城南	5	39	—	93.34
16	和歌山南	5	55	—	97.45	44	大 阪	5	290	-8	92.25
17	泉 大 津	5	71	—	97.39	45	池 田	4	51	+2	92.10
18	貝 塚	4	54	+8	97.15	46	大阪東淀	4	24	+24	91.67
19	箕 面	5	29	+1	97.14	47	堺 東 南	5	30	-1	90.67
20	堺	5	111	—	96.87	48	大阪柏原	4	22	+1	90.59
21	寝 屋 川	5	25	+1	96.80	49	豊 中 南	5	27	-1	90.37
22	大 阪 西	4	92	+1	96.68	50	白 浜	4	36	—	90.28
23	大阪住吉	5	72	—	96.66	51	枚 岡	5	40	-2	90.00
24	豊 中	4	52	-1	96.63	52	門 真	5	24	-1	90.00
25	和 歌 山	4	94	+1	96.43	53	守 口	5	52	+1	87.63
26	河内長野	5	56	—	96.36						
27	堺 南	4	61	-4	96.30						
28	大 阪 南	4	148	—	96.24						
						合 計		246	3199	+28	5068.26
								平均出席率		95.63%	



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 366 : GOVERNOR'S

Monthly Letter

第366区 ガバナー

井関久楠

区内各会長及び幹事殿あて

月 信

GOVERNOR: HISAGUSU ISEKI

OFFICE: 和歌山市西汀丁 内田ビル 3階

Uchita Bldg., Nishi-Migiwacho, Wakayama-shi

ADDRESS: P.O. BOX 5, WAKAYAMA

和歌山局 私書箱5号 640-9

TELEPHONE: 0734-22-0847

CABLE ADDRESS: INTEROTARY WAKAYAMA

第 4 号 (昭和45年10月1日 発行)

No. 4 October 1, 1970



8月19日(水) 京都ホテルにおけるRI会長歓迎会

公 式 訪 問 の 感 想

日程表のとおりいよいよ7月15日より公式訪問の行動を開始いたしました。最初は手近かのしかもあまり古くないクラブから始め、今日まで2カ月で約半数のクラブを訪問いたしました。先づ感じたことは、みなそれぞれの特異性がハッキリと表われていることです。これは当然のことでしょうが、その地域が生んだ性格でしょう。新しい創立後一カ年のクラブでも、人間がそれぞれ顔や姿が違っておるように違っておる点が見受けられます。そこで私は人間誰れでも長所と短所があるので、ただそのバランスの相違によって指導者にもなり、軽蔑され嫌われる人間にもなるのであると思うのです。

ガバナーの報告にも、各クラブの長所と短所とをハッキリと見きわめて書いて送れといわれております。しかし、これはなかなかむづかしいことと思われまふ。私のような至って平凡な人間が、はたして間違いなくただ一回の所見で本当の姿をつかむことができるかということなのです。

私は約40年近く、地方裁判所と家庭裁判所の各種の調停委員をしております。裁判所では申立人と相手方の言い分に全く逆なことが多いのです。それを深く掘り下げてその真相をつかむには、気永く時間をかけてネバリを持って話し合いするより外はないのであります。R. I. 会長ビル・ウォークさんの本年の活動目標である「隔りを取り除こう」は、全く今日の時代にこんな適切な課題はないと思います。しかしながら、これ程現在至る処にあつて、しかもこれを取り除くのに、これほどむづかしいことはないと思われまふ。そこでこれには、あくまで相手を理解し、また理解されることが先決条件となってくると思ひます。それには先程申し上げました裁判所での調停委員としての心構えと同じ

ものが是非必要だと思っております。

これから私の公式訪問もまだ半分のことっております。そこで私は欠点さがしよりも長所を早くつかんで、それをますます伸ばすようにクラブ活動をして、良い特色を持ったクラブとして発展するよう、おすすめして行きたいと思っております。今日まで得た体験を基にして、率直な考えを申し上げました。

■ Walk 会長万国博ロータリーへ出席

8月18日（火）12：00～13：30万国博ロータリー例会に初めて国際ロータリー会長William E. Walk, Jr が Louise 夫人同伴で出席、10分間のスピーチを通訳付で行ないました。当日のホストクラブは枚方、寝屋川両RCの合同で開催されたが、あいにくの雨天で出席者は平常より少なかったようでした。

この例会にはFrancisco Delgado R I 第2副会長夫妻、東ヶ崎潔 R I 元会長夫妻、高山忠雄 368 区ガバナー、森寿五郎 366 区（万国博ロータリー組織委員長）、向笠広次 370 区、原田秀雄 366 区（夫妻）、塚本義隆 366 区各パストガバナーらも出席しました。Walk 会長らは雨中に万国博パビリオンをいくつか視察しましたが、この日は天皇陛下も来場されており、大へんな混雑でした。

Walk会長のスピーチは、各方面にわたっての“Bridge the Gaps”を強調してロータリアンの1970年代における責任を力をこめて訴えたものでしたが、その中で次のような話を取り入れられたのが注意を引きました。

「第二次大戦後、イギリス首相チャーチルはある時、議会で雄弁をふるった後、口やかましい女議員に呼びとめられて、首相はブランディを飲みすぎると問責された。生涯にあなたは議場の半分を満すほどの分量のブランディを飲ん

だ、と声を荒げて攻撃したのです。さすがのチャールも弱ったらしいが、微笑を浮かべて、高い天井をながめ回しながらいわく、たしかにだいぶんやりましたな。しかし、まだまだやるべき分量は非常にたくさん残っておりますなあ、と。例はちよっとまずいが、もっと真面目な意味で、ロータリーも今までずいぶんやったが、やるべきことはまだまだいっぱいあると申上げたいのです。」(塚本記)

I.C.G.F. 開催報告

■和歌山 第2組

8月22日(土)、和歌山市農協会館において、定刻12:00フォーラム委員長、藤沢元雄君の開会の辞、ホストクラブ西村正二会長の歓迎の辞に始まり、参加クラブ8RC、即ち岸和田15名、貝塚23名、泉佐野26名、橋本17名、粉河23名、和歌山東20名、和歌山南30名、ホストクラブ和歌山59名、計213名の参加を得て開催された。

本フォーラムは、パストガバナー堀内清ゼネラルリーダーの希望により、事前協議をしない、アンケートをとらない、という方針によりぶっつけ本番の盛り上がりが期待された。

次に、各部門のリーダーを紹介すると、
社会奉仕部門 納塚 善雄(泉佐野)
青少年奉仕部門 帯谷正次郎(貝塚)
職業奉仕部門 三木 勲(和歌山)
国際奉仕部門 辻 勝美(和歌山南)
クラブ奉仕A部門 小倉 十吉(岸和田)
クラブ奉仕B部門 山県 俊男(和歌山東)
の各君である。

先づ、社会奉仕部門では、奉仕とは何か、広義、狭義の解釈が述べられ、限られた人数と予算をもってするロータリーの奉仕の限界があり

この限界で間口を広くしてやるべきか、重点的にやるべきか、など問題点を提供した後、各クラブの長所短所について、本年度の重点目標について、各クラブから意見の開陳があった。

青少年奉仕部門では、青少年問題は一層重要になっている。泉州の機業地域では、若年労働者問題が重要で、青少年と接触を深め、とけ込んだ話合いが必要だとし、ロータアクト、インターアクトに言及して、それぞれ討論があり、ガバナーからインターアクトが低調であるから一層努力ありたいとの要望があった。

次に、職業奉仕部門。職業は天職だという考え方が必要である。そこにこそ高い価値基準がある。近頃は職業転換が甚だしく、職業観も安定していない、ここに職業奉仕活動が重要になってくる。4のテストを朝礼の議題にして、従業員の意識の変化を来した実例から、各クラブの重点活動、若い従業員の職業奉仕意識を高める方法について、各クラブから意見の開陳があった。

次に、国際奉仕部門では、国際的視野においてギャップをなくすように努力すべきだ、との発言から、世界理解週間、姉妹クラブ、青少年交換について各クラブから報告があった。なお日本人の目は今まで先進国に向いていたが、後進国の方へも向けるべきだとの発言、インドネシアから看護婦を使ってほしいという申出があった実例など、紹介された。

クラブ奉仕A部門では、リーダーがユーモアを交えつつ討議が続けられ、ロータリー情報について、ロータリー、クイズを各テーブル毎に答えを求めるとか、新入会員について家庭的にインフォメーションを徹底的に行うなどの発言があった。なお、広報、雑誌、職業分類、会員増強について討議がなされた。

最後に、クラブ奉仕B部門であるが、米山さんの言葉「いそがしい人が、出席にはげむ」が

引用され、本日第2区分第2位で表彰バナーを受けた橋本クラブに、高出席率の秘けつをたづねたところ、義理人情が徹底し、それが習性になっているとの答えがあった。ついで、親睦、SAAについて活発に討議された。

次に、堀内リーダーが最後のしめくくりをされ、21年無欠席の感想を述べられ、かなり苦痛であった、殊に外国旅行中は困ったとお話があり、特に本日のフォーラムは、ぶっつけ本番であったが、熱心に討議され、充実したフォーラムであったとの御感想があった。

井関ガバナーのあいさつとして、堀内リーダーに感謝の言葉がのべられ、次いで、ウォーク会長が来日された当日親しくその講演をきいたが、“Bridge the Gaps”について今まで公式訪問などで申し上げて来たことは弱かったと感ずる。会長の意気込みは非常に強いものがある。ロータリアンとして為すべきことを、見きわめる必要がある。そしてそれを解決する要がある。結局、意気込みである。これを皆さまにお伝えしたいと思っていますと結ばれた。

こうして、定刻17:00 閉会し、引つづいて、場所を変えて懇談会に移った。149名の出席を得て、盛会のうちに親睦の実をあげた。



■高石 第3組

9月5日(土)、井関ガバナー、平沢パストガバナー(ゼネラル、リーダー)、来賓として緒方、

森、塚本の各パストガバナー、尾形ガバナーノミニの御参加と、参加クラブとして、大阪南、大阪住吉、大阪阪南、大阪西南、堺、堺南、泉大津、和泉の各RC、オブザーバーとして、枚岡、松原の各RC、ホストクラブ高石RC、合計200余名の出席を得て、会場新東洋で開催されました。

◎クラブ奉仕部門 リーダー 村田正雄(堺)

- (1)クラブの内部拡大と若がえりの問題
- (2)出席奨励の問題
- (3)プログラムの問題

◎社会奉仕部門 リーダー 久保宗一(和泉)

- (1)地域社会を如何に良くして行くか
- (2)青少年問題及びクラブ単位の青少年交換について

◎国際奉仕部門 リーダー 藤本元尚(大阪住吉)

- (1)交換学生の件
- (2)研究グループ交換の件
- (3)ロータリー財団並びにW. C. S. について

◎職業奉仕部門 リーダー 藤原誠太郎(泉大津)

- (1)4つのテストについて
- (2)労使の問題について
- (3)企業公害についての経営者の態度について

以上の討議を、4時間20分に亘り、活発な討議がなされました。

最後に、ゼネラルリーダーから、ロータリアンは、1つ1つの規則を守ること大切だが、ロータリーとは何かということ、ロータリーの綱領は何を表わしているかを、お互に研究することも大切である。特に、ロータリアンはロータリアンらしく、積極的に責任をもって行動することが、クラブ活動であり、これによって友情を深めることができます。ロータリークラブは、クラブでなく個人個人の職業をもって奉仕するもので、4つのテストを本当に考

えれば、すべての奉仕は、おのづから道は開けるものであると確信しております、との概評を得ました。

次いで、塚本パストガバナーから、“You are Rotary”を強調され、またガバナーから、5 時間に亘り良く討論し研究され、非常に感銘を受け参考になった、ロータリーの性格、クラブとして行う方向が良く理解できたと思う、との結びの言葉を得て、成功裏に第3組の I. C. G. F. を終わりました。

■韓国永松カズさんへ手袋編み機渡る

—— 旧365区の世界社会奉仕 ——

韓国ソウル市で数十名の戦乱孤児を世話している日本女性永松カズさん(43)を救済するために旧365区の世界社会奉仕計画のひとつとして贈ることにした半自動式手袋編み機3台は、8月3日、漢陽ロータリークラブの例会場(半島ホテル)で本人へ贈呈された由第375地区呉善煥ガバナー(直前)から塚本前ガバナーのもとへ知らせがありました。この作業用手袋編み機(50万円)は、収容児の費用をかせぎ出すためのもので、京都北RCの田中藤兵衛君が浜松のメーカーから購入して、神戸から輸出手続に3カ月を費し、さらに仁川港へ4月上旬到着後、輸入許可に4カ月を要するなど難航したのですが、漢陽クラブの好意で輸入税を支払うのに15万ウォン(邦貨約20万円)をニコニコ箱で集めてくれたのでようやく7カ月ぶりで本人の手に渡った次第であります。本人からも大喜びの礼状が参っており、ソウルの東亜日報(韓国の最大新聞)にも贈呈式の写真と記事が掲載されました。(塚本記)

■ガバナー公式訪問予定日取(その3)

◎11月5日(木) 堺東南

9日(月) 大阪柏原

11日(水) 東大阪

12日(木) 橋本

◎12月7日(月) 大阪東淀

＜提案＞

塚本パストガバナー

◎第366区と第376区との間の姉妹関係締結に関連して、両地区内のクラブ交歓についての提案

- (1) 7月28日署名調印された同意書にもとづき早く何らかの活動を始めたい。
- (2) 簡単な実行し易い項目から着手すべきであるが、その1つとして「ロータリーの友」誌を、毎月第376区内のクラブあてに、当地区内のクラブから、手分けして寄贈することにしては如何でしょうか。部数は1クラブから、相手クラブあてに、7～10部とする。その購入と郵送料と発送は各クラブの負担とする。
- (3) 第376区のカバナー月信7月号によれば、同地区には37クラブあり、当地区は52クラブだから、この中から、15クラブを除外して同数としたい。除外するクラブは、現在すでに他地区のクラブと姉妹関係(あるいは、提携関係)をもつクラブとする。その数は18あるが、双方の数を合わせるため、その中から、大阪東、大阪北、大阪南の3クラブは、特に除外しないこととする。
- (4) 37クラブの組合わせは別表のとおりに一応決めたい。(但し、この別表については、各クラブに確認の上、発表することにしたと思います。井関。)
- (5) クラブが相手クラブと姉妹関係に入るか否かは自由とするが、まず「ロータリーの友」の寄贈を少なくとも本年度中に実行してもらうことにしたい。

- (6) 7部としたのは、理事の数のつもりで、10部にすれば若干の余部も見込まれます。
10部としても、1カ月1,100円で、郵送料を加えても大したことではないと思います。

《お知らせ》

◎大阪東淀クラブ認証

6月26日発足の新クラブ、大阪東淀RCは、8月10日付、RIから認証されました。おめでとうございます。チャーターナイトは、11月19日(木)の予定です。なお、事務所は、大阪市東淀川区東淡路町4-215 島田内科内
電話 06-322-0608

◎新宮クラブの会長の異動

不慮の災厄により、脇村春三会長が8月17日逝去されましたことに對し、謹んで敬弔の意を表します。

その後、岩崎正夫君が、会長に就任され、副会長には、川合幸夫君が就任されました。

◎地区協議会、リーダーシップ、フォーラム議事録配布について

去る6月13日、新大阪ホテルにおいて開催された上記会合の議事録が、ホストクラブ和歌山RCの手により作成、配布されました。

◎ペルー地震義捐金

366区として取りまとめを進行中の上記義捐金は、9月28日現在
26クラブ 707,500円
となっています。

◎財団法人ロータリー米山記念奨学会の来年度奨学生応募の締切は、12月10日です。

◎ロータリー財団パーセンテージ算定方法の改正について(ロータリー財団弘報から)

ロータリークラブ又は地区が、ひとたび一定のパーセンテージ順位に到達しさえすれば、その後、会員が増加し、しかもそれに相当する寄付額の増加がない場合でも、そのパーセンテージ順位を失わないことに、パーセンテージ順位算定方法を改めました。

◎ロータリー財団寄付率向上のクラブ

300%クラブへ 粉河

500%クラブへ 守口、豊中、和歌山南
上記のクラブ、御苦労さまでした。

韓国親善旅行を終えて

堺市立工業高校インターアクトクラブ
青木吉広、中川 進、新谷厚志

韓国の訪問を終えて先ず感じたことは、空気が澄み渡って、公害の問題はないように見受けられた。また最近開通したソウル釜山間道路では、まわりに田園風景が次から次へ走り去り、澄みきった空気がバスの中に充満し、快適なドライブを楽しむことができました。

私たちは、行く前「韓国という国は、どのような国だろうか」などと不安に考えて行きました。しかし行ってみると日本とあまり変わらないことがわかりました。また、韓国の人々はとても親切でした。韓国の人たちとふれ合っていて、つくづくそれを感じました。

次に、教育、文化についてですが、まず教育に関して、ソウルの教育庁を訪問した時の内容を少し書きますと、義務教育は、今年から中学校までのようです。また、ソウル大学などの一流大学は、入学するのは非常に困難であり、入試科目は全科目でありますから、高校での授業

は困難であり、入試科目のためどれも集中して受けなければなりません。

以上のようなことを、教育長代理から聞き、日本も全科目入試を採用すれば、授業を怠ける者は少なくなると感じました。また、学校に関しては、ソウルの小学校は、プールも運動場もあり、まわりには多くの木が植えてあります。そうして、テレビ、オルガンが各教室に1台ずつ配置されており、良く整頓され、勉強がしやすい環境ができていました。同様に、ソウルの梨花女子高校も訪問することができました。この学校の特徴は、職員室と校長室は質素で、生徒たちの教室はきれいでした。これは学校の生徒中心の方針だそうです。さらに、釜山インターアクトクラブの学校である、慶南高校も訪問することができました。生徒たちは、私たちに、とても親切でした。そしてたくさんの学生たちと交流し、ペンパルになり、楽しく過ごしました。また、私たちに北朝鮮について語り、意見を求めてきましたが、知識不足のため、国際問題なので、答えられませんでした。

文化に関しては、遺跡などを見学して歩いたので、韓国の歴史、時代の風物などが理解できたことは、とても勉強になりました。昔の王朝時代の建造物がたくさん残っていて、そこが博物館のようになっていて、その中には、たくさんの昔の土器、装飾品などが時代別に並べられてありました。まるで、日本での京都や奈良のようであり、京都や奈良に劣ることがない程、古風な感じがして、その反面、近代的なビルが建ち並び、何にか古いものと新しいものが、うまく混合されておるような国に受け取れました。服装は、アメリカの影響を受けたのか、ミニやパンタロンを着た人が、意外と多いでした。そして、韓国の遺風である着物は、年輩いた人々が着ているようでした。

経済に関しては、貧富の差が激しく、貧しい家庭は質素で不潔です。その反面、豊かな家庭は豪華であり、家も大きく、庭園もあり、色々な電気製品もありました。

1人の者が、ソウルの学生に招待されて行ったのですが、その家は、日本の上流家庭とも劣らないほど立派な家だったようです。

韓国は、一般に物価は高く、カメラ、時計車、テレビなどの精密機器とか、電気製品などが高価でした。国内では生産されていないため、日本製品の品物が目に入りました。値段は関税がかかり、日本の2倍の値段でありました。また、意外と安価な物もありました。レコード板が、日本では500円位のものが半額位でありました。工場などは、釜山方面に多く建っていました。そのため、少しスモッグのようでした。

観光地には、旅行客が多く、その中に、意外に日本人が多いでした。また、顔形も韓国人と似ているので、私たちは、外国へ来たという実感はありませんでした。しかし、言葉はかたことの英語でしか通じず、やはり異国にいるなと感じました。

ロータリークラブの例会にも、2回出席させていただきました。ソウルの例会は、日本での例会より明るく感じました。また、釜山の例会では、日本では珍しい巡視船の上で行なわれたので、違った味わいを感じました。今回、このような、高校生活に残るすばらしい海外旅行をさせていただきまして、ありがとうございました。御礼を申し上げますと共に、また私たちの後輩が、このようなチャンスを得、親善に努力することを願ってやみません。（9月6日）

《交換学生募集》

青少年歓待委員長

世 戸 一 夫

鎌州ウエリントンのロータリアンの娘さんで
Darlinghurstの高校生 Miss Mary Solomon
さんが、1971年1月から1年間日本に留学を希
望しておられます。

日本より、4月から向う1年間、交換に留学
御希望の方があれば、クラブを通して、ガバナ
ー事務所あて御申込下さるようお願いいたしま
す。ロータリアンの知己の高校生でも結構で
す。先方は、男子1名、女子1名を引受けたいと

いっております。

現在、堺クラブは、宇佐見路代さん（15才）
を、オーストラリアのムーロブナ市に留学させ
交換学生として、Miss Olywn Ann Graham
さんを、会員宅に預かり、羽衣学園で1年間勉
強していただいております。

なお、当地区としては、原則としてクラブ間
の学生交換を、夏休みの間、1カ月の短期間、
米国の649地区、587地区、528地区内のクラブ
との間に計画を立て、お世話をするをすす
めていきますので、御希望のクラブは、これまた
ガバナー事務所へ、詳細お問合せ下さいますよ
うお願い申し上げます。

8 月 出 席 報 告

(Attendance Report For August)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率
1	御 坊	4	59	-1	100.00	29	田 辺	4	64	-1	95.72
2	高 槻	4	52	—	100.00	30	和 歌 山	4	94	+1	95.61
3	橋 本	4	55	—	100.00	31	大阪天満橋	5	57	+7	94.74
4	和 泉	4	62	+4	99.58	32	大 阪 東	4	88	+1	94.65
5	和歌山東	4	77	+6	99.30	33	堺	4	111	—	94.50
6	大阪淀川	4	69	-1	98.90	34	豊 中	4	52	-1	94.14
7	那智勝浦	4	34	-1	98.49	35	富 田 林	4	53	—	93.75
8	大阪西南	4	51	-1	98.05	36	白 浜	5	38	+2	93.69
9	茨 木	4	52	+1	97.95	37	粉 河	4	27	-1	93.52
10	泉 大 津	4	71	—	97.83	38	大 東	4	34	—	93.39
11	泉 佐 野	4	57	+1	97.80	39	大 阪 北	4	156	-1	63.18
12	和歌山南	4	57	+2	97.76	40	枚 岡	4	40	-2	93.13
13	新 宮	4	53	-1	97.65	41	大阪阪南	4	46	—	92.94
14	東 大 阪	4	55	—	97.65	42	海 南	4	53	-1	92.79
15	箕 面	4	29	+1	97.41	43	八 尾	4	49	-1	92.78
16	堺 南	5	63	-2	97.34	44	門 真	4	24	-1	92.71
17	岸 和 田	4	57	-2	97.32	45	豊 中 南	4	29	+1	92.24
18	松 原	4	46	-2	97.29	46	大阪東淀	5	24	+24	91.67
19	高 石	4	44	+2	97.16	47	大阪城南	4	40	+1	90.58
20	吹 田	4	58	-1	96.55	48	大 阪	4	289	-9	90.52
21	大阪住吉	4	72	—	96.53	49	大阪西北	4	44	+6	90.34
22	大 阪 西	5	93	+2	96.52	50	堺 東 南	4	30	-1	90.00
23	河内長野	4	58	+2	96.43	51	大阪柏原	5	22	+1	90.00
24	大 阪 南	4	148	—	96.41	52	守 口	4	52	+1	87.02
25	枚 方	4	52	+3	96.15	53	池 田	5	49	—	68.24
26	寝 屋 川	4	25	+1	96.00						
27	有 田	4	49	-1	95.92						
28	貝 塚	4	54	+8	95.84						
							合 計	219	3217	+46	5025.68
									平均出席率		94.82%



ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 366 : GOVERNOR'S

Monthly Letter

第366区 サバナー

井関 久楠

区内各会長及び幹事様へ

月 信 (写)

GOVERNOR: HISAGUSU ISEKI

OFFICE: 和歌山市西町5 内田ビル5階
Uchida Bldg., Nishi-Migiwacho, Wakayama-shi

ADDRESS: P.O. BOX 5, WAKAYAMA

和歌山局 郵便箱5号 640-71

TELEPHONE: 0734-22-0847

CABLE ADDRESS: INTEROTARY WAKAYAMA

第 5 号 (昭和45年11月1日 発行)

№ 5 November 1, 1970

《講 演》

ビル・ウォークRI会長

(前略) 「本当に幸せになるためには、そして人生に満足するためには、まず第一に人類が切実に追求している大目的に共鳴し、自からのもつすべてを、そのために捧げなければならない」ハーバート・フーバー(第31代米国大統領)はこう書いております。

ロータリーはその大目的にあたるのであり、ロータリーは切実に必要とされているのであります。私達のもつすべてをロータリーに捧げようではありませんか！

このような大目的に献身するすべての個人は自からの進むべき方向を見定めるための星を持つ必要があります。人々とともに活動するにあたって、信じ得る唯一の星は、人間の良心であります。

「汝自身に誠実たれ、しからば夜について昼

の来るごとく、他のなにびとに対しても、不実なることなかるべし」不朽の文豪シェクスピアはこう書いております。

この星を頼りに私達が定めた進路を、世界に示すことができるよう、『超私の奉仕』が単なる空文ではないことを、ロータリーには目的があることを、存在理由があることを、そしてロータリーが必要なことを、全世界に示すことができるよう、折りたいと思います。(中略……“Bridge the Gaps”について述べた後)

ロータリーは、その最も光輝ある時代においてさえ、自からのもつ潜在的力を、十分に認識していないといわれております。ともすれば、個々のロータリアンのもつ力を過少評価する傾向があるのであります。

「一般の市民は、自分達の地域社会の、祖国の、そして世界の運命に影響を及ぼすようなことは、何にもできないと信じこんでおり、こういう危険な考えが拡まっている。しかし私は、この考えが、怠惰な利己的合理主義か、それと

も人類の墓碑となるかどうか、まだ決めかねている」ミルトン・アイゼンハウアーはこう書いております。

1人のロータリアン、あるいは、たとえ70万人のロータリアンが、ひとりごとを言うだけで、世界の形勢をすっかり変えてしまうことができる信じほど、私はナイーブではありません。しかし、私達のもつ潜在的な力を過少評価すべきではありません。

調査によると、各地域社会の尊敬された指導者としてのロータリアン1人1人は、それぞれ100人の人々に影響力をもっているとのことであります。

もしそうだとすれば、私達は自由世界の全地域社会において、7,000万人の人々に、ロータリーの理解の哲学の影響を、及ぼすことができますはずです。2,000年前ナザレのイエスは、12名の門弟とともに、歴史の方向を変えました。なぜならイエスは自からの使命を信じていたからであります。

地域社会において、ロータリーを評価する真の基準は、誰が会員となっているか、あるいは会員数がどのくらいか、などということではなく、そのクラブがどんなことをしているか、に置かれるべきであります。

個々のロータリアンの価値は、必ずしもその会員在籍年数や、完全出席年数などによって、評価されるべきではなく、ロータリーのためにその人がどんなことをしたか、クラブのため、地域社会のため、そして人類のために、どのような貢献をしたか、によって計られるべきであります。

ロータリーがこれまで皆さんのために行なって来たすべてのことを、一覧表に作成してみた場合、その表は相当長いものとなることでしょう。しかし皆さんが、ロータリーのために行なって来たすべてのことを、一覧表にしてみた場

合、その表の長さはどのくらいのものとなるでしょうか。ロータリーという協同体が、私達のために答を見つけてくれるであろうとあてにして、深々と椅子にもたれていることはできません。各ロータリアンは、ロータリー精神をもって、自からその答を見つけなければならないのであります。もし私達がその気になれば、ロータリーは世界理解達成の鍵となり得るはずだと、私は信じます。

皆さんのもっている最高のものを世界に与えて下さい。そうすれば最高のものが皆さんに戻ってくることでありましょう。「超我の奉仕」の模範を、世界の人々に示そうではありませんか。世界は私達のテリトリーなのであります。どこの国の人の問題であれ、どのような世界問題であれ、私達に関係のないものはありません。その問題がどこかの人間に関係ある限り、めぐりめぐって私達にも関係してくるのであります。自分1人だけで生きていける人間は、1人もおりません。私達はみなお互いを必要とするのであります。私達はみな神の助けを必要とするのであります。

皆さんはロータリアンとなった時、人類にある公約をしたこととなります。世界は皆さん各自のもつ最高のものを、そして皆さんの貴重な時間と、努力と能力の相当の部分を、ロータリーに寄付するよう期待し、要求しているのであります。こんな要求は、ロータリーにとって過大にすぎるでしょうか。ロータリアンにこれを期待することは、過大にすぎるでしょうか。これは各人が直接自分の心のなかで答えるべき問題であります。

このようなことは、セルバンテスの書いたドンキホーテにでてくると同じような、実現不可能な夢だと、言い張る人もあるでしょう。しかし、少なくとも私は、この不可能な夢をおえて夢みるつもりであります。なぜなら私は、ド

ンキホーテが夢みたように、私達が一緒に力を合わせれば、これを現実となし得るはずだと信じているからであります。

これこそロータリーの使命であり、ロータリーに託された使命であると、私は心から信じております。

皆さん、どうかこの途方もない課題を受けとめて下さいませんか。(8月19日京都にて)

I . C . G . F . 開 催 報 告

■ 吹 田 第 4 組

第366地区第4組のI.C.G.F.は、6月19日大阪中之島の関電会館で開かれた。ホストクラブは、吹田RC。

午前11:30登録開始、この日の参加者は、茨木11、池田20、箕面17、大阪東淀11、大阪北20大阪淀川13、高槻16、豊中14、豊中南14、ホストクラブ吹田46、それに近く発足が予定されている、攝津からの3名に、来賓を加えて、合計189名となった。一同まず会館2館の広間で、サンドウィッチに牛乳というきわめて簡素な昼食、ついで地下のホールに移って、12:30から開会された。

井関ガバナーは、「この会を気楽に、固くならず、やってほしい、リーダー陣も強力だ」とあいさつ、友永吹田会長から来賓等の紹介があったのち、緒方ゼネラルリーダーが、「フォーラムは討論がなければ成立しない。平素の疑問など、どしどし質問してほしい」と述べられ、討議に入る前に前年度出席優秀表彰バナーが、第2区分第1位高槻クラブに贈られ満場の拍手を浴びた。

討議は、次の6部門に分けられた。

- (1)職業奉仕 リーダー 新 文夫 (池田)
- (2)社会奉仕 リーダー 長東 良雄 (高槻)

(3)青少年奉仕 リーダー 民秋重太郎 (豊中)

(4)国際奉仕 リーダー 吉川信蔵(大阪淀川)

(5)クラブ奉仕Aリーダー 改正 重延 (茨木)

(6)クラブ奉仕Bリーダー 小林三甫朗 (箕面)

職業奉仕討議のリーダーは、「理論はともかく、日常の努力をきかせてほしい」と各クラブに発言を指名、職業奉仕の実践、4つのテスト利用の実例について、クラブと会員間の努力、会員と各職場との結びつきが披露されたが、吹田RCからの公害問題にふれて、「ロータリアンの努力で今日の日本の繁栄があったが、こんどは、みんなのためになることという点で、公害問題を解決しなければならない」という趣旨の発言が、注目をひいた。

社会奉仕討議でも、後半注目の公害問題の取り上げ方を討議、リーダーは、「公害の定義から考えれば、職業奉仕部門の問題かもしれないが社会問題化された最近の状態から考えれば、社会奉仕部門としても考えねばならない」と述べ、まずロータリアンの経営する企業から、公害をなくすべきだ等の発言がこどもも述べられたが、問題が複雑かつ重大なだけに、この問題をどのように取り上げるかの具体的方法の討議には、深く入れなかった。

青少年問題討議では、インターアクト、ロータアクトの現況と計画が問題となり、大阪北RCの実例説明などあったが、塚本直前ガバナーが、「東京では19も設立されているのに、大阪では2というのは、要するにアプローチが拙劣としか思えぬ。是非各クラブ1つづつは設立を」と要望された。もう1つの青少年の指導については、吹田からの、オ早ヨウゴザイマス、イタダキマス、御馳走サマデシタ、行ッテマイリマス、タダイマ、オヤスマ、ぐらいはせめて励行させるべきだとの提言には、会場に強い共感の空気があった。

国際奉仕討議では、池田RCの豪州ローンセ
ストンRCとの関係など、姉妹クラブとの交歓
について報告のほか、井関ガバナーの韓国376
区との提携調印、原田バストガバナーのインタ
ーアクトクラブ員との韓国旅行の話があった。
全体としてあまり年少者の派遣は意味がなく、
せめて大学生程度をとの発言が多く、今後の
問題として残された。

クラブ奉仕討議は、問題をAとBに分け、各
クラブの悩みが率直に披れきされた。やはり会
員推薦、出席問題などがその焦点であり、問題
が日常的で体験的なだけに発言が多い反面、繰
返しも目立ち、時にはかなりエキサイトもし
た。しかし各クラブにとって勉強になり参考に
なる点も多かったようだ。

緒方ゼネラルリーダーの概評に~~かわって~~、塚
本直前ガバナーからロータリー財団の現況につ
いて説明があり、次年度ホストクラブは豊中R
Cと発表されて、和やかに「手に手」合唱のう
ちに閉会した。そして18:20一同再び2階広間
に集まり、ビールの乾杯があって散会した。な
お、この会を滞りなく有意義に進行させたフォ
ーラム委員長は、田中和一郎、副委員長は梅田
三次郎、SAAは名張隆政の各君であった。

■標準ロータリークラブ定款

第9条の改正

第9条 地域社会、国家及び国際問題

第1節 地域社会、国家及び世界の一般福祉は本ク
ラブの会員にとって関心事である。そしてこのような
福祉にかかわる公共問題の功罪は、会員各自が自己の
意見をまとめる上の啓蒙手段として、クラブ例会にお
ける公正且つ理知的研究及び討議の対象として適切な
課題というべきである。しかしながら、本クラブは如
何なる係争中の公共問題についても意見を表明しては
ならない。

第2節 本クラブは公職に対する如何なる候補者も
支持又は推薦してはならない。又本クラブは如何なる

クラブ会合においてもかかる候補者の長所又は短所を
討議してはならない。

第3節 (イ) 本クラブは、政治的性質を持った世界
問題又は国際政策に関して、討議乃至見解を採択し
たり、配付したりしてはならない。又これに関して団体
行動を起こしてはならない。

(ロ) 本クラブは、政治的性質を持った特定の国際問
題の解決のために、クラブ、国民、政府に対して嘆願
してはならない。又書状、演説、提案を配付してはな
らない。

(注 下線は改正点を示す)

最近、時おりロータリークラブが他国民に関
する問題につき、そのクラブ独自の見解を表明
する声明書又は決議を採択したり、配布したり
する事件が起っております。過去の経験は、ク
ラブによるこのような行為が、その善意的な意
図にもかかわらず、しばしば、そこに取り上げ
られている問題に対し反対の意見を有する人々
の誤解を招き、その懸隔をかえって悪化させる
ことを示しております。特にそのような声明書
や決議が配布される国内の反対者に対する非難
告発をも含む場合、その悪化は確実なのであり
ます。

この問題に関連し、1970年 国際大会におい
て、世界中からのクラブ代表が、制定案70-43
を採択し、それによって、標準ロータリーク
ラブ定款第9条を修正して、ロータリークラブ
は、個々のクラブ会員の啓蒙をはかるために、
地域社会、国家ならびに世界全体の福祉に関す
る問題を研究し、討議することはできるが、ク
ラブは、世界事件や国際的な政策に関して、決
議を採択したり、見解を表明したり、統一的な
行動をとることはできないことを条文化しまし
た。更にまた、クラブは、政治的な国際問題を
取り上げ、その解決をはかるために、他のク
ラブや、人民、又は政府の同調を求めたり、書信
を発信したり、又は講演趣旨や解決案などを配
布してはならないことになっておるのであります。

この問題について、1 ロータリークラブ会長は、最近寄せられた手紙の中で、対立や衝突の関係にある国々のロータリアンは、たとえ国と国とは対立の関係にあっても、その国の人々、特にロータリアンとの相互理解を促がし、深め合うことに、ロータリーの信条を役立たせるべきであると強調しておられました。

標準ロータリークラブ定款第9条の修正は、各国間、たとえ対立し合っている国と国との間にあっても、ロータリークラブならびにロータリアンが連絡し合うことを禁ずるものではありません。むしろ、そのような事情にある場合にこそ、クラブならびにロータリアン同志の連絡は、友情と理解の増進をはかる精神をもって継

続され、誤解のギャップを克服して、真の友情の懸橋を渡すために、お互いに学び、情報を分かち合おうとする意志のあることを、示し合うべきことを強調するものなのであります。それと同時に、クラブは、標準ロータリークラブ定款第9条の規定に違反するような統一行動や連絡を避け、対立関係を融和し、友好関係の復原を早めるというよりは、むしろそれを遅延させるような行動は、極力避けるように努めなければなりません。国家間の関係が対立又は緊迫しているような場合に、ロータリークラブならびにロータリアンは、その問題の解決に役立つことのみを実行することが、重要なのであります。

(R I 事務総長の書簡より)

ロータリー財団週間を迎えて

11月15日～21日

ロータリー財団週間を迎えて各クラブでは適切な行事計画を立て実行されたいのですが、特にロータリー財団の最近の目ざましい活動および活動展開に伴う資金援助については、クラブ会長みずから十分なインフォメーションを一般全員に与えてほしいと思います。

《財団奨学生候補者の推薦について》

財団は、大学院課程、大学課程及び専門的訓練補助金等のプログラムを通じて、異なった国民間に理解と友好関係を増進しようとしています。今回は、1972～73年度に留学を希望する奨学生の推薦方をお願いする次第です。すでに近畿圏各主要大学の学生課あて、本制度についてPRいたしておきましたが、現在数名の者からガバナー事務所に問合せが来ている状態です。そのつど、もよりのRCを通じて申込むよう返

事をいたしておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、推薦要領を簡単に御紹介いたします。

◎次年度(1972—73)ロータリー財団奨学生候補者の推薦については、下記諸項お含みの上、貴クラブにてあらかじめ選考され、1971年4月1日までにガバナー事務所に申請書及び関係書類が到着するよう御配慮願います。

(1) 奨学金の支給される奨学生の種類

- イ、大学院課程 大学卒業の学位のある者で1972年7月1日現在20才から28才の独身男女。
- ロ、大学課程 大学在学中の者で少なくとも2年間在学の経歴のある独身男女。年令は1972年7月1日現在18才から24才の学生。
- ハ、専門的訓練のための奨学生 学歴は問

わず、但し少なくとも2年間その専門とする職業に従事している経験者で、
年令は1972年7月1日現在21才から35才の者。独身、妻帯いずれでも可。

(2) 一般的資格

- a 健康にして留学希望国の言葉に通じていること。
- b 国際理解と両国間の親善を深める熱意のあるもの。
- c 推薦クラブの地域内に居住するものであること。当該地区内にある学校に在学する者は、その学校の所在地ロータリークラブより推薦すること。

(3) 不適格な申請者

- a ロータリアンの扶養家族、実子、継子、孫、兄弟姉妹並びにこれらの者の配偶者
- b 申請時においてすでに留学中の国に、又は奨学金年度開始以前の期間中に留学を計画している国に、留学を希望する者
- c 単独で又は指導者のつかない研究を望む者
- d 医科のインターン、住込み実習生又は研究生
- e 専門的訓練補助金を徒弟訓練又は技術教科目の授業のために使用しようとする者
- f ロータリークラブが全くない国の居住者

(4) 費用について

1年間の留学中の諸費用は、個人的な費用を除き、往復旅費、学費、滞在費など勉学に必要な費用は、財団から支給される。

(5) 申請方法

奨学金申請者は、申請者の本籍地のある地区のRC、又は申請時在学中の大学の所在地区のRCを通ずること。専門的訓練補助金申請者は、申請者の本籍地のある地区のRC、又は申請者の雇用されている職場のある地区のRCを通ずること。

申請者は、タイプ印書して、1971年3月15日までに上記RCの幹事あてに2部提出のこと。

その他、詳細はガバナー事務所から送付する「要覧」を参照して下さい。

《本年の奨学金受給者数》

当地区からRIへ推薦した1971~72年度財団奨学生は、既報のとおり、御宮知樹(大阪RC)新喜久子(堺南RC)の2人が決定発表されました。今回決定した奨学金受給者は世界各地区合計353人(男215、女138)ですが、その内訳は次のとおり。

大学院課程奨学金	247人
大学課程奨学金	63人
専門的訓練奨学金	43人

これらは世界59カ国から選ばれ、留学先は47カ国に分れています。ロータリー財団が1947年に奨学金制度開始以来の統計は次のようになります。

大学院課程奨学生(1947より)	2,959人
大学課程奨学生(1967より)	222人
学問的訓練奨学生(1966より)	221人
合 計	3,402人

※外にグループ研究交換(1965より)1,224人
(※印は本年6月末までの数字です)

上掲のうち、日本各地区から派遣され、あるいは受入れた奨学生およびグループ研究生は本年6月30日現在で合計199人にのびります。

	(受入れ)	(派遣)
大学院課程	17人	72人
大学課程	2人	10人
専門的訓練	1人	2人
グループ研究	41人	54人
合 計	61人	138人

《財団の支出36億円を越す》

今回発表された1971—72年度奨学生 353人分を含めずに本年6月30日現在、財団の支出累計額は次のように1千万ドル（邦貨36億円）を越えました。

大学院課程奨学金	7,387,801米ドル
グループ研究交換	1,525,187 //
専門的訓練奨学金	661,541 //
大学課程奨学金	525,135 //
※特別交付金	53,207 //

10,152,871米ドル

（※印は世界理解増進に役立つ教育関係、又は慈善関係の企画を、クラブあるいは地区がみずからの資金により実施するに際して特にロータリー財団が援助金を交付した金額を示す）

《ロータリー財団各クラブ別寄付率》

地区内各クラブの財団寄付額パーセンテージを調べると次のようになっています。これは9月30日現在としてRIから発表された数字です。カッコ内の数字は昨年6月末のパーセントすなわち、過去1年3カ月間にどれだけ前進したかがわかります。（年度途中で発足の大阪東淀、大阪柏原、堺東南の各RCは含まず）

1,100%クラブ	堺(700)
1,000%クラブ	大阪東(400) 那智勝浦(800)
800%クラブ	大東(200) 堺南(700)
700%クラブ	大阪(700) 茨木(500)
600%クラブ	大阪北(300) 和歌山東(600)
500%クラブ	有田(400) 池田(300) 和泉(400) 泉佐野(300) 河内長野(400) 守口(400) 豊中(300) 和歌山(400) 和歌山南(400)
400%クラブ	東大阪(300) 海南(300) 岸

和田(300) 大阪南(400) 大阪住吉(400) 大阪西(400) 高槻(400) 田辺(400) 枚岡(300) 白浜(300) 八尾(300) 御坊(300) 橋本(300) 枚方(300) 泉大津(300) 粉河(200) 松原(200) 大阪阪南(0) 大阪淀川(300) 新宮(300) 吹田(300) 高石(200) 富田林(300) 豊中南(0) 貝塚(200)

200%クラブ 門真(0) 箕面(0) 寝屋川(0) 大阪城南(0) 大阪西北(0) 大阪西南(0) 大阪天満橋(200)

ロータリー財団へ世界各地からの寄付額は過去14年間、毎年その前年度を上回っており、本年6月末をもって終った1969—70年度は1,947,122米ドルにのぼり新記録をつくりました。（前年度の寄付額は1,537,000米ドル）

■社会奉仕委員会より

森寿五郎委員長からの報告によれば、同委員会では、再度にわたり会合討議の結果、次のとおり本年度の目標を定めたとのことであります。

1. 青少年問題について

警察当局と協力して青少年の補導にあたることは、社会奉仕部門の重要な問題であるので、本年度こそは、かけ声のみに止めず実効あるものとしたい。

2. 交通事故防止について

交通事故防止は、一層重要問題となりつつあるが、その大部分は、トラック、乗用車等交通車輛によるものが多い。警察当局の交通取締に期待する以外には方法はないが、我々自身が交通事故を惹起しないこと、また、我々としてはこれにかからないよう注意すること。

3. 公害問題

我々自身の家庭又は工場等より、公害の原因となる煤煙、汚水その他汚物を排出しないよう努めること。また塵埃箱を完備して塵埃の処理を完全に施すこと。(裏道に捨てたり、河川に捨てることは禁物)。不足の場所には塵埃箱の寄贈をする必要もある。歩行者及び自動車運転者で、煙草の吸殻等路上に捨てぬよう、注意を喚起すること。吸殻の火が火災の原因となることは、度々報道されている。

4. 小さな親切運動の推進

東大前学長の提唱したところであるが、これを推進するには資金の必要はないが、各人の勇気と熱意を必要とする。ロータリアン各自及びその家族、あるいは近隣者が、その親切心によって被害を未然に防ぎ得る。近頃、新聞紙上、幼児の誘拐等が市中の婦女子によって、未然に防止できた例が多く見られる。

以上に要する経費は、大よそ各クラブのニコニコ箱より支出できる程度のものであると思われる。

また以上4項目、あるいはその他各クラブに特有な社会奉仕問題については、各クラブは1ヵ月1回位は、スポット・インフォーメーションとして、例会において流されるようにしたいものである。

■万国博例会を終わって

万国博ロータリー例会管理委員長

竹中 鍊一君 (大阪RC)

3年前に、例会管理委員長の大任をおおせつかった時は、大変憂うつで、不安でありました。いろいろ手を尽し、ご辞退申し上げましたが、とうとう引き受けざるを得なくなっていました。しかし、案ずるより生むが安しの諺のとおり、今日御覧になりましたように、毎日楽しく、例会を開くことができました。当初の不安は、単なる杞憂にすぎなかったようです。

ところで、昨日までの152回の記録を申し述べますと、参加された主催クラブ数は、232クラブで、参加延人員23,380人、その内訳は、主催クラブ出席会員8,866人、主催クラブの会員家族5,467人、国内ビジター5,767人、国内ゲスト1,543人、外人1,737人となっております。1,737人54カ国の外人の出席は、国際親善に大いに役立ったものと思います。

1日の平均参加人員は152人、参加人員の一番多かったのは、5月19日の名古屋クラブの248人、一番少なかったのは、8月21日の津南、津北の41人で、この日は、台風の影響でホストクラブの会員の参加が4人しかありませんでした。

例会開始前から一番心を痛めておりました定数210名をこえた回数は、12回で、お断わりした人数は、100人にもならない程の人数でした。これから考えまして、210名という定数を決められた組織委員の方々の頭脳は、コンピューター以上の正確さであったと敬服いたしております。

また、各クラブの皆さんが一番苦心された卓話は、踊り、歌等演芸が26回、個人の卓話が27回、スライドが98回その他となっております。

以上のように、非常に盛会のうちに、無事万国博例会を終了することができましたのも、組織委員始め、近隣クラブ及び事務局の皆さんの御援助、御協力の賜ものと深く感謝いたしております。どうもありがとうございました。

(大阪RC週報より)

《御注意までに》

よくあることですが、Aクラブを退会してBクラブに移った場合、Aクラブの退会手続が未済のため、両クラブ間にトラブルの発生することがあります。こうしたことのないように、Bクラブの理事会は、Aクラブの退会を確認した後、入会を承認するように御注意をお願いいたします。

第366区	第376区	相手クラブ	創立年	会員数	第366区	第376区	相手クラブ	創立年	会員数
有 田	Andong	安 東	1963	30	大 阪 北	Yechon	禮 泉	1965	29
大 東	Cheju	濟 州	1963	25	大 阪 西 北	Sunsan	善 山	1969	33
御 坊	Chinhae	鎮 海	1967	33	大 阪 南	Taegu	大 邱	1954	86
橋 本	Geochang	居 昌	1968	26	大 阪 西 南	Pusan-North	北釜山	1968	48
枚 方	Hadong	河 東	1968	27	大 阪 住 吉	Pohang	浦 項	1963	41
枚 岡	Hamyang	咸 陽	1968	26	大阪天満橋	Pusan-Central	中釜山	1968	73
池 田	Jinju	晋 州	1966	31	大 阪 西	Pusan-West	西釜山	1968	58
泉 大 津	Jinyang	晋 陽	1968	25	大 阪 柏 原	Chungmu	忠 武	新設	不明
泉 佐 野	Kimchon	金 泉	1964	31	堺 東 南	Kimhae	金 海	新設	不明
河 内 長 野	Kyungju	慶 州	1963	27	新 宮	Samchunpo	三千浦	1967	23
岸 和 田	Masan	馬 山	1965	30	高 石	Sancheong	山 清	1968	23
粉 河	Milyang	密 陽	1966	33	高 槻	Sangju	尚 州	1966	27
松 原	Oesung	義 城	1966	25	田 辺	Ulsan	蔚 山	1964	30
箕 面	Youngchon	永 川	1969	30	豊 中	Youngju	榮 州	1966	28
寝 屋 川	Euiryeong	宜 寧	1969	30	豊 中 南	Yangsan	梁 山	1968	26
大 阪	Pusan	釜 山	1935	105	和 歌 山	Pusan-South	南釜山	1959	66
大 阪 東	Pusan-East	東釜山	1963	58	和 歌 山 東	Taegu-East	東大邱	1961	75
大 阪 阪 南	Hapchun	陝 川	1969	27	和 歌 山 南	Taegu-South	南大邱	1964	50
大 阪 城 南	Waegwan	倭 館	1968	27					

■韓国376区へ「ロータリーの友」を

月信第4号掲載の、塚本直前ガバナーからの「ロータリーの友」誌を、376区各クラブあてに、当地区各クラブから寄贈してはという御提案に対し、上表のとりの組合せで、実施することに各クラブとも賛意を表されました。つきましては、上表記載の各クラブは、できるだけ早い機会に実行に移して下さるようお願いいたします。

お 知 ら せ

■ペルー地震義捐金の集計

第366区として、上記義捐金を取りまとめて参りましたが、10月15日をもってメ切らせていただき、フィスカルエージェントあて下記の金額を送金いたしましたので御報告いたします。御協力ありがとうございました。

45クラブよりの寄付額 1,163,500円

■第629区（ミシガン）から

国際青少年交換（1カ年）のプログラムの申入れがありました。

■訂正事項

ガバナー月信第2号7頁左側、上から11行目後半を、「三井物産ダラス支店長福島喜三次」と訂正いたします。

■国際ポスターコンテストについて

中学、高校生を対象とする国際ロータリーの第2回 国際ポスターコンテストが始まりました。当366区では、各クラブで、応募作品から1点をえらび、それを11月1日までに、地区審査委員会に提出し、さらに、各地区は、入賞作品を2点、71年1月1日までに、事務総長のもとに届くように提出することになっております。

参加作品に添付する参加書式は、世界理解週間資料と共に、全クラブへ送付してあります。

■攝津クラブ新設、認証さる

吹田クラブをスポンサークラブとし（特別代表細谷昌夫君）、大阪府攝津市（人口5万8千人）を区域とする新しい攝津クラブが、9月26日創立総会を開き、誕生しました。創立会員22名、例会場並びに事務所は、

攝津市正雀本町1-33-12

攝津信用金庫正雀支店内

（電話06-381-4481）

例会日は、毎週金曜日12:30

会長 北本佐一郎 幹事 熊野 健次

追って、同クラブは10月9日付、RIから認証されました。おめでとうございます。

9 月 出 席 報 告

(Attendance Report for September)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	高 槻	4	53	+1	100.00	2	29	大阪阪南	4	49	+3	95.75	41
2	橋 本	4	57	+2	100.00	3	30	白 浜	4	42	+6	95.71	36
3	大阪西南	4	55	+3	99.55	8	31	大阪柏原	4	24	+3	95.70	51
4	箕 面	4	29	+1	99.14	15	32	粉 河	4	27	-1	95.37	37
5	高 石	4	44	+2	98.87	19	33	御 坊	4	61	+1	95.32	1
6	貝 塚	4	54	+8	98.61	28	34	大阪住吉	4	72	—	95.14	21
7	大阪淀川	4	69	-1	98.53	6	35	池 田	4	49	—	94.90	53
8	和 泉	5	62	+4	98.33	4	36	大阪西北	4	43	+5	94.77	49
9	和歌山東	4	77	+6	97.98	5	37	富 田 林	4	53	—	94.71	35
10	吹 田	4	58	-1	97.81	20	38	豊 中 南	4	28	—	94.65	45
11	堺 南	4	64	-1	97.60	16	39	大 阪 東	4	87	—	94.35	32
12	茨 木	4	52	+1	97.39	9	40	枚 岡	4	41	-1	93.80	40
13	松 原	4	46	-2	97.29	18	41	海 南	4	53	-1	93.75	42
14	泉 佐 野	4	55	-1	97.27	11	42	有 田	4	49	-1	93.37	27
15	豊 中	4	53	—	97.17	34	43	大 東	4	33	-1	93.27	38
16	岸 和 田	4	58	-1	96.88	17	44	大阪天満橋	4	57	+7	92.98	31
17	河内長野	4	58	+2	96.55	23	45	寝 屋 川	4	25	+1	92.00	26
18	和歌山南	4	58	+3	96.52	12	46	大阪城南	4	42	+3	91.53	47
19	大 阪 西	4	94	+3	96.48	22	47	大 阪 北	4	163	+6	91.40	39
20	和 歌 山	4	95	+2	96.42	30	48	堺	4	111	—	91.01	33
21	泉 大 津	4	71	—	96.38	10	49	大 阪	4	289	-9	89.08	48
22	東 大 阪	4	55	—	96.25	14	50	堺 東 南	4	30	-1	88.34	50
23	那智勝浦	4	34	-1	96.21	7	51	守 口	4	52	+1	87.98	52
24	枚 方	4	52	+3	96.15	25	52	門 真	4	24	-1	87.50	44
25	大 阪 南	4	148	—	96.06	24	53	大阪東淀	4	25	+25	79.34	46
26	新 宮	4	54	—	95.84	13	合 計						213 3,249 +78 5,038.66
27	田 辺	4	66	+1	95.83	29	平均出席率						95.07%
28	八 尾	4	49	-1	95.83	43							



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 366 : GOVERNOR'S

Monthly Letter

第366区 リポナー

井関名楠

区会長及び幹事殿へ

月 信

GOVERNOR: HISAGUSU ISEKI

OFFICE: 和歌山県和歌山市 内田ビル5階
Uchida Bldg., Nishi-Migiwacho, Wakayama-shi

ADDRESS: P.O. BOX 5, WAKAYAMA

和歌山(和歌山) 郵便箱5号 640-1

TELEPHONE: 0734-22-0347

CABLE ADDRESS: INTEROTARY WAKAYAMA

第 6 号 (昭和45年12月1日 発行)

No. 6 December 1, 1970

明春1月を、再び会員増強の月間に

全クラブの会長が8月中に1人の新会員を入会させるというビル・ウォーク会長要請の増強計画の最終結果は、まだ判明いたしておりません。しかし、多数のクラブにおいて、会員の増強が実現したことは証明されております。そこで、ビル会長は、今回新たに各クラブの**会員増強委員会**(注、会員推薦委員会が、このように改称されました)がチームとなって、明春1月中に、1名の新会員を推薦し、入会させるという新目標を示されたのであります。ビル会長のこの新目標を、各クラブの**会員増強委員会**を活発化させる方法として支持し、推進させて下さい。また、ロータリーの会員となる特典をできる限り多数の有資格者と分かち合う方法として採択し推進させて下さい。

われわれのうち何人も、ロータリーを数や量

のために、増強を図ろうとしているのではないのです。ロータリーは、クラブの中でパーティシペートするメンバーとなる素質のある会員を求めているのです。会員増強を強調する理由は何かという質問に対して、ロータリークラブが、奉仕のために多くの素質のある、熱心なロータリアン[qualified and involved Rotarians]を今日以上に必要としているためだということこれが以上の質問に対する唯一つの解答です。

どうか366区の皆さんも、ビル会長のこの要請にこたえて下さるよう、お願いいたします。この成果について、2月中に各クラブの報告をとりまとめて、ビル会長に報告することになっておりますので御留意下さい。

■「傍観者の時代」ではない

世界問題のある分析家は、われわれの時代を「傍観者の時代」と呼んでいます。多くの人々は、他人がそれぞれの責任を遂行しているのに何らなすところなく傍観者の側に立つという傾向を指してこういっているのです。

地域社会のリーダーシップの先駆者たるべきロータリアンでさえ、傍観者の地位に甘んじようとする人々の仲間になり下がる危険があります。

そこで、ビル・ウォーク会長は、各ロータリアンに、ロータリーによる奉仕活動を勧奨し、人類の悩みであるギャップを取り除くことに挺身することを強調しているのです。

ロータリーに、「傍観者の時代」の入りこむ余地はありません。（R I ニュースより）

I.C.G.F. 開催報告

■枚岡 第5組

第366地区 第5組のI.C.G.F.は、枚岡クラブ例会場石切五洲閣で開催されました。10月3日（土）は、好天に恵まれ、大阪柏原20、大阪天満橋15、大阪東16、門真6、大東12、寝屋川11、東大阪22、枚方15、守口15、八尾15、枚岡40の計187名の参加を得ました。会場は、ホスト枚岡クラブの努力で、和室大広間を利用しマイクも多く用意され、ふん囲気にも細かい配慮がなされている等、かなり苦勞されたようでした。

小松フォーラム委員長の開会のあいさつに続き、岡ホストクラブ会員の歓迎のあいさつの中で、特に最近チャーターナイトを終ったばかりの大阪柏原クラブ全員の参加を賞賛されました。井関がバナーは、RCは常に前進せねばならない、そのためには会員増強こそ大切であ

る。またロータリー財団の意義、隔りを取り除こうの意味についてふれられ、秦孝治郎ゼネラルリーダーは、I.C.G.F.の持つ意味を強調し、発言を大いに勧誘されました。来賓には、ホスト枚岡RCの生みの親である中田守雄君（大阪南）を迎えて討議に入りました。

◎会務奉仕部門 リーダー 行田 一典（大阪東）

- テーマ (1)ロータリーの拡大について
（会員増強と質的向上について）
(2)好ましい例会運営の具体的方法

優秀な会員増強については、各RCそれぞれ努力され、チーム制による増強（大阪）、青年会議所卒業生の勧誘（東大阪）、地区別による増強（枚岡）等、述べられました。リーダーから、RCは高くとまっているという感じを捨て広く紹介者を求めて会員増強に努力してほしいと強調されました。それと同時に楽しい例会にすることが会員増強につながると各RCから述べられ、女性のソング指導の実施等の具体例は大いに参考になりました。

◎社会奉仕部門 リーダー 長谷川善吾（八尾）

- テーマ (1)社会奉仕の具体的事例について
(2)青少年問題に対する具体的な取り組み方について

テーマ(1)(2)を合わせ、各RCの具体例の発表が行われました。青少年関係部門の奉仕に重点を置いているRC（枚方、天満橋、寝屋川、門真）が多く、特に八尾RCが価値ある業績賞授賞に輝やく肢体不自由児慰問招待の及ぼした種々の好影響の報告が注目をひきました。各RC共同で社会奉仕を行うことも提案され（天満橋）、社会奉仕のあり方にまで発展、効果的な奉仕活動こそ大切で、たとえ小さな問題であっても、また大きすぎて単独ではどうにもならないような問題（例えば公害問題）でも、やはり取り上げる必要があるとリーダーも強調されました。



◎職業奉仕部門 リーダー 熊井源之助（東大阪）

- テーマ (1)職業奉仕の根本的理解について
(2)職業奉仕の具体的方法について

最初リーダーより、RCの会合には笑いとユーモアが不足していることを指摘、京都の一人物の職業奉仕に徹した生き方によって、大会社にまで発展せしめられた具体例をユーモラスに話され、笑いの中にも全員適切な例話に感銘を深くしました。各RCの発表の後リーダーは職業奉仕こそ他の奉仕部門の中核にあるもので、自分の職業を大切にすることが天職という考えにつながり、職業奉仕の実践になることを強調されました。「奉仕こそ我が務め」の冊子活用が各RCから何回も叫ばれました。

◎国際奉仕部門 リーダー 西宮 重明（守口）

- テーマ (1)国際奉仕の好ましいあり方
(2)姉妹クラブの効果と永続性

姉妹クラブを効果的に永続させるためには、根気強い忍耐が必要で、先ずこちらの誠意を表わす必要がある（大阪東）、万国博を通じ友好を深めた（守口）、東南アジア留学生福利厚生基金に応募して協力している（寝屋川）等が報告されました。

◎一般討議では、京都の親子2人を同時に入会させた例の報告があり、リーダーより台湾のRCとの姉妹提携を勧誘され、卓話についての研究を進め、ロータリー情報を大いに入れてほし

いと付け加えられました。

最後に井関ガバナーは、各クラブの特徴を十分伸ばしてほしいと感想を述べられ、更に韓国の姉妹クラブへのロータリーの友誼の贈呈運動に対する協力、ローターアクト結成に対するガバナー事務所の利用を訴えられました。

〔4時間にわたる長い討議でありましたが、時間の経過も忘れる程熱が入り、それぞれの討議時間も短か過ぎると思われるくらいで、成果のあったことを感銘深く思いました。なお、次年度ホストクラブは、大阪東RCが引き受けて下さることになりました。〕

■松原 第6組

第366区第6組 I.C.G.F. は、10月17日（土）松原RCをホストクラブとして、羽曳野市民会館において開催された。参加人員は、大阪RC 14名、大阪西RC 13名、河内長野RC 24名、富田林RC 23名、大阪城南RC 20名、大阪西北RC 9名、松原RC 41名、合計 144名であった。

当日は、井関ガバナー、原田秀雄ゼネラルリーダーの御指導により5時間余りにわたり、熱心な討議がなされた。

フォーラムは、開会式に引きつづき、井関ガバナーより、「和やかに、成功裏にフォーラムを進行されたい」とのあいさつがあり、つづいて原田ゼネラルリーダーから、次のようなあいさつがあった。

「I.C.G.F. は、毎年同じことをくり返しているのではなく、新旧の会員が一同に会し、ロータリーの方針や内容を検討することは、ロータリーの進歩とつながるものである。

フォーラムにおける部門別の討議にさいしては、参加会員の各位が活発な意見を盛り上げていただくと共に、所期の目的を達成されたい」

次いで、クラブ奉仕部門、職業奉仕部門、社会奉仕部門及び国際奉仕部門の順に討議に入っ

た。各部門別リーダーの積極的な参加者への呼びかけが功を奏し、討論は白熱し、近年まれに見る内容のあるフォーラムの進行を見るに至った。

◎クラブ奉仕部門 リーダー 児山圭佑（河内長野）

先づ提案事項の説明がなされ、各クラブ毎に“Bridge the Gaps”^①はクラブ内の親睦において、如何に実行に移されているか、という提案について、友好委員会の設置、或いはこれに類する組織をもって運営にあたり、かつ各クラブとも個人的なグルー^②プの形成を避けるとともに、心の隔りがないように努められている、との報告があった。また、ロータリー情報の、会報や週報への取り上げ方に関する興味を持たせ方について、いろいろな提案がなされた。しかし、概して興味を持たせ方にも限度があるので、結局、会報や週報を読ませる努力が、一方において是非必要であるとの提案がなされ印象的であった。

◎職業奉仕部門 リーダー 川端^③駿吾（大阪）

提案事項の説明がなされ、リーダーの発言を指名しない方式が、ことのほか会場を盛り上げた。

先づ、「職業とは何か」という提案に対し、「職業奉仕の勘どころ」という文献の良さが指摘され、親切を加味する奉仕がクラブの中に芽ばえるべきだ、という報告が多くみられた。次いで、「文献を読む」という提案に対し、発言者の内容にひ益するところが多かった。フォーラムの中で、一同が「4つのテスト」を読み上げ、参加者はフォーラムの意義を、いやが上にも認識させられた感がある。

リーダーから、正しく経営し、利潤をあげ奉仕にその利潤をまわしてゆく奉仕の意義を強調され、当該部門の討議を、正に白熱のうちに終了した。

◎社会奉仕部門 リーダー 益田乾次郎（大阪西）

提案事項の説明につづき、まず「公害について」、各クラブより詳細な報告や提案がなされた。討論中、「公害は、ロータリークラブの職業奉仕以前の問題である」という論議と、「職業奉仕以前というにしては問題がある」という意見の若干の対立するところもあったが、公害は人間が作ったものである以上、人間の手で回復すべきものである、お互いに公害に一層の関心をたかめたい、との結論に終始した。

ついで、「義務教育制度の再検討について」各種の議論がなされた。問題の特殊性にかんがみ、人間形成の秩序の確立される制度が望まれている向の発言が多かった。

◎国際奉仕部門 リーダー 杉本 宗勝（富田林）

日本万国博を機会として生まれた国際理解の増進に寄与すべき、顕著な例が数クラブよりなされた。大韓民国 376 区との姉妹締結の状況に関する各クラブの報告は、困難な様子の発言が多くなされた。ガバナーはこの点について、毎月ロータリーの友誌の贈呈の件を提案され、その実行方を要請された。

青少年交換の実例についても、若干のクラブより報告があり、国際奉仕部門の討議が終了した。

◎一般討議及び講評

原田ゼネラルリーダーは、所用のため早退されたので、井関ガバナーは、本フォーラムの結びの言葉をも兼ねて、「例会を明るくし、歌の時間を更に有効に生かし、ロータリークラブの内容を一層たかめたい」との言葉で結ばれた。

なお、フォーラム委員長は、宮道悦男、ホストクラブ会長は、馬場伝次郎、ホストクラブ副会長は、岡田績の各君であった。

■地区拡大委員会開催さる

11月7日午後2時、新大阪ホテルにおいて松島委員長はか井上猛委員、小野寺裕委員、藤沢元雄委員をまじえて開催、先ず松島委員長から本年度になって攝津及び心斎橋クラブがすでにできたが、次は豊中西と和歌山東南が可能性があるはずとの話があり、藤沢委員から、和歌山は難航しつつも前向きに和歌山市3クラブの拡大委員会で会議を重ねており、11月17日にかなり具体的な話が決定される予定であると状況報告があり、また豊中西については、空港ビルを中心に話をもって行けば可能なので、ガバナーの協力、井上委員の協力により成功させたいとの松島委員長の話があった。なお、豊中には千里丘団地、万国博跡を中心に、もう一つできる可能性があるとの話もあった。次いで小野寺委員から、串本地区の難航の状況及び御坊周辺の状況等の困難性についても、報告があった。そして更に、松島委員長は、次回12月5日(土)午後2時、豊中西と和歌山のキーマンや拡大委員にもお越し願って、地区委員と懇談することを提言され、一同これに同意して活発な委員会活動のテープが切られた。大いに期待できる希望に満ちた第一回委員会であった。

■韓国376区へ「ロータリーの友」を

ガバナー月信第3号、第4号及び第5号の関連記事をお読みいただいていると思いますが、各クラブは、毎月、7～10部のロータリーの友を、それぞれの相手クラブに寄贈して下さいようお願いいたします。

376区は、その後新設されたクラブがあり、総数38RCとなりました。新設の相手クラブとの組合せは次のとおりです。

(第366区) 大阪東淀RC

(第376区) 南海 Namhae RC

なお、「ロータリーの友」誌の郵送の宛名は公式名簿(Official Directory)にあるクラブ幹事あてにして下さい。

新設3クラブ(忠武、金海、南海)のアドレスは、目下照会中です。

■地区交換学生懇談会開催

11月13日、和歌山県経済センターにおいて、各クラブ国際奉仕委員長、ガバナー及び地区委員が出席して開かれました。この会合には、オーストラリアからの交換学生Miss Olywn Ann Grahamも来場され、また昨年度の交換学生の家族の方も参加されて、にぎやかに開催されました。

世戸委員長より、地区の交換学生についての現状説明がありました。派遣学生については、高校生又は大学生とし、またロータリアンの子弟に限らず適当な方があれば資格が与えられます。派遣する場所は、米国イリノイ州、カリフォルニア州、カナダ、豪州である。先方よりの交換希望者が、日本ブームのためか殺到しているのであるが、受け入れクラブが少ないので、できる限り各クラブの協力を得て受け入れたい。費用については、旅費のみ自己負担で、滞在費は先方で持つようになる。受入側としてはその逆となる。地区よりは、1人当たり3万円を交付することになっていると説明がありました。

次いで、玉井さん(橋本RC)から令息の交換学生としての体験や、受入側としての状況のお話があり、交換学生として外国へ行かしていただいて大変よかった、と感謝の話がありました。その後、出席の各氏からそれぞれ説明や質問があり、交換学生のよさを十分認識していただきました。各クラブの国際奉仕委員長の皆様も、この事業が“Bridge the Gaps”に最も適した行動であるとの観念を深くされ、協力を約

して散会しました。

この件につき、交換学生御希望のクラブは、詳細について地区青少年交換歓待委員会委員長世戸一夫（大阪南）まで御連絡下さい。

多数の交換申込が外国から参っておりますので、366区各クラブの申込をお待ちしております。

- A. 昨年度継続のもの、649地区（イリノイ）
1名（短期数名もあり）587地区（テキサス）
2名
- B. 11月13日現在申込地区次のとおり。
- (1) 267地区（豪州N. S. W.） 1名
 - (2) 629地区（ミシガン） 1年間数名
 - (3) 587地区（テキサス） 短期5～6名
 - (4) 545地区（コロラド、ネブラスカ、ワイオミング） 1年間数名
 - (5) 709地区（オンタリオ） 1年間数名

■研究グループ交換チーム決定

11月2日、午後2時から、365区及び366区連合の研究グループ交換委員会の選考委員会を開催し、オーストラリア向けチームの団長及び団員を次のとおり決定しました。

団長 西川武四郎（大阪RCシニヤ会員）

団員 寺田 耕造（推薦クラブ、和歌山、28才、塾経営）

上家 富靖（推薦クラブ、堺、28才、児童福祉主事）

今村 信雄（推薦クラブ、大阪北、25才、資生堂）

待野 勇三（推薦クラブ、大和郡山、31才、塾経営）

村田 隆紀（推薦クラブ、京都東、30才、京都教育大学助教授）

浜野 斎（推薦クラブ、京都、31才、京都ホテル）

（補欠）木村研一郎（推薦クラブ、京都北、33才、京都国際ホテル）

■大阪心斎橋RC誕生

11月10日大阪心斎橋RCの創立総会が大丸百貨店で開催されました。大阪RC及び大阪天満橋RCの地域分割により大阪RCがスポンサーとなって立派に設立されました。大阪RCの前会長浅田敏章ガバナー特別代表が議長となり定款細則及び理事役員各委員長等決定致しました。創立会員28名、例会場、及び事務所は大丸百貨店8階、例会日毎土曜日（12時半より）、ビジターフィー1000円、会費7万円、入会金5万円、総会毎年3月初例会、会長中島蓬太郎君、副会長柴田進二君、幹事村田徳次君、会計江藤善士郎君、会場監督小林実君、当日出席者は井関久楠ガバナー、菊地秋夫大阪RC会長、露口四郎大阪RC拡大委員長で、早速毎土曜日仮クラブとして例会を開催しております。ここに特別代表初め皆さんの創立に至るまでの御努力に対し深甚の感謝を表し、将来の発展を衷心より期待致します。

＜＜御注意までに＞＞

◎半年度報告その他について

7月1日から12月31日までの6カ月間の成果をふり返り、しめくりをする時期が近づいております。

各クラブは、半年度報告の準備をなし、また年度半ばを経過した来春1月早々において、クラブの進展を検討するためのクラブ協議会を開催するよう、御注意を願いたいと存じます。

◎標準ロータリークラブ定款、推奨ロータリークラブ細則の改訳について

上記について、すでに各クラブあて、R I 文献東京事務所から送付して来ていると思いますが、各クラブは、定款細則の変更をして下さい。定款は、自動的に改正されておりますから特に手続は不要です。

定款、細則いづれも、全面的に改訳されており、会員推薦委員会は、会員増強委員会となっていることに御注意下さい。

◎雑誌週間 (Magazine Week)

1月24日から30日まで。各クラブは、今のうちから御留意いただき、適切な行事計画をたてて下さい。

今回は、ザ・ロータリアン誌の60周年にあたり、レピスタ・ロータリア誌の38周年にあたります。なおまた1971年の雑誌週間のテーマは、“Our Magazine—Bridging the Gaps”ということになっています。

◎11月2日現在、世界のRC

RCの数 14,522

会員の数 684,000 (148の国、地域)

新クラブの数 (7月1日以降新設)

162 (33カ国)

◎インターアクト、ロータアクト現況

8月17日現在、インターアクト・クラブの総数は、2,773クラブ、66カ国で、6万2000名の会員を数える。

ロータアクトは、596クラブ、46カ国で1万1,500名とのことである。

■出席報告について重ねてお願い

毎月の出席報告は、R I 本部への報告の関係上、メ切日に必ず着いていることが大切です。最近、10クラブ程度は遅れ勝ちでガバナー事務所も大そう困っております。

つきましては、明春1月及び4月は、8日中に必着、その他の月は9日中に必着を励行していただきたいと思います。殊に、月末に例会日を持たれるクラブは、必ず速達便で報告していただくよう切にお願いいたします。

＜提 案＞

■東パキスタンへの災害見舞金

先般の東パキスタンの災害については、皆さますでに御承知と思います。見舞金の募集については、他地区においてもいろいろ計画があるようですが、366地区におきましても、この機会に募金の計画を実施したいと思います。

1人当りの募金額は、500円程度とし、12月中旬までに、できるだけ取りまとめて送金したいと存じますので、御協力をお願いいたします。

10月出席報告

(Attendance Report for October)

順位	クラブ名	例会 数	会員 数	期初と の増減	出席率	前月 順	順位	クラブ名	例会 数	会員 数	期初と の増減	出席率	前月 順
1	高 槻	5	53	+1	100.00	1	29	大阪東淀	4	26	+26	96.04	53
2	橋 本	5	57	+2	100.00	2	30	泉 佐 野	5	55	-1	96.00	14
3	堺 南	4	65	—	100.00	11	31	大 阪 西	4	93	+2	95.94	19
4	和 泉	4	61	+3	100.00	8	32	和歌山南	5	59	+4	95.91	18
5	箕 面	5	30	+2	100.00	4	33	豊 中 南	5	28	—	95.72	38
6	大阪淀川	5	68	-2	99.41	7	34	貝 塚	4	54	+8	95.37	6
7	岸 和 田	4	58	-1	99.13	16	35	粉 河	4	27	-1	95.37	32
8	大阪西南	4	61	+9	98.32	3	36	田 辺	5	66	+1	95.08	27
9	那智勝浦	5	34	-1	98.18	23	37	大 阪 北	4	163	+6	94.68	47
10	新 宮	4	54	—	98.15	26	38	白 浜	4	42	+6	94.65	30
11	和歌山東	5	77	+6	98.11	9	39	枚 岡	5	40	-2	94.58	40
12	河内長野	5	56	—	97.85	17	40	海 南	4	57	+3	94.44	41
13	大阪阪南	4	49	+3	97.45	29	41	大阪天溝橋	4	57	+7	93.86	44
14	茨 木	4	53	+2	97.40	12	42	大阪西北	4	46	+8	93.48	36
15	松 原	4	47	-1	97.34	13	43	枚 方	4	51	+2	93.24	24
16	高 石	4	44	+2	97.16	5	44	八 尾	4	50	—	92.86	28
17	泉 大 津	5	71	—	97.10	21	45	御 坊	5	61	+1	92.46	33
18	和 歌 山	4	96	+3	97.00	20	46	門 真	5	24	-1	92.35	52
19	富 田 林	5	53	—	96.92	37	47	寝 屋 川	5	25	+1	92.00	45
20	吹 田	5	58	-1	96.84	10	48	大阪柏原	4	23	+2	91.30	31
21	豊 中	4	53	—	96.70	15	49	守 口	4	51	—	90.27	51
22	大 阪 東	5	88	+1	96.62	39	50	大 阪	5	290	-8	90.25	49
23	堺	5	114	+3	96.38	48	51	池 田	4	48	-1	89.69	35
24	有 田	5	49	-1	96.37	42	52	大阪城南	5	43	+4	89.27	46
25	東 大 阪	4	59	+4	96.25	22	53	堺 東 南	5	33	+2	83.51	50
26	大 東	4	33	-1	96.21	43	合 計						237 3,280 +109 5,064.77
27	大 阪 南	4	155	+7	96.17	25	平均出席率						95.56%
28	大阪住吉	5	72	—	96.11	34							

■1972～73年度 第366区

ガバナー・ノミニー候補者



第366区 1972～73年度のガバナー・ノミニー候補者を選考するため、11月26日（木）堺市民会館において、国際ロータリー細則第13条 第5節（ハ）項に基づき、当地区ガバナー指名委員会（委員長 塚本義隆）の各委員が出席して、慎重に審議の結果、大阪西ロータリークラブ会員大谷一雄君（おおやかずお）を、全員一致推薦いたしました。

大谷一雄君の略歴は、別記のとおりであります。もし他の候補者を推薦されるクラブがある場合には、候補者指名に関するクラブ例会における採択決議案を、12月26日までにガバナーへ御提出下さい。指定の期日までに決議案の提出がなければ、ガバナーは、「地区指名委員会」の推薦した候補者をもって、当地区の1972～73年度ガバナー被指名者たるべきことを宣言いたします。

大谷一雄君略歴

(Kazuo Ohya)

生年月日 1902年9月8日（68才）
本 籍 富山県東砺波郡井波町本町1-19
現 住 所 神戸市東灘区住吉東町2丁目1-7
（電話078-85-5864）
最終学歴 1928年3月
京都帝国大学法学部卒業

職 歴

1928年4月 住友合資会社入社
1947年4月 日新化学工業（株）常務取締役
就任
1952年8月 同社は住友化学工業（株）と改称
1956年8月 同社専務取締役就任
1963年2月 同社社長就任
1963年5月 日本エクスラン工業（株）取締
役就任
1965年2月 住友化学工業（株）社長辞任
同社相談役就任、現在に至る
日本エクスラン工業（株）取締
役会長就任、現在に至る
（大阪市北区堂島浜通1-25-1
電話 344-1451）

現在、全日本剣道連盟副会長兼理事長

受 章

1963年11月 藍綬褒章受章
1970年7月 総理大臣賞章（安全功労者）

ロータリー歴

1957年7月 大阪西RC入会
1961～62年 同RC会長
現在シニヤ・アクティブ会員
（旧分類 アルミニウム精錬）



ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 366 : GOVERNOR'S

Monthly Letter

第366区 ガバナー

井関久楠

区内各会長及び幹事殿あて

月 信 (写)

GOVERNOR: HISAGUSU ISEKI

OFFICE: 和歌山市西汀丁 内田ビル 3階

Uchita Bldg., Nishi-Migiwacho, Wakayama-shi

ADDRESS: P.O. BOX 5, WAKAYAMA

和歌山局 私書箱5号 640-91

TELEPHONE: 0734-22-0847

CABLE ADDRESS: INTEROTARY WAKAYAMA

第7号 (昭和46年1月1日 発行)

No. 7 January 1, 1971



大阪RC公式訪問にさいして (1970.10.30)

新年のご挨拶

井関久楠

明けましてお目出とうございます。

私の最も思い出の深い1970年は夢のように過ぎ去って行きました。しかし私には一生の内で最も大きな数々の記念すべき記憶が残りました。それは殆んど全部ロータリーに関する事件でありました。全くロータリーに明け、ロータリーに暮れた毎日であったといってもいい過ぎではないと思います。私がガバナーに指名されて引受けるべく決意した時、これこそ奉仕の冒険であると申し上げました。私はその冒険をあえて冒した時、非常な勇気を必要としました。

お蔭でその勇気が今も体内にこもっております。今日まで私は専ら家業を守りつづけ自身を保持するために、外部へ向ってはずい分自分を矯めて参りました。それが私の性格となったように思います。それが活動を失われようとする晩年になって、しかも古稀を越えて活力を覚えて参りました。人のため世のため、自分の出来

る範囲内で、何とかロータリーを通して活動したいと思う意欲が湧いて参りました。全くロータリーのお蔭だと思っております。そうしてそれぞれの事に当るに及んで、人の真心に触れる事が毎日毎日の事柄にひびくように感ぜられます。何事にもこちらから真心をこめて接すれば必ずそれに応じてくれる親切な心持ちをしみじみ体得出来ました。昨年の暮れのある日、吹田RCの幹事さんが、わざわざガバナー事務所まで尺余の勢多迦童子の木彫り像を持参してくれました。それは吹田RC会長さんの運転手さんが、今日までの無事故を感謝し、また将来を誓うため、余暇を利用して自ら手彫りする千体の内の一体の寄贈でありました。それは結局僅か数回の面識にも拘わらず、私が奉仕のために馳け廻っておる事に共鳴を感じられて、喜捨された事だと考え、ありがたく頂戴致しました。

お蔭で案ぜられた公式訪問も、予定通り少しの苦勞もなく愉快に終わりました。眼に見えない家族の協力と、日々接するロータリアン諸兄の温い気持ちとに守られて果した事は、全く幸福な事だと思います。もち論、ガバナーとしての仕事は不十分な事が多いと思われます。しかしそれには私の誠意をもって、その償いは出来ると信じております。年は進みました。1971年となりあと半分はまだ残された仕事が沢山あります。新しいクラブ作りと地区大会とがその中でも大きな仕事だと思います。湯王の盤の銘にある「苟（まこと）に日に新にせば、日々に新に又日に新なり」の格言を守って、更に自分の心を新らしくする事によって、今日までの基盤の上に更に新らしく、間断する事なく努力の積み重ねをやって行きたいと思ひます。それがやがてあらゆる方面への“Bridge the Gaps”への努力になると思ひます。充分自らの責任を背負って、手をつないでServiceの道を皆さんと共に、活発に進もうではありませんか。

■会員拡大・職業分類委員会報告

11月18日(水)午後2時から、新大阪ホテルにおいて開催されました。出席者は、箕田貫一委員長、木村茂委員、脇坂栄一委員、松野文治委員のほか、井関ガバナーおよび垣本喜代治君（和歌山）でした。

旧第365区の1969—70年度 会員拡大状況は次のとおりです。

1969年6月末	クラブ数	82
	会員数	4,710
1970年6月末	クラブ数	89
	会員数	5,282
年間増加	クラブ数	7
	会員数	442 (9.4%)

年間442の増加から新クラブ7の創立会員193(4.1%)を差引くと、内部拡大は249(5.3%)の純増でありました。

今年度は、7月から9月まで1クラブ増加、会員数78名増加しましたが、新クラブ大阪東淀クラブの創立会員24を差引くと、54となります。なおまた、増加クラブ25クラブに対し、会員減少クラブ16、静止クラブ11あり、これらのクラブに対して、会員増強を計られるよう要請したいと思います。

次に、職業分類についてであります。各クラブの8月中旬に作成を要請されている、充填未填職業分類一覧表の完成状況はどうか、また職業分類は急速に流動しているが、新しい職業分類の設定はどうか、職業分類の著るしく偏在しているクラブについての対案はどうか等、協議され、偏在クラブについては10%の基本線を守って行くこと、会員の平均年齢の高いクラブについては、若返りできるよう若い会員を増強して行くことが決定されました。

■世界社会奉仕委員会（第2回）報告

11月28日（土）和歌山商工会議所会議室において、午後2時から開催されました。出席者は委員長 原田秀雄（バスターガバナー）、委員 吉田豊（和歌山東）、長谷川善吾（八尾）、児山圭佑（河内長野）の各君、井関ガバナー及び藤沢地区幹事でした。

決定事項は、次のとおりです。各クラブの御賛同を得て、366区のWCS活動として実行したいと思います。

A. きょ出金額、地区会員1人当り500円とし、概算165万円となります。各クラブ過半数の御賛同を得れば、きょ出をお願い申し上げたいと存じます。

B. WCS（世界社会奉仕）で取り上げる事項

- (1) 社団法人日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）のナイジェリア医療奉仕事業（ピアフラ難民救済の宮崎亮博士）に、100万円
- (2) 韓国、慈行会（心身障害児救済事業）援助に、30万円
- (3) 社団法人日本キリスト教救済協会（MTL）の沖縄救済後援会事業に、約35万円

但し、(1)については、RIのWCS委員会の副委員長齋木亀次郎君の手許にて、全日本から集計し、適当な時期に一括贈呈されるよう希望します。

以上が、WCSとして取り上げる事項であり次の2つについては、地区のWCSとしては取り上げないこととしました。

- (1) 東パキスタンへの救援

RIの齋木WCS副委員長によれば、WCSでは取り上げないということなので各クラブで自発的にきょ金して、ガバナー事務所に集め、送金する。

- (2) 古切手集め 別項参照。

以上の2つは、何れも大事業ではありますが、クラブレベルでは実行しにくい援助であるので、地区を挙げて、皆で協力することは極めて有意義であるということになりました。

◎古切手を集めようのよびかけ

WCS地区委員の1人、河内長野RCの児山圭佑君の御説明によれば、JOCS（キリスト教医療協力会）の事業は、非常に有意義でありまた国際奉仕のよい事業なので、各RCの会員が、各例会毎に古切手を持ち寄って、まとめて河内長野RCに送っていただきたいとのことであります。集めた後のお世話は、河内長野RCでやりますとのことです。同RCでは、2、3年前から実行しておられ、大そう喜ばれているというお話でした。

各クラブで御相談下さい。

◎東パキスタンへの災害見舞金の集計

月信前号にて御承知のとおり、1人当り500円の募金は、着々進行しており、12月22日現在17クラブからの募金額の総額は572,700円となっています。

東パキスタンへの送金方法については、前号月信に12月中旬までに取りまとめる旨記載しましたが、その後、ロータリー連絡委員会の柏原委員長からの御連絡により、地区毎に義捐金を取りまとめ、国際ロータリーを通じて、東パキスタンのロータリークラブへ送る方法によることとし、366地区としても、在日財務代行者へ一括して送金したいと存じますので、1月末日までにガバナー事務所までに御送金下さるようお願いいたします。

■地区拡大委員会開催

12月5日午後2時より、新大阪ホテルにおいて開かれ、ガバナー始め松島、井上、小野寺、

藤沢の各委員が参集した。(鏡山委員欠席)
当日は大阪空港を中心とする新クラブ結成を目標として、その地域に関連を持つ大原正蔵(豊中)、松野文治(池田)両君の参加を願い、話しが大いに進行した。近日中に両君を中心として更に関係有力者に呼びかけ、是非実現に努力する事を約した。

更に和歌山東南クラブも、その後結成の希望が大いに実りつつある。即ち11月27日、12月3日の2回にわたって、和歌山市3クラブの拡大委員会において、大体区域及びキーメン候補について、かなり具体的に話が進んでいる状況を報告された。なお、泉南市、藤井寺市、羽曳野市及び最近急に膨張した四条畷に、大いに拡大の希望が持てるので、更にこの方面の隣接RCに働きかけて実現を期そうとの松島委員長以下の活発な御意見に心強さを感じた。

■財団学友会懇談会に出席して

ロータリー財団週間にさいし、昭和45年11月21日(土)、18.00~20.00まで大阪YMCA第1会議室で学友会懇談会を開催した。

出席者は、塚本直前ガバナーを始め、奥村龍三(大阪)、奈良伝(大阪)、浜光治(和歌山)の各ロータリアンと、大阪周辺在住の学友、鞍智匡章(松下産業)、清水光(シャープ)、川島良一(住友銀行)、御宮知樹(コンピューター)、里中忠彦(住友化学)、佐山和夫(和歌山県田辺高校)、新喜久子(美術関係)の7名で、欠席者は、山本武雄、古谷庄太郎、今田純子の3名であった。

懇談会は、奈良伝君の司会ではじまり、研究グループの交換は、如何に国際親善と理解を深めたか、について大いに語り合った。外国ではよく日本について質問を受けるから、日本の実情をよく把握して自信をもって答えること、また行く先々の外国の地理や風俗習慣なども勉強

して、積極的に交際することを強調され、国内の学友会は、委員を選任し自由に集合する機会をつくることなど、申し合わせた。また他国の研究グループから日本の学友に友情と感謝の書簡が来ていることも報告された。

(財団学友会委員 浜 光治)

■ガバナー被指名者宣言

ガバナー月信第6号(12月1日付)追信第9頁に、1972~73年度第366区ガバナー・ノミネー候補者として、大谷一雄君(大阪西)が地区指名委員会によって指名されたことをお知らせしもし他の候補者を推薦するクラブがある場合には、12月26日までにガバナーへクラブ決議案を御提出下さるよう付記いたしました。しかし指定期日までにいずれのクラブからも申出がないので、国際ロータリー細則第13条第5節へ項に基き、大谷一雄君を第366区1972~73年度ガバナー被指名者たるべきことを宣言いたします。

◎第366地区年次大会近づく

昭和46年3月5日、6日
和歌山市県民文化会館において

すでに御承知のとおり、1970~71年度国際ロータリー第366地区年次大会が、以上のとおり開催されることに成り、井関ガバナーの統率の下に、ホストクラブ海南RCを中心に、コーホストクラブの和歌山、和歌山東、和歌山南、有田、御坊の各RCの全面的協力を得、和歌山県下の各クラブ、大阪府下の各クラブの友情に満ちた支援を受けて、目下準備に忙殺されております。本大会は、本年度から365区が分割され、366区が生れた最初の年次大会でありますので大そう意義深いものであり、それだけに是非成功裏に終らせたいと、念願いたしております。ホストクラブとしては、出席会員家族1,300名

以上を目標として諸準備を進めております。是非とも会員家族多数の御出席をお願い申し上げます次第です。

年次大会には、特に御家族や御夫人の御出席を歓迎いたします。御主人と共にロータリーを学び、家族と共にロータリーを实践する又とない機会であります。

和歌山県は、近年先進県として産業経済の発展めざましく、また観光のメッカとして大きく脚光を浴びるに至りました。

皆さんの心からなる御支援を得て、「あらゆる面での断層を取り除こう」をテーマに、地方都市としての、ローカル色、郷土色ゆたかな大会に、盛り上げたいとお願いいたしております。

和歌山県は、木の国であると同時に、黒潮おどる海の国でもあります。山は緑に、空青く、海また碧く、山の幸、海の幸ゆたかに、人情またこまやかであります。

会員御家族皆さまの御来駕を心からお待ち申し上げます。

なお、大会プログラムの要点は、次のとおり。

3月4日(木) 9:30 親睦ゴルフ

3月5日(金) 9:00 大会第一日

13:00 部門別協議会

15:30 記念講演

講師 古畑種基博士

演題「日本人の祖先はどこから来たか」

17:15 余興

18:30 祝宴

3月6日(土) 9:00 大会第二日

11:55 郷土芸能

12:45 閉会

■大阪東淀RC認証状伝達式挙行

大阪淀川RCをスポンサークラブとして誕生した大阪東淀RCでは、8月10日付RI加盟を

認証されましたが、11月19日午後2時から大阪東洋ホテルにおいて、認証状伝達式を挙行されました。

当日井関ガバナー、絹川365区ガバナー、塚本直前ガバナー、直木太一郎、秦孝次郎、森寿五郎、空地純一各バスターガバナー並びに尾形ガバナーノミニを迎え、参加クラブ49クラブ、参加者総数336名の出席のもとに、柴田喜三郎特別代表の進行指揮よろしく、また特別参加の東京西クラブの藤山一郎君の歌唱指導も加わり厳肅かつ盛大に式典を終了し、引つづき大阪RC栗本順三君の記念講演「大阪の街づくり」を拝聴、最後の披露パーティーでは、藤山一郎君指導の懐しのメロディー及びロータリーソングを中心に、終始なごやかに、かつ盛況のうちに午後5時予定どおり全祝賀行事を終了しました。誠に御同慶に堪えません。同クラブの今後の発展をお祈りいたします。

■堺東南RC認証状伝達式

昭和45年5月14日発足、5月28日付RIから認証された堺東南ロータリークラブは、昭和45年11月26日、堺市民会館において、井関ガバナー、塚本直前ガバナーを始め、多数の来賓のほか、スポンサークラブ堺RC、ホームクラブを含めて400名余の来会者の参加のもと、極めて厳肅裏に認証状伝達式を取り行われました。

式典は、磯野徹特別代表の開会の言葉により始まり、同代表によるガバナー及び来賓の紹介につづき、井関ガバナーから認証状が伝達されました。ガバナーの告辞、新クラブ大塚会長のあいさつ、新クラブ会員の紹介の後、ロータリー財団寄付金及び社会福祉資金の贈呈、各来賓の祝辞につづいて、祝電の披露、記念品の贈呈をもって式典を終りました。本チャーター伝達式における特色は、RIならびにシカゴRCを

始め、海外15RCからこの日のために、お祝いのメッセージが送られて来ており、また多数のバナーが送られて来ていたことであります。

なお祝賀行事における末永講師の講演、及び茂山千作師ほかによる狂言「二人ばかり」も来会者に深い感銘を与えたようであります。

■和歌山ローターアクトクラブ

認証状伝達式

和歌山RCを提唱クラブに、和歌山東及び和歌山南の2クラブを協賛クラブとして、昭和45年2月24日発会式を挙行した和歌山ローターアクトクラブは、11月29日（日）午前11時から、和歌山市内県信ビル7階において、認証状伝達式を挙行した。来賓に井関ガバナー、365区絹川ガバナー、塚本直前ガバナー、366区ローターアクト委員長長古市実君を迎え、和歌山3クラブのロータリアン約40名出席のもとに、ローターアクトクラブ会員21名が出席して盛大に行われた。参列者総数74名である。なお地区ローターアクトクラブ代表として、有田ローターアクトクラブ会長金川光博君も出席して祝意を表された。

来賓祝辞として井関ガバナーは、“Bridge the Gaps”に適合した組織が和歌山に出来てうれしい、世代のギャップの橋かけ、相互の理解反省に邁進されたい、とあいさつ、次に絹川ガバナーは、国際ロータリーにつながる一員としての責任の重大さを認識し、国際人に成長してほしい、英語を勉強してもらいたい、とあいさつされた。記念撮影後、会食に移り、その間塚本直前ガバナーからの心暖まる激励や詩吟を拝聴、浴衣を着た若い会員の余興「紀州おどり」があって、華やかに閉幕した。誠におめでたいことであり、心から同クラブの発展を祈ってやまない。

◎大阪地区ローターアクトの会合

去る12月2日（水）午後7時から、大阪YMCAにおいて、大阪南ローターアクトが世話役となり、大阪中央ローターアクト、大阪北ローターアクトの会員を招いて、合同の会を持ち、ゲスト・スピーカーに、森下泰・仁丹株式会社社長（大阪北RC）を招き、ロータリークラブの社会的意義について講話をいただき、有意義な会でありました。約60名の若いローターアクトの会員と、山中文和、山本利一、世戸一夫等各君のロータリアンも出席しました。

◎研究グループ交換派遣生 Orientation

上記団員のオリエンテーションは、去る12月5日（土）午後2時から、ダスキン・スクールにおいて行われた。参加者は、西川団長ほか6名の団員、絹川ガバナー、塚本直前ガバナー、尾形、野崎両ガバナーノミニ、奥村、不破の両地区委員長、浦谷、広田の各委員の合計15名であった。次回は、1月18日に行われる予定である。

＜お知らせ＞

◎国際青少年交換について

世戸一夫委員長からの連絡によれば、649地区（イリノイ州）は、来年度6名の交換を希望しているので、特に和歌山のクラブで、希望者を集めたいとのことであります。事前に先方へ連絡を必要とするので、見込をお知らせ下さいとのことです。

◎公式訪問の日取（その4）

2月6日（土） 大阪心斎橋

2月12日（金） 攝津

なお、公式訪問の時間割その他については、ガバナー月信第1号、第2号を御参照下さい。

◎大阪心斎橋RC認証

11月10日、創立総会が開催され、新しく設立された大阪心斎橋クラブは、11月19日付、RIから認証されました。おめでとうございます。例会は、毎土曜日、大丸百貨店8階で行われます。

◎新ポール・ハリス・フェロー3君誕生

堺 RC 磯野 巖君
和歌山東RC 小笠原紀三九君
和歌山南RC 若月春雄君

ロータリー財団から、以上の3君に、ポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。メダルは、地区大会の席上、お渡しする予定です。

◎大阪柏原RCの新事務所

12月7日以降大阪柏原クラブのアドレス、電話番号は次のとおりですから、お知らせいたします。

大阪府柏原市国分本町1-5-1
(光洋精工株式会社 国分駅前連絡所内)
電話 0729-78-6173
郵便番号 582

なお、例会場は、従来どおりです。

◎「ロータリアン読本」購読のおすすめ

神戸クラブの直木太郎著「ロータリアン読本」は、神戸RCのロータリー日本渡来50周年記念出版であり、神戸クラブへ御注文下されば実費1部 250円で、わけて下さるとのことです。わずか38頁、知らず知らずの間にロータリーが身につくように、という目的で、急所が簡潔に書かれております。

御購読を切におすすめていたします。特に、新入会員には、必読の書であると思います。

◎雑誌週間 (Magazine Week)

1月24日～30日。各クラブが雑誌週間に参加するよう計画して下さい。クラブの雑誌委員会の仕事は、1年を通じて連続的のものでありますが、特に1911年1月のザ・ロータリアンの誕生日を祝うことによって、雑誌週間を主催し、かつ推進して下さい。

◎クラブ新役員の選挙

標準ロータリークラブ定款第4条第2節によれば、クラブの役員を選挙するための年次総会は、クラブ細則の定める所に従い、毎年3月31日もしくはそれ以前に開催されなければならない、となっております。しかも年次総会を3月第1例会日に開催するクラブが多いようですし1カ月以上前からいろいろの準備が必要であることに御留意下さい。

◎出席報告中の順位の訂正について

7月から10月までの出席報告中、同率のクラブが2以上あった場合の取扱に誤りがありましたので、以後次のような扱い方に改めて参りたいと思います。

同率のクラブが2以上あるときは、
会員数の多きを上位に、
また会員数も同じ場合は、
創立の古きを上位とする。

従って、例えば10月出席報告の1～4位は次のようになります。1位、堺南、2位、和泉、3位、橋本、4位、高槻。

◎本年の地区協議会の日取決定

本年の地区協議会は、6月12日(土)新大阪ホテルにおいて開催されることに決定しました。ガバナー、次期ガバナーを始め、各クラブの会長、幹事、4大奉仕部門担当理事、財団委員長、会報週報編集長は、出席義務者となりますので、御留意下さい。

■ロータリー財団へのクラブ寄付額

1970年11月30日現在によるロータリー財団の報告によれば、第366区の財団寄付額は累計金160,504ドルで計算基礎となる1969年12月末の会員数3,051人で割ると1人当たり520ドル余、すなわち500%平均となります。クラブ別のパーセンテージは次のとおりです。この中には本年度承認の新クラブ3（大阪東淀、攝津、大阪心斎橋）は含まず、52クラブを示します。

0%（1RC）堺東南

100%（1RC）大阪柏原

200%（6RC）門真、箕面、寝屋川、

大阪城南、大阪西北、大阪天満橋

300%（14RC）御坊、橋本、枚方、泉大津、

粉河、松原、大阪阪南、大阪西南、大

阪淀川、新宮、吹田、高石、富田林、

豊中南

400%（12RC）東大阪、枚岡、海南、貝塚、

岸和田、大阪南、大阪住吉、大阪西、

白浜、高槻、田辺、八尾

500%（9RC）有田、池田、和泉、泉佐野、

河内長野、守口、豊中、和歌山、和歌

山南

600%（1RC）大阪北

700%（3RC）茨木、太阪、和歌山東

800%（2RC）大東、堺南

1,000%（2RC）那智勝浦、大阪東

1,100%（1RC）堺

なお、11月のロータリー財団週間中に相当多額の追加寄付を各クラブで集められたと思いますが、送金が届くのにかかかってこの表にあらわれていないのがたくさんあることと思います。

■雑誌寄贈に対し韓国ガバナーより謝状

ガバナー月信第5号所載のクラブ組合わせ表に従って当地区クラブから、韓国376区の38クラブへ毎月「ロータリーの友」を7～10部ずつ寄贈してもらうことにしましたが、これについて第376地区黄竜雲ガバナーから次のようなあいさつ状が12月7日付で塚本直前ガバナーのところに届きました。

「ロータリーの友誌をお送り下さる計画は、すばらしいアイデアで、貴君へ感謝します。ロータリー情報を伝える日本語の刊行物で何かほかにあれば喜んでお受けしたい。韓国ロータリアンの大多数は日本語が読めますから。貴我両地区のクラブ間に密接な通信が交換されるのは、両国間の Bridge the Gaps を大きく進めることになり、これは日韓両国にとり、いまだいに必要とするところであります。」

上掲の手紙に接して、塚本直前ガバナーからとりあえず第357区編集の「職業奉仕委員長部会記録」（神守源一郎P.D.G.の講話解説）を40部黄竜雲ガバナーへ送りました。組み合わせの各クラブでも何か適当なものがあれば、自発的に相手クラブへお送り願います。

■韓国第376地区RCのアドレス

第376区総裁（ガバナー）黄竜雲氏の事務所にロータリーの友誌の寄贈先クラブのアドレスを照会していたところ、この程下記のとおり回答があったので、リストを掲載しますから、御利用下さい。今まで公式名簿記載の幹事あてに送っていただいておりますが、今後は、下記のあて先のロータリークラブ（The Rotary Club of...）として下さい。なお、当地区の組合せクラブは、かっこで示してあります。

1. Andong 安東 (有田)
The Rotary Club of Andong
121-2, Sinsaidong, Andong, Kyungsangpuk-do, Korea
2. Cheju 濟州 (大東)
76-4, Ildoil-dong, Cheju, Korea
3. Chinhae 鎮海 (御坊)
761-35, Yeoja-dong, Chinhae, Kyungsangnam-do, Korea
4. Chungmu 忠武 (大阪柏原)
c/o Hyundai Furniture, Hangnam-dong, Chungmu, Kyungsangnam-do, Korea
5. Euiryeong 宜寧 (寢屋川)
329, Jung-dong, Euiryeong-meon, Euiryeong-gun, Kyungsangnam-do, Korea
6. Geochang 居昌 (橋本)
236, Ha-dong, Geochang, Kyungsangnam-do, Korea
7. Hadong 河東 (枚方)
2nd Floor, Baikyangsa, Wonai-dong, Hadong, Kyungsangnam-do, Korea
8. Hamyang 咸陽 (枚岡)
Daihan Ilbo Press Office, Hamyang, Kyungsangnam-do, Korea
9. Hapchun 陝川 (大阪阪南)
Woojin Industrial Co. Ltd., Hapchun, Kyungsangnam-do, Korea
10. Jinju 晉州 (池田)
c/o Dr. Chung's Surgical Clinic, Pyungan-dong, Jinju, Kyungsangnam-do, Korea
11. Jinyang 晉陽 (泉大津)
153, Somun-ri, Munsan-meon, Jinyang-gun, Kyungsangnam-do, Korea
12. Kimchon 金泉 (泉佐野)
c/o Munwha Center, Namsan-dong, Kimchon, Kyungsangpuk-do, Korea
13. Kimhae 金海 (堺東南)
306-1, Dongsang-dong, Kimhae, Kyungsangnam-do, Korea
14. Kyungju 慶州 (河内長野)
341-1, Whangodong, Kyungju, Kyungsangpuk-do, Korea
15. Masan 馬山 (岸和田)
51, Susung-dong, Masan, Kyungsangnam-do, Korea
16. Milyang 密陽 (粉河)
178, Samun-dong, Milyang, Kyungsangnam-do, Korea
17. Namhae 南海 (大阪東淀)
c/o Choi Sang Uk, Namhae-meon, Namhae-gun, Kyungsangnam-do, Korea
18. Oesung 義城 (松原)
227, Dosu-dong, Oesung, Kyungsangpuk-do, Korea
19. Pohang 浦項 (大阪住吉)
93-1, Duksu-dong, Pohang, Kyungsangpuk-do, Korea

20. Pusan 釜山 (大阪)
38, 2ga, Daekyo-dong, Pusan, Korea
21. Pusan Central 中釜山 (大阪天満橋)
1146-10, Choryang-dong, Pusan, Korea
22. Pusan East 東釜山 (大阪東)
c/o Dongnae Tourist Hotel, Dongnae-gu, Pusan, Korea
23. Pusan North 北釜山 (大阪西南)
c/o Sunglim Bldg., Bujun-dong, Pusan, Korea
24. Pusan South 南釜山 (和歌山)
38, 2ga, Daekyo-dong, Pusan, Korea
25. Pusan West 西釜山 (大阪西)
38, 2ga, Daekyo-dong, Pusan, Korea
26. Samchunpo 三千浦 (新宮)
58-47, Sungu-dong, Samchunpo, Kyungsangnamdo, Korea
27. Sancheong 山淸 (高石)
281, Saek-dong Sanchung-meon, Sanchung, Kyungsangnam-do, Korea
28. Sangju 尚州 (高機)
c/o Hosana Clinic, Sangju, Kyungsangpuk-do, Korea
29. Sunsan 善山 (大阪西北)
422, Dongbu-dong, Sunsan, Kyungsangpuk-do, Korea
30. Taegu 大邱 (大阪南)
c/o Taegu Reconstruction Bank, Taegu, Korea
31. Taegu East 東大邱 (和歌山東)
c/o Taegu Department Store, Dongsung-ro, Taegu, Korea
32. Taegu South 南大邱 (和歌山南)
145-1, 2ga, Dongsung-ro, Taegu, Korea
33. Ulsan 蔚山 (田辺)
128-6, Okyo-dong, Ulsan, Kyungsangnam-do, Korea
34. Waegwon 倭館 (大阪城南)
230, Waegwon-dong, Waegwon, Kyungsangpuk-do, Korea
35. Yangsan 梁山 (豊中南)
c/o Dong Man Kim, Pukbu-dong, Yangsan-meon, Yangsan, Kyungsangnam-do, Korea
36. Yechon 醴泉 (大阪北)
74, Roha-dong, Yechon, Kyungsangpuk-do, Korea
37. Youngchon 永川 (箕面)
c/o Mok In Sohn, Office of Monopoly, Youngchon, Kyungsangpuk-do, Korea
38. Youngju 榮州 (豊中)
c/o Chamber of Commerce and Industry, Youngju, Kyungsangpuk-do, Korea

11月出席報告

(Attendance Report for November)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	橋 本	4	57	+2	100.00	3	29	大 阪 西	4	93	+2	95.38	31
2	高 槻	4	54	+2	100.00	4	30	大 阪 南	3	155	+7	95.21	27
3	大阪淀川	4	68	-2	99.63	6	31	海 南	4	57	+3	95.09	40
4	和 泉	4	59	+1	99.13	2	32	松 原	3	47	-1	95.03	15
5	新 宮	4	51	-3	99.08	10	33	貝 塚	3	54	+8	94.97	34
6	和歌山東	4	77	+6	98.97	11	34	大 東	3	33	-1	94.95	26
7	茨 木	4	52	+1	98.94	14	35	八 尾	4	51	+1	94.90	44
8	大阪西南	4	61	+9	98.36	8	36	有 田	4	49	-1	94.90	24
9	河内長野	4	57	+1	98.25	12	37	岸 和 田	4	58	-1	94.83	7
10	堺	4	114	+3	97.98	23	38	大阪天満橋	4	57	+7	94.74	41
11	泉 大 津	4	71	—	97.83	17	39	大阪東淀	5	28	+28	94.01	29
12	大阪城南	4	44	+5	97.69	52	40	池 田	4	51	+2	93.57	51
13	箕 面	4	30	+2	97.50	5	41	枚 方	3	51	+2	93.47	43
14	和歌山南	4	58	+3	97.42	32	42	豊 中	3	53	—	93.08	21
15	大阪阪南	3	51	+5	97.36	13	43	門 真	4	25	—	93.00	46
16	堺 南	4	66	+1	97.31	1	44	白 浜	4	41	+5	92.73	38
17	吹 田	4	60	+1	97.03	20	45	御 坊	4	62	+2	92.72	45
18	高 石	3	44	+2	96.97	16	46	大 阪 北	4	163	+6	92.58	37
19	東 大 阪	4	59	+4	96.93	25	47	大 阪 東	4	88	+1	92.56	22
20	和 歌 山	3	97	+4	96.74	18	48	寝 屋 川	4	25	+1	92.00	47
21	富 田 林	4	53	—	96.63	19	49	守 口	4	52	+1	90.86	49
22	大阪住吉	4	74	+2	96.59	28	50	大阪柏原	4	23	+2	90.22	48
23	泉 佐 野	4	56	—	96.47	30	51	大 阪	4	292	-6	88.93	50
24	大阪西北	3	48	+10	96.36	42	52	豊 中 南	4	28	—	88.39	33
25	田 辺	4	67	+2	96.32	36	53	攝 津	4	22	+22	86.30	
26	粉 河	4	27	-1	96.30	35	54	堺 東 南	4	36	+5	85.48	53
27	枚 岡	4	40	-2	96.25	39	合 計						207 3,323 +152 5,144.15
28	那智勝浦	4	34	-1	96.21	9	平均出席率						95.26%

12月出席報告

(Attendance Report for December)

順位	クラブ名	例会 数	会員 数	初期と の増減	出席率	前月 順	順位	クラブ名	例会 数	会員 数	初期と の増減	出席率	前月 順
1	大阪淀川	4	68	-2	100.00	3	30	和歌山南	4	60	+5	95.00	14
2	和 泉	5	61	+3	100.00	4	31	和 歌 山	5	96	+3	94.94	20
3	橋 本	5	57	+2	100.00	1	32	大阪城南	4	44	+5	94.89	12
4	高 槻	5	54	+2	100.00	2	33	吹 田	5	60	+1	94.62	17
5	大 東	5	35	+1	99.39	34	34	豊 中	5	52	-1	94.62	42
6	御 坊	4	62	+2	99.18	45	35	大 阪 東	5	87	—	94.52	47
7	茨 木	5	51	—	99.13	7	36	大 阪 西	4	93	+2	93.75	29
8	堺 南	4	67	+2	98.88	16	37	大阪東淀	4	27	+27	93.59	39
9	和歌山東	5	77	+6	98.40	6	38	枚 方	5	53	+4	93.58	41
10	河内長野	4	57	+1	98.25	9	39	枚 岡	5	40	-2	93.50	27
11	大阪西南	5	64	+12	98.13	8	40	池 田	4	51	+2	93.14	40
12	箕 面	5	30	+2	98.00	13	41	寝 屋 川	4	25	+1	93.00	48
13	泉 大 津	4	71	—	97.46	11	42	門 真	5	25	—	92.80	43
14	松 原	5	47	-1	97.44	32	43	粉 河	5	27	-1	92.59	26
15	新 宮	5	51	-3	97.27	5	44	守 口	5	51	—	92.55	49
16	高 石	5	43	+1	97.21	18	45	富 田 林	5	55	+2	92.47	21
17	大阪西北	5	49	+11	97.13	24	46	貝 塚	5	54	+8	92.22	33
18	那智勝浦	4	34	-1	96.97	28	47	海 南	5	56	+2	92.00	31
19	大阪阪南	5	50	+4	96.82	15	48	大阪心斎橋	4	28	+28	91.97	—
20	有 田	5	49	-1	96.74	36	49	大 阪 北	5	161	+4	91.11	46
21	泉 佐 野	5	57	+1	96.13	23	50	大 阪	4	291	-7	90.99	51
22	田 辺	5	67	+2	96.12	25	51	白 浜	4	41	+5	90.24	44
23	大阪住吉	4	74	+2	95.61	22	52	堺 東 南	5	35	+4	87.43	54
24	大阪柏原	4	24	+3	95.55	50	53	攝 津	4	22	+22	86.36	53
25	堺	5	114	+3	95.50	10	54	豊 中 南	5	28	—	84.46	52
26	大阪天満橋	4	55	+5	95.46	38	55	東 大 阪	4	58	+3	78.13	19
27	大 阪 南	5	154	+6	95.41	30	合 計 254 3,353 +182 5,211.02						
28	八 尾	5	52	+2	95.20	35	平均出席率 94.75%						
29	岸 和 田	5	59	—	95.17	37							

■ロータリー国際ゴルフ交友会

第8回大会予告

International Golfing Fellowship of Rotary の第8回世界選手権大会が、本年5月10日から14日まで、オーストラリアのメルボルンにある Royal Melbourne Golf Club において、72ホール、ストロークプレーで行われるとのことです。各地区から2人の参加を希望する旨、通知がありました。（3月15日メ切）

◎東パキスタン災害見舞金の集計

366区として、1月末日までにガバナー事務所へ御送金をお願いしておりましたが、1月25日現在、募金総額 1,334,000円、募金されたクラブ数は、36クラブとなっております。御協力ありがとうございました。

なお、送金未済のクラブは、できるだけ早くおそく2月15日までにガバナー事務所（会計幹事、山中静口座）へ御送金をお願いいたします。

◎各クラブへロータリー資料送付の

お願い

昨年11月1日から、日本ロータリー連絡委員会に、ロータリー資料室が設けられ、主要なロータリー文献を蒐集することになりましたので各クラブは、次の資料を資料室あて御送付下さるようお願いいたします。

1. ガバナー公式訪問への報告書
2. クラブ年史
3. 月報、四季報（週報は不要）

以上、1970～71年度のものから御送付下さい。資料室の宛先は、(〒100) 東京都千代田区有楽町1-15有楽町ビル10階1017号室日本ロータリー連絡委員会資料室係です。

■韓国学校へ日本図書を寄贈

韓国第375地区よりの要請にもとづいて、同地区内の仁徳実業高等学校（ソウル市）あてに日本の図書363冊を寄贈するため6月末積出の手続きを進めていましたが、輸出許可に手間どりようやく12月8日大阪港より出帆の韓国船東洋丸に積込み12日仁川港着、目下通関手続中、数日中には上記学校へ届くことになったと同地区呉善煥前ガバナーより12月17日付塚本直前ガバナーへ感謝の知らせがありました。

◎宮本章君（堺南RC）の「失望の旅」

当地区インターアクト委員長の宮本章君（堺南RC、堺市立工業高校長）が「失望の旅」と題して270ページの欧米教育視察記を新刊されました。鋭く且つ細かい観察に敬服するとともに「失望」と書かれても教えられるところが多いので紹介します。頒価 600円、宮本章出版刊行会発行（大阪市北区岩井町2-49古林ビル分室内、☎351-2880）

（塚本バスト・ガバナー）

◎インドネシアにロータリー復活す

インドネシアにロータリーが10年ぶりに復活し、昨年12月7日、ジャカルタRCの加盟認証状をウォークR I 会長がみずから現地において交付しました。

インドネシアのロータリーは1961年3月27日スカルノ大統領の命令で解散せしめられたのです。当時のクラブ数17、会員数 539人でした。スカルノの没落後、当地区の岡島美行ガバナーらにより復活を企図したが、時期尚早で成功せず、昨年東ヶ崎R I 元会長の骨折りでようやく実現しました。新ジャカルタRCは会員約40人これで世界におけるロータリーは 149カ国になりました。

代金前納 1部 2,000円

代金は、5月末日までに(クラブ送金日)前金で予約して下さい。但し、1月以降創立の新クラブについては、創立以後6カ月間を前金取扱期間とします。

送金方法

各クラブは、地区資金口座(垂井清之助)あたりに、所定の期日までに送金して下さい。

■ロータリー創立記念日

2月23日は、ロータリーが創立されてから66周年の記念日にあたります。

各クラブは、適切な企画にもとづき、意義ある記念日として下さるよう、御配慮願います。新聞、放送などへの情報提供もお忘れなように。

■クラブ理事、役員の選挙について

前号月信にて御注意申し上げましたが、3月中にクラブの新理事、役員を選挙することになっておりますので、御留意下さい。なお、RI理事会は、クラブ会長になるべき者は少なくとも一年以上前から選定されるような手続をとることをクラブが配慮するよう勧奨しております。

◎幹事さんへお願い

国際ロータリー会員増強委員会、神野太郎委員長から、各クラブの会員増減の調査を行う任務があり、毎月各地区ガバナーからの報告を集計してRIへ報告することになっているので協力を要請されております。つきましては、各クラブの会員減少の場合の減少理由を、ガバナーに送付する退会届に、明確に御書き下さるようお願いいたします。なお入退会変更届は、そのつどガバナー事務所へ提出していただくことになっておりますが、遅れ勝ちのため支障があり

ますので、なるべく早く御提出下さるよう、あわせてお願いいたします。

■インターアクトクラブ協議会報告

去る12月16日午後2時より、新大阪ホテルにおいて、第365・366区インターアクトクラブ協議会が行われた。塚本直前ガバナー、井関ガバナー、尾形ガバナーノミニエ、小池第365区インターアクト諮問委員長、京都西RC三浦氏、(なお宮本第366区インターアクト諮問委員長は当日急病のため欠席)、京都市立西京商業高校、堺市立工業高校、樫原学院高校、奈良市立一条高校、大阪市立東高校の各インターアクトクラブ顧問及び生徒、計33名が一堂に会した。

席上、今年のインターアクトクラブ活動の反省として、韓国親善旅行、万国博奉仕活動、樫原学院高校での地区大会及び各クラブ独自の活動報告がなされ、活発に討議された。さらに、来年の計画として、台湾親善旅行が論議されたが、時期はおくれてもよいから、できるだけ無理のない方法で実現してほしいという要望が出された。また顧問と諮問委員との話し合いを、1月に開催し、(1)年間計画の作成 (2)インターアクトクラブの今後の行き方、顧問のあり方 (3)ローターアクトクラブの育成などについて、話し合うことが決議され、最後に韓国訪問のときの8ミリを興味深く観賞して、盛会のうちに散会した。(川端博夫)

◎会員拡大・職業分類委員会報告訂正

前号月信記載の上記報告中、次のとおり訂正いたします。

年間増加442の増加とあるのは、572(12.15%)と、内部拡大249の純増とあるのは、379(8.05%)と、それぞれ訂正いたします。

■年次大会への出席勧奨

来る3月5日、6日、和歌山市にある県民文化会館において開催される第366区地区大会に、各ロータリークラブ会員ならびに御家族の皆さまの御出席を期待しておりますが、特に前年度京都における大会以後新設された各ロータリークラブにおかれては、全会員の御出席をお願い申し上げます。すなわち、堺東南、大阪柏原、大阪東淀、攝津、大阪心斎橋の各クラブは、全会員こぞって出席されるよう、おすすめいたします。

■地区大会委員

●プログラム委員会

委員長 田村 欽吾 (海 南)
委 員 垂井芳太郎 (和 歌 山)
高木 閑堂 (和歌山東)
保井 幸夫 (和歌山南)
平松 龍雄 (有 田)
小竹 俊造 (御 坊)

●信認状審査委員会

委員長 松島 清重 (大 阪)
委 員 菱川 和夫 (和 歌 山)
坂本龍太郎 (池 田)
指宿 孝博 (河内長野)
坂口 友雄 (貝 塚)

●選挙委員会

委員長 福本 栄一 (岸 和 田)
委 員 本多 喜慶 (守 口)
芦田 泰三 (大 阪 北)
播野林太郎 (堺 市)
栗栖 一郎 (新 宮)

●決議委員会

委員長 若月 春雄 (和歌山南)
委 員 福原 耕一 (枚 方)
今井 秀雄 (泉 大 津)

藤木 厚 (豊 中)

玉置良之助 (大 阪 南)

■日本ロータリー連絡委員会報告

1月10日(日)、東京ステーションホテルで開催された上記委員会の報告及び協議事項のうち、主な事項は次のとおりです。

1. 本年5月1日～8日、レークプラシッドにおける国際協議会の日本グループ討議リーダーとして、平沢興君が委嘱されました。
2. 湯浅恭三君(東京RC)は、本年7月1日からRI理事に就任することがきまりました。対立候補はありません。
3. 森寿五郎万国博ロータリー組織委員長から、4年間にわたる準備の後開催された万国博例会の大成功は、全日本ロータリアンの援助の賜物であると謝辞が述べられ、15分間にわたり詳細に報告、「日本万国博会場内で世界理解と友情の交換—ロータリー例会開催の報告—最終編」という冊子を出席者に配付されました。
4. 伊藤辰治パストガバナーから、1969～70年度の日本における新クラブ74、本年度12月末までの新クラブ26、仮クラブ7、拡大調査済及び調査中のもの39、との報告がありました。

■「ロータリー日本50年史」予約注文について協力しましょう

注文部数 注文はクラブ単位で。

部数は、全会員用と、増加見込分ならびに寄贈用をあわせて、少くとも1クラブ宛、会員数の1割増の部数を注文するよう会長ならびに幹事において特に御配慮して下さいようお願いいたします。追加印刷は不可能ですから全員の御購読をおすすめいたします。

■国際奉仕計画への登録

R I の第 706 号パンフレット (Projects in International Service) に、各クラブが登録されることをおすすめします。その内容は、青少年交換、通信交換、例会プログラムの交換、世界社会奉仕、アマチュア無線による連絡など国際奉仕を実行する上に重宝な手がかりを与えてくれます。登録のしめ切りは 4 月 15 日までに航空便で、登録用のハガキをエバンストンへ送って下さい。申込のさいには、クラブ理事会の承認を受け、かつ次年度の役員へ引ついでおくことが必要です。

■財団奨学金 3 口となる

昨年末 12 月 29 日付ロータリー財団管理委員会エバンズ委員長よりの来信によれば、69～70 年度中に会員 1 人当り、平均して米貨 6 ドル以上の寄付をした地区に対して、更にもう一口の財団奨学金を授与することに決定されたということです。

昨年 7 月 1 日付をもって発足した当 366 区についても、塚本直前ガバナーより財団への連絡により、昨年度の業績を考慮した結果として、合計 3 口の 1972～73 年度奨学金を受ける資格を与えられたのであります。

従って、各クラブにおかれては、奨学生応募の受付のメ切である 3 月 15 日までに、3 名の立派な資格を有する候補者を選出されるよう御配慮願いたいのであります。

なお、御参考までに申しますと、合計 2 口を承認された地区は、71 地区にのぼりますが、当地区のように合計 3 口を承認された地区は、1 人当り 6 ドル以上を寄付した地区であり、これは当地区を含む数地区のみとのことであり、1 人当り 12 ドルを寄付した当 366 地区に与えられた特権であります。

この機会にあらためて地区内各クラブの御努力と御支援にたいし、深甚の感謝を表する次第であります。

■会員増強月間 (January) の実績は？

ビル・ウォーク会長からの会員増強についての要請は、会員増強委員会の各メンバーは申すまでもなく、各クラブの会長へ強調されましたが、(ガバナー月信第 6 号参照) この 1 月中の実績 (新入会員の氏名、職業分類) を、なるべく速かにガバナー事務所まで報告して下さい。当方では、これを取りまとめて、R I へ報告するため是非必要ですから、実績ゼロのクラブもその旨御報告して下さい。

■拡大委員会報告

仮称和歌山東南 R C は、かねて和歌山市内 3 クラブにおいて、それぞれ拡大委員を出し、共同で拡大委員会を作り、たびたび会議を重ねた結果、漸く区域限界及びキーメン候補が選ばれるに至った。

12 月末、和歌山南 R C をホストクラブとし、同クラブ若月春雄君にガバナー特別代表が委嘱され、1 月 11 日、第 1 回結成準備委員会を開き着々具体的に進行中である。

仮称大阪空港 R C も、12 月末にガバナー特別代表に、豊中 R C の大原正蔵君と、池田 R C の松野文治君の両君が委嘱され、具体的に結成が進行中である。

以上両クラブとも、地区大会に間に合うように結成されることが望ましい。

なお又、泉佐野 R C においては、仮称泉南 R C 結成のため、研究委員会が作られ、拡大への明るい希望が持たれている。



ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 366 : GOVERNOR'S

Monthly Letter

第366区 リバナー

井関久楠

区内各会長及び幹事殿あて

月 信 (写)

GOVERNOR: HISAGUSU ISEKI

OFFICE: 和歌山市西汀丁 内田ビル3階

Uchita Bldg., Nishi-Migiwacho, Wakayama-shi

ADDRESS: P.O. BOX 5, WAKAYAMA

和歌山局 私書箱5号 640-91

TELEPHONE: 0734-22-0847

CABLE ADDRESS: INTEROTARY WAKAYAMA

第8号 (昭和46年2月1日 発行)

Vol. 8 February 1, 1971

世界社会奉仕について

■世界社会奉仕の日 (World Community Service Day) の設定

—— 3月28日から4月3日まで ——

R I会長は、新たに「世界社会奉仕の日」を設定し、各クラブは、3月28日から4月3までの間のそれぞれの例会日をその日にあて、全プログラムを世界社会奉仕に関するプログラムとし、本奉仕について会員こぞって検討の上、本年度の奉仕計画を決定するよう要請されております。

その目的は、世界社会奉仕を通じて、先進国のロータリークラブが、開発途上国の他のロータリークラブと共同して、生活水準を向上させ国際理解を増進させるプロジェクトを遂行しようとするににあります。

諸国民の間の "Bridge the Gaps" のため、今年は国際関係を改善する手段としての世界社

会奉仕を強調する必要がある、とビル会長はしております。「世界社会奉仕の日」は、各ロータリークラブの国際奉仕の努力をスタートさせる日に該当するのであります。

当日のプログラムとしての、特別のクラブフォーラム、会長スピーチ、援助を与える側のクラブはどうすべきか、については、R Iニュースに同封されたリーフレットその他を、会長及び国際奉仕担当理事においてよく検討され、実行に移されるよう希望いたします。

■1人当り500円の募金のお願い

前号月信第3頁に記載しましたが、366区のWCS活動として、地区会員1人当り500円、概算165万円を3の使途 (ナイジェリア、韓国、沖縄) にあてることについて、各クラブ過半数の御賛同を得たものとし、きょう出をお願いいたします。各クラブは、地区資金委員、垂井清之助口座あてに送って下さい。



ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 366 : GOVERNOR'S

Monthly Letter

第366区 ギバナー

井関久楠

区内各会長及び幹事殿あて

月 信 (写)

GOVERNOR: HISAGUSU ISEKI

OFFICE: 和歌山市西汀丁 内田ビル 3階

Uchita Bldg., Nishi-Migiwacho, Wakayama-shi

ADDRESS: P.O. BOX 5, WAKAYAMA

和歌山局 私書箱5号 640-91

TELEPHONE: 0734-22-0847

CABLE ADDRESS: INTEROTARY WAKAYAMA

第 9 号 (昭和46年 3 月 1 日 発行)

No. 9 March 1, 1971

《本月の行事その他》

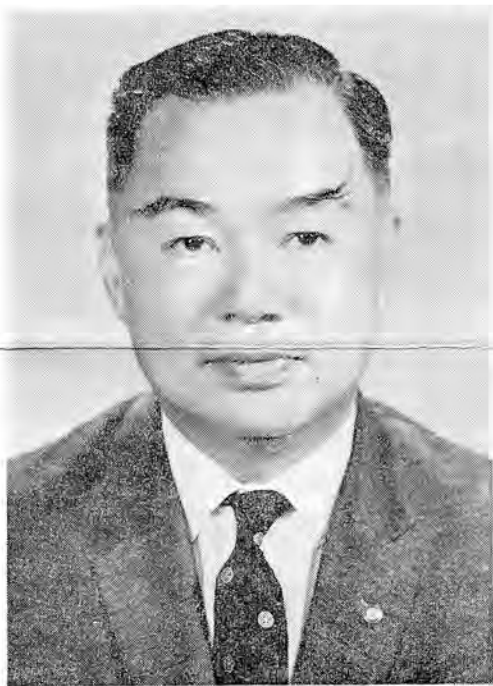
◎ 3 月 5 日～6 日、366地区年次大会

和歌山市、県民文化会館において開催されます。一同ふるって御出席下さい。

この大会には、R. I. 会長からの来信によれば、Dr. Tay Teck Eng が Whay Yee 夫人と共に R. I. 会長代理として出席されることに決定しました。

Dr. Tay Teck Eng は、シンガポールにおいて、歯科医院を開業されております。氏は中国に生れ、シンガポールの大学を卒業され、学位を有しておられます。1954年以降ロータリアンとなり、現在はシンガポール西RCの会員で、元会長及び1967～68年度 330地区ガバナーをつとめられました。

氏は現在、シンガポールYMCAの副会長をされており、がん協会、ボーイスカウト、マレーシア歯科医委員会にも所属され、またマラヤ大学、シンガポール大学の理事長、ボーイスカ



Dr. Tay Teck Eng

ウト地区会長、マラヤ歯科医師会々長、校友会々長、身障者救済会々長、シンガポールがん協会副会長等の仕事をされたことがあります。

◎クラブ役員の選挙

このことについては、たびたび月信にてお知らせしております。

この役員選挙の結果にもとずき、1971～72年度公式名簿に đăng載すべき必要事項の原稿を作成して、R I に送って下さい。4月30日のメ切期限におくれないようにお願いします。若しあなたのクラブに、公式名簿資料報告用紙が届いていなければ、直ちにロータリー東京文献事務所に請求して下さい。

◎ロータリー財団奨学生推薦のしめ切

1972～73年度財団奨学生候補者の推薦は申請者の関係RCの幹事へは3月15日まで、ガバナー事務所へは4月1日まで到着するよう御留意下さい。本年は、当地区から3名選出できますから念のため。

世界社会奉仕日（3月28日～4月3日）

前号月信で申し上げましたが、何を目標として“World Community Service Day”が設定されたか、について重ねて申し上げて見ましょう。

世界社会奉仕の日に、各ロータリークラブは、特別の Club Forum かその他の適当なプログラムを、各例会日に実行して下さい。全世界のロータリアンが、この日に世界社会奉仕に献身する方法について、スピーチを聞き、論議するのです。

世界社会奉仕によって、先進国のロータリークラブは、開発途上国の他のロータリークラブと共同して、生活水準を向上させ、国際理解を増進させるのに役立つプロジェクトを遂行する

ことができます。

何故かならば、諸国民の間の隔りを除くために、国際関係を改善する手段として、本年は世界社会奉仕に重点を置かざるを得ないと、R I 会長はいています。

世界社会奉仕日の行事に参加する具体的方法として、援助を与える側のクラブは、どうすればよいか。

(1) 直ちに世界社会奉仕計画資料調整室 (World Community Service Projects Library—エバンストン R I 事務局) に手紙を出して、世界社会奉仕情報要請書式 (Information Request Form) を請求して下さい。(ロータリー東京文献事務所でも、通常の書式で請求すれば無料で入手できるかも知れません)

(2) この情報要請書式に必要事項を記入し、エバンストンに送付すれば、海外のロータリークラブが援助を要求している2のプロジェクトについての詳細な資料を入手できます。

(3) 上記の2のうち、1を選択しクラブに提示して承認を求め、世界社会奉仕日の例会でディスカスするのです。もち論、あなたのクラブがそのどちらかの計画を受諾するという義務は何もありません。

(4) 例会では、先ず世界社会奉仕についてのスピーチを行い、計画の説明をなし、クラブがそれを実行するための決議を求めるという順序になります。

◎世界社会奉仕 Projects Libraryについて

昨年11月13日現在、世界中のロータリアンから、W. C. S. Projects Library (世界社会奉仕計画資料調整室) に提起されたプロジェクトの数は、409となりました。これらのうち49のプロジェクトは完了しました。ライブラリーに提示された最初のプロジェクトは、すでに完了

ずみですが、1967年11月22日にフィリピンの385区コタバトRCから提示されたもので、郵便局の電気通信システムの建設に要する資金援助でありました。

◎世界社会奉仕の日の事業について

斉木パストガバナーのWCSニュース第5号に掲載された記事を御紹介いたします。

RIからこんな手紙が来ました。「世界社会奉仕の日をLady's Dayとして夫人達を招待して主旨徹底をはかり、また報道機関を招待して今実行していること、また実行せんとする計画を発表してほしい。被援助国では小学生等の作品を援助クラブへ送って陳列するような手配をしてくれ」と。

そこで、折角の初めての世界社会奉仕の日ですから、各クラブでこれにふさわしい行事を行ってもらおうよう、御尽力願いたいと思います。360区がやったアンケート、即ち、ライブラリーを通して何か奉仕を行っているか、その他の計画があるか、資金限度如何などについての意見を各クラブから調査をしましたが、そのような調査をしてその結果をお知らせ願えるとありがたいです。

また、例会日には是非、世界社会奉仕に関する卓話又は関係ある映画の映写とかを実行するよう貴地区クラブへ要請願いたく、また一般公開講演会の開催や、地区毎の委員長会議なども考えていただきたいものです。

参考映画としては、日本キリスト教海外医療協力会（東京都新宿区小川町3-1、奈良常五郎氏）、日本青年海外協力会（東京都渋谷区広尾町4-2-24小野正美氏）あて通信いただければ適当なフィルムを貸与されます。

■各RCの特別理事会開催のすすめ

RI理事会は、各ロータリークラブの理事会

が、年に少くとも4回、特別計画会議を開催して、次の事項を審議するよう勧奨しております。

(1) ロータリークラブのプログラムや方針をReviewし、それらがどの限度まで効果的に実行されているのか

(2) ロータリー綱領の推進のため、何か特別な手段方法を考えること

(3) 現代における時勢の動向に関心を持ち、ロータリークラブが果しつつある機能を評価すること。

各RCの理事会は、クラブの通常活動にたいし、クラブの最高運営機関としての機能を果たすばかりでなく、年4回、特別理事会を開いて、重要問題の探究、たとえば地域社会や海外のニードに対し“Bridge the Gaps”の実行を助ける方策をクラブはとっているか、クラブの将来に重要な影響を与える新しい傾向や発展が地域社会の中に起っていないかどうか、を審議することが望まれるのです。

各クラブは以上の特別理事会の構想を樹て、直ちに実行に移されるよう希望いたします。

■1972～73年度RI会長に

Roy D. Hickman指名さる

RI会長指名委員会は、1月7日、全会一致をもって米国アラバマ州バーミングハムRC会員、ロイ・D. ヒッ



クマンを72〜73年R I 会長に指名しました。

氏は、1935年以降バーミンガムRC会員となり、R I 第三副会長、理事、地区ガバナー等をつとめられました。氏は米国テネシー州チャタヌーガ生れ、ニューメキシコ大学を卒業され、アラバマ写真印刷会社の会長をされております。

◎新クラブ拡大の報告

(1) 仮称和歌山東南クラブは、10数回準備委員会開催の結果着々と進行、遂にその成果を見、去る2月20日(土)創立総会の運びとなりました。スポンサークラブ和歌山南RC役員諸君並びに和歌山、和歌山東、両RCの御協力に對しお礼を申し上げます。

(2) 月信第8号報告の仮称大阪空港RCは、その後豊中RCが単独でスポンサー、クラブとなり、名称も仮称豊中西北クラブと変更、大原正蔵君が特別代表として引続きお世話願う事となりました。従って池田RCの御諒解を願い、松野文治君の特別代表は解消させていただきました。今日までの種々の御配慮を厚くお礼申し上げます。

◎新ポール・ハリス・フェロー4君誕生

和歌山南RC	長谷 林平君
〃	平野 林平君
〃	紀 俊嗣君
大阪天満橋RC	仁田順三郎君

ロータリー財団事務局A. Douglas Smithより上記4君にポールハリス・フェローの称号が贈られたとの通知がありました。メダル及びバッジは、地区大会の席上、お渡し致します。ロータリー財団に対する御理解に満ちる謝意を表します。

◎大阪淀川RC創立10周年記念祝賀会

1月13日(水)新阪急ホテルにおいて厳肅且つ和やかに会が進められた。同クラブは10年前の1月14日スポンサークラブ大阪の特別代表松島清重君によって、チャーター、メンバー24名で創立されたが、現在その地域西淀川及び東淀川区の発展と共に、クラブもまた堅実な発展を続け、会員71名の中堅クラブとして充実した活躍をしておられる。

当日、R I ビル・ウォーク会長よりのメッセージの披露あり、ガバナー及び松島特別代表、シスター、クラブ台湾高雄RC会長陳阿喜君の祝辞、これに続き更に記念事業として地域消防署の防毒マスクの贈呈式等が行われ、終って宝塚歌劇団生徒の清楚な合唱余興あり、祝宴の後盛會裏に解散した。出席者約350名。

■台湾345地区大会に出席参加

台北市で開かれる第345地区(台湾、香港、マカオ)大会へ塚本直前ガバナーを団長として7クラブから15名のロータリアンが参加することになりました。これは昨年の京都における第365地区大会へ台湾各地のクラブから22人のロータリアンおよび家族が参加してくれたので、その答礼の意味をかねています。一行は3月12日(金)大阪空港出発、13日(土)14日(日)の両日台北市の地区大会に出席ののち、それぞれの姉妹クラブを訪問して帰国の予定です。参加するのは、和泉、京都北、大阪、大阪東、大阪西北、大阪淀川、八尾の7クラブであります。なお、第345地区には台湾36、香港7、マカオ1合計44クラブがあります。

■第376区(韓国)地区大会

当366区の姉妹地区である376区は、4月3日、4日、大邱において地区大会を開催します。塚本直前ガバナーが出席されます。

幹事さんへお願い

※出席報告は、期日までに、速達便で必着を。

2月分は、3月9日（火）までに

3月分は、4月8日（木）までに

4月分は、5月8日（土）までに

5月分は、6月9日（水）までに

6月分は、7月8日（木）までに

残るところ5カ月分です。遅れないよう、みんなのため、奉仕して下さい。

※国際大会への信認状の扱い方

来る5月の国際大会において行われる審議採決において、会員が大会に出席しないクラブは信認状をガバナー・ノミニーに寄託していただきたいと思います。所定の用紙に必要事項を記入し、署名のうえ、ガバナー事務所へ4月上旬までに必ずお送り下さい。

■札幌冬季オリンピック聖火台の寄付

1972年札幌冬季オリンピック大会の聖火台は札幌RCの発議により、全国各地のロータリアンの御賛同を得て、年に100円、3カ年にわたって御寄付願うことになっておりますが、本年2月実施のプレオリンピック大会に間に合わせるため、来年度の分をくり上げて御払込下さるよう、各クラブにお願いしてありますので御承知おき下さい。

■東パキスタン災害見舞金の集計報告

地区内全55クラブから、総計 1,828,000円の御寄付をいただきました。御協力まことにありがとうございます。2月中に、資木バストガバナーが、現地へ赴かれ、目録を贈呈することになっております。お金は、在日財務代行者へ送金いたしました。

有 田 (24,500) 大 東 (19,500)

御 坊 (31,000) 橋 本 (27,500)

東 大 阪 (29,000) 枚 方 (26,000)

枚 岡 (20,000) 茨 木 (25,500)

池 田 (25,500) 和 泉 (23,500)

泉 大 津 (35,000) 泉 佐 野 (44,500)

門 真 (12,500) 海 南 (28,500)

貝 塚 (26,500) 河内長野 (28,000)

岸 和 田 (28,500) 粉 河 (13,000)

松 原 (23,000) 箕 面 (30,000)

守 口 (25,500) 郡智勝浦 (17,000)

寝 屋 川 (12,500) 大 阪 (145,500)

大 阪 東 (43,500) 大阪阪南 (25,000)

大阪東淀 (13,500) 大阪城南 (20,000)

大阪柏原 (11,500) 大 阪 北 (80,000)

大阪西北 (24,500) 大阪心斎橋 (14,000)

大 阪 南 (82,300) 大阪西南 (32,000)

大阪住吉 (37,000) 大阪天満橋 (27,500)

大 阪 西 (46,500) 大阪淀川 (36,000)

堺 (57,000) 堺 南 (34,000)

堺 東 南 (17,500) 攝 津 (11,000)

新 宮 (26,000) 白 浜 (36,000)

吹 田 (22,450) 高 石 (100,000)

高 槻 (50,000) 田 辺 (33,500)

富 田 林 (27,500) 豊 中 (30,000)

豊 中 南 (14,500) 和 歌 山 (60,000)

和歌山東 (38,500) 和歌山南 (28,750)

八 尾 (26,000)

事務総長書簡より

◎クラブ親睦委員会の名称及び 任務の改正

理事会は、推奨ロータリークラブ細則第8条第4節を改正し、その名称及び任務を下記のように改正することを決議いたしました。

① 親睦活動委員会。この委員会は、会員間の知り合いと友誼を増進し、組織化されたロータリーのレクリエーション活動並びに社交活動に会員が参加することを促し、本クラブの一般目的の遂行上、会長又は理事会が課する任務を果すものとする。

◎青少年と接する機会の多い

ロータリアン

各自の職場で、青少年としばしば接する機会の多いロータリアンは、青少年問題及び青少年奉仕に関する知識を、クラブ内の他の会員と分かち合うことが奨励されています。その方法は例会プログラムや関係委員会のプログラムを通じて、各会員の青少年奉仕への自覚を促す方法をとることによって行うべきであります。

◎地区ガバナーの仕事の荷軽減

地区ガバナーの仕事の荷重を和らぐことに関連し、理事会は、各地区ガバナーノミニーが選出され次第、でき得る限り早く、地区委員会を任命し、慎重に設定し運営され得る地区組織を彼が地区ガバナーとなる年度のために就任に十分先き立ち設置することの重要性を認めるものであります。

◎標準インターアクトクラブ定款の

一部改正

理事会は、

(A) 標準インターアクトクラブ定款第4条の条文中、2番目の文節を次のように改正いたしました。

本クラブの会員は、提唱クラブの決定により全員男子、全員女子、又は男女とする。

(B) インターアクトに関する方針声明書の第3項の「但し」以下の条文を削除いたしました。

◎標準ローターアクトクラブ定款並びにローターアクトに関する方針声明の修正

理事会は、ローターアクトクラブの目的、提唱者、運営の面に関する標準ローターアクトクラブ定款並びにローターアクトに関する方針声

明の中の諸々の規定に修正を加えました。この修正、改正事項を示す定款並びに方針声明の改訂版は、出版され次第ローターアクトクラブを提唱しておられる各ロータリークラブへお送りいたします。

■インターアクト並びにローターアクト地区の設定とその境界

理事会は、標記につき次のように決議いたしました。

(A) 若しも一つの国際ロータリー地区内に5クラブ以上のインターアクト又はローターアクトクラブが存在する場合、インターアクト地区或いはローターアクト地区を設定することができる。但し、そのような地区は、その境界を各提唱ロータリークラブを包含する国際ロータリー地区の境界と同一とする。

(B) インターアクトに関する方針声明書の第21項(i)の条文中の最初の一文節を次のように改正する。

(i) 若しも一つの国際ロータリー地区内に5クラブ以上のインターアクトクラブが存在する場合、インターアクト地区を設定することができる。但し、その場合、インターアクト地区の境界は、各提唱ロータリークラブを包含する国際ロータリー地区の境界と同一とする。そのようなインターアクト地区内のクラブは、地区内の会員の中からインターアクトガバナーを選挙することができる。

(C) 同様に、ローターアクトに関する方針声明書の第19項(i)の条文中の最初の一文節を削除し、そこへ上掲のインターアクトに関する改正文の中のインターアクトの字句をローターアクトに置き替えた条文を挿入する。

■会員拡大職業分類委員会よりお願い

当地区の昨12月末の会員数は、3,353名で初期会員3,171名に対し、182名(5.74%)の増加となっていますが、新クラブ大阪東淀RC25名、攝津RC22名、大阪心斎橋RC28名、計75名の創立会員を差し引くと、内部拡大は107名(3.38%)ということになります。内訳をみますと、クラブ総数55(新クラブ3)のうちで、会員増加クラブは39で、内部拡大126名、創立会員75名、計201名の増加となっています。一方、会員減少クラブは9クラブ、19名の減少、静止クラブは7クラブであります。

会員増強につきましては、本年度初頭に、ビル、ウォーク会長より、クラブ会長に、8月中旬に1名の新会員を入会させる旨の要請があり、引つづき各クラブの会員増強委員会がチームとなって、今年1月中旬に素質ある立派な新会員を1名推薦し入会させるという新目標を示されました。(ガバナー月信第6号)

本ロータリー年度も残り4カ月となりました。立派な会員の増加は、ロータリーの活動強化につながる前提条件でありますので、どうか前半のペースを上廻る会員の増強に、一そうの御協力をお願い申し上げます。

(委員長 箕田 貫一)

■ロータリー財団寄付額平均580%

本年1月31日までの地区内各クラブからロータリー財団への寄付額は28,898ドルに達しました。会員1人あたり9ドル47。また、最初よりの寄付額累計は177,523ドルで、会員1人あたり58ドル18となります。平均580パーセントというわけです。各クラブの寄付額パーセントは次表のとおりで、※印は1月に達成した新パーセントを示す。

%	クラブ数	クラブ名
0	3	大阪東淀、大阪心斎橋、攝津
100	1	大阪柏原
200	4	門真、箕面、寝屋川、大阪西北
300	14	御坊、橋本、枚方、粉河、大阪阪南、大阪城南、※大阪天満橋、大阪淀川、※堺東南、新宮、吹田、高石、富田林、豊中南
400	11	枚岡、※泉大津、海南、貝塚岸和田、※松原、※大阪西南大阪住吉、白浜、高槻、八尾
500	10	有田、池田、泉佐野、河内長野、守口、大阪南、※大阪西※田辺、豊中、和歌山
600	2	※東大阪、※和泉
700	1	大阪北
800	5	大東、※茨木、※大阪、※和歌山東、※和歌山南
900	1	※堺南
1000	2	那智勝浦、大阪東
1200	1	堺

◎ロータリーの現況

12月28日現在(149カ国、地域)

RCの数 14,576クラブ

会員の数 689,250名

7月1日以降の新設クラブ数 221

■各クラブのロータリー財団寄付額

寄付額の表示単位米ドル (1971.1.31現在)

ク ラ ブ 名			69年12月 末会員数	本年度寄付額	寄 付 額 累 計	パーセント	次のパーセン トへの必要額
A	有	田	47	333.75	2,743.90	500	76.10
D	大	東	32	285.67	2,553.79	800	326.21
G	御	坊	57	306.98	2,186.50	300	93.50
H	橋	本	51	54.00	1,753.76	300	286.24
	東	大 阪	50	1,029.52	3,362.70	★ 600	137.30
	枚	方	47	51.00	1,594.48	300	285.52
	枚	岡	44	357.60	1,767.65	400	412.15
I	茨	木	49	760.06	4,092.84	★ 800	317.16
	池	田	47	141.89	2,762.66	500	57.34
	和	泉	57	586.70	3,501.16	★ 600	488.84
	泉	大 津	65	569.49	3,004.52	★ 400	245.48
	泉	佐 野	56	173.78	3,054.38	500	305.62
K	門	真	24	—	480.04	200	239.96
	海	南	54	270.01	2,291.03	400	408.97
	貝	塚	46	585.82	1,928.87	400	371.13
	河 内	長 野	57	326.00	2,904.76	500	515.24
	岸	和 田	57	236.01	2,587.79	400	262.21
	粉	河	24	27.00	891.15	300	68.85
M	松	原	49	407.03	2,005.84	★ 400	444.16
	箕	面	24	39.00	480.03	200	239.97
	守	口	49	111.00	2,570.34	500	369.66
N	那 智 勝 浦		34	387.25	3,489.49	1,000	250.51
	寝 屋 川		24	40.00	631.93	200	88.07
O	大	阪	288	1,702.13	23,660.96	★ 800	2,259.04
	大 阪 東		78	1,128.80	8,304.93	1,000	275.07
	大 阪 阪 南		35	346.02	1,193.07	300	206.93
	大 阪 東 淀		—	138.90	138.90	—	—
	大 阪 城 南		34	284.68	1,032.73	300	327.27
	大 阪 柏 原		21	240.02	240.02	100	179.98
	大 阪 北		156	2,845.60	10,979.87	700	1,500.13
	大 阪 西 北		35	302.02	1,013.06	200	36.94
	大 阪 心 斎 橋		—	—	—	—	—
	大 阪 南		149	1,111.64	7,853.45	500	1,086.55
	大 阪 西 南		42	1,206.10	2,046.16	★ 400	53.84

ク ラ ブ 名	69年12月 末会員数	本年度寄付額	寄 付 額 累 計	パーセント	次のパーセン トへの必要額
大 阪 住 吉	65	380.02	3,192.65	400	57.35
大 阪 天 満 橋	50	700.01	1,702.04	★ 300	297.96
大 阪 西	86	837.15	4,300.04	★ 500	859.96
大 阪 淀 川	66	69.00	1,996.17	300	643.83
S 堺	107	2,474.78	13,756.82	1,200	153.18
堺 南	66	1,180.49	5,967.65	★ 900	632.35
堺 東 南	31	1,201.93	1,201.93	★ 300	38.07
摂 津	—	—	—	—	—
新 宮	56	83.00	1,850.69	300	389.31
白 浜	38	369.91	1,740.46	400	159.54
吹 田	60	220.11	2,355.60	300	44.40
T 高 石	40	163.01	1,273.09	300	326.91
高 槻	53	203.01	2,446.02	400	203.98
田 辺	64	205.00	3,210.06	★ 500	629.94
富 田 林	53	187.35	1,813.34	300	306.66
豊 中	53	228.23	3,073.93	500	106.07
豊 中 南	24	49.00	789.06	300	170.94
W 和 歌 山	88	200.02	5,084.80	500	195.20
和 歌 山 東	73	1,739.08	6,361.06	★ 800	208.94
和 歌 山 南	51	1,817.28	4,313.56	★ 800	276.44
Y 八 尾	45	404.02	1,971.08	400	278.92
合 計	3,051	28,898.07	177,523.01		

★印は、1月に新パーセントに達したクラブです。

1 月 出 席 報 告

(Attendance Report for January)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	御坊	3	62	+2	100.00	6	30	大阪阪南	4	49	+3	95.41	19
2	大阪西南	4	62	+10	100.00	11	31	大阪東淀	4	30	+30	94.85	37
3	和泉	4	60	+2	100.00	2	32	大阪西	4	93	+2	94.82	36
4	橋本	4	56	+1	100.00	3	33	高石	4	43	+1	94.65	16
5	高槻	4	55	+3	100.00	4	34	池田	4	51	+2	94.61	40
6	大阪城南	3	44	+5	99.24	32	35	大阪住吉	3	73	+1	94.55	23
7	新宮	4	56	+2	99.08	15	36	富田林	4	56	+3	94.55	45
8	大阪淀川	3	66	-4	98.97	1	37	大阪東	4	88	+1	94.07	35
9	泉大津	3	68	-3	98.53	13	38	大阪南	4	154	+6	94.04	27
10	大東	4	35	+1	98.53	5	39	那智勝浦	3	34	-1	93.94	18
11	茨木	4	53	+2	98.44	7	40	和歌山南	3	60	+5	93.89	30
12	河内長野	3	57	+1	98.25	10	41	枚方	4	52	+3	93.84	38
13	東大阪	4	57	+2	98.15	55	42	大阪	3	295	-3	93.68	50
14	枚岡	4	40	-2	97.52	39	43	堺	4	116	+5	93.20	25
15	箕面	4	29	+1	97.41	12	44	堺東南	4	33	+2	93.18	52
16	和歌山東	4	79	+8	97.40	9	45	白浜	4	42	+6	92.82	51
17	松原	4	46	-2	97.29	14	46	大阪北	4	162	+5	92.79	49
18	岸和田	4	58	-1	96.93	29	47	八尾	4	52	+2	92.50	28
19	海南	4	57	+3	96.87	47	48	大阪柏原	4	24	+3	91.40	24
20	和歌山	4	97	+4	96.70	31	49	攝津	3	29	+29	91.08	53
21	堺南	4	68	+3	96.64	8	50	貝塚	4	53	+7	90.69	46
22	大阪西北	4	49	+11	96.43	17	51	寝屋川	3	25	+1	90.67	41
23	田辺	4	67	+2	96.37	22	52	守口	4	51	-	90.20	44
24	大阪天満橋	4	55	+5	96.36	26	53	門真	4	25	-	90.00	42
25	豊中	4	53	-	96.23	34	54	豊中南	4	31	+3	89.05	54
26	吹田	4	60	+1	96.19	33	55	大阪心斎橋	4	28	+28	86.61	48
27	粉河	4	26	-2	96.15	43	合 計 209 3,371 +200 5,245.87						
28	泉佐野	4	58	+2	95.69	21	平均出席率 95.38%						
29	有田	4	49	-1	95.41	20							



ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 366 : GOVERNOR'S

Monthly Letter

第366区 ガバナー

井関久楠

区内各会長及び幹事殿あて

月 信 (写)

GOVERNOR: HISAGUSU ISEKI

OFFICE: 和歌山市西汀丁 内田ビル 3階

Uchira Bldg., Nishi-Migiwacho, Wakayama-shi

ADDRESS: P.O. BOX 5, WAKAYAMA

和歌山局 私書箱5号 640-91

TELEPHONE: 0734-22-0847

CABLE ADDRESS: INTEROTARY WAKAYAMA

第10号 (昭和46年4月1日 発行)

No. 10 April 1, 1971

366地区年次大会終る

3月というのに今年は珍らしく寒風吹きすさむ中を3月5日(金)、6日(土)の両日、366区第1回の地区大会が和歌山県の誇る県民文化会館で盛大に開催された。登録者1,394名、ホストクラブ海南RC、和歌山3クラブ、有田及び御坊クラブは、コーホストクラブとして、いろいろお世話願った。前日から海南RCの玉置大会委員長以下、海南RC全員出動で夜遅くまで会場その他の準備におおわらわ、誠に客を迎える主人役の涙ぐましい御努力には、ただただ頭が下るばかりだった。又はるばるシンガポールから、RI会長代理としてお越しいただいた 鄭徳栄 (Dr. Tay Teck Eng) 博士夫妻並びに韓国376区次期ガバナー 朴正寛氏の出迎えには、それぞれ海南RCの米元、冬野両君並びに和歌山RCの菱川、小島両君に伊丹空港まで夜おそく行っていただき感謝にたえないことであった。

3月5日(金)の第1日は、9時登録開始、寒かったが天気は快晴で、さすがの大ホールも満員の盛況であった。ソングリーダー御前昌一君の指揮のもと「奉仕の理想」で幕は切って落され、玉置大会委員長の開

会の辞、内容充実した祝辞アドレスと、プログラムは定刻通りスムーズに進行、出席最優秀クラブは今年も橋本RC、殊に8名のポールハリス受賞者があって多彩な大会に、更に花を飾ることができた。

昼食は和歌山名物、小鯛の雀寿司に舌鼓を打ち、午後は1時から部門別協議会、これは4階に各部門1室宛、各クラブ参加者、カウンセラー、リーダー、SAA約60名が討議に熱中、その前の部屋には茶室がしつらえられて約100名が一度に椅子でお茶をいただけるしくみ、5階の大会議室では120名満席の会長幹事部会が同時に開催され、各討議場には藤沢地区幹事の案内で、RI会長代理及び通訳の奈良佐君が次々と廻って御指導をいただいた。

この間、部門別協議会に出席されない会員及び家族は、住友金属工場見学(和歌山RC松阪会員の御世話による)に行き、折よく出航のタイミングよくみごとな鉄の火の流れを見て快哉を叫び、また大会場では有吉佐和子の映画「華岡青洲の妻」を観覧、又は会場のロビーショッピングを楽しみ、友愛の家で親睦を深められた。3時半からは血液学の大家古畑種基博士による特別講演「日本人の祖先はどこから来たか」を聞き

感銘を深くした。

5時からの余興は、中村メイ子の名司会によって、「歌は世につれ、世は歌につれ」のテーマで、東海林太郎、神楽坂淳子、渡辺はま子、霧島昇、林伊佐緒、和歌山放送児童合唱団によって、盛りたくさんの歌を聞かせてもらった。

次いで、会場を和歌山駅前の農協会館に移し、午後6時から盛大な希望晩さん会が、550名の出席を得て催された。席上、塚本直前ガバナーの名詩吟、韓国朴正寛氏の荒城の月等の隠し芸まで飛び出して、なかなかうちに親睦の実をあげ、8時半閉会となった。

3月6日(土)第2日は、地区大会の悪習慣で会場は閑散、9時に開会して部門別協議会の各リーダーの報告があったが、何れも時間が足りず討議がつくせなかったと、会員の熱のこもった討議のようが想像できた。

次いで若月委員長の決議報告及び採決も、例年のマンネリを破って、具体的に決議2号、3号、4号とそれぞれの「隔りを取り除こう」に協力を決議し、全員拍手のもとに全決議案が採択された。

10時30分からは、「日本ロータリー50年、将来に望む」のパネル討論会が行われた。去年は主に対外的奉仕活動についての討議がなされたが、今年はモデレーターから主にクラブ内についての討議を希望するとのことで、フロアからの討論も加わって、いつまでも輸入ロータリーでなく日本のロータリーに脱皮すべきだとの声も出て、時間不足のため討議を尽し得ず、いかにも残念であった。

研究グループ交換で出発する方々、ロータリーフェローの川島君、米山奨学生の黄君のあいさつその他があり、つづいてRI会長代理テイ博士の講演、最後に和歌山県無形文化財としてのこされている藤白獅子舞及び塩津いな踊りに興を尽して、会場正面にあらわれた「来年高槻で会いましょう」の垂れ幕を見ながら、螢の光で別れを惜しみつつ散会した。

ガバナー・アドレス

RI会長代理 Tay Teck Eng 御夫妻を始め、来賓各位及び各地RCから御出席の会員並びにその家族の

皆さん。本日は誠にありがとうございます。遠隔の地より未だ浅い初春の紀州路を訪ねられ、1970～1971年の国際ロータリー第366地区年次大会を、今日ここに皆さんと共に、新装の県民文化会館に持つ事が出来ました事を心からお喜び申し上げます。

先づ第一に申し上げたい事は、本日の年次大会が第366地区が誕生致しましてから最初の年次大会であるという事であります。

第二に1970年は日本へ初めてロータリーがはいってから50年目の記念すべき年次にあたるという事であります。

第三に本年のロータリーの目標は、“Bridge the Gaps”という世界の人々が最も期待しておる重大な時期であるという事であります。

日本ロータリーは戦後異常の発展を来たしたのであります。それは恐らく、戦後民主主義思想がとうとうと、一時に流れ込んで来て、それがロータリーに主流となって流れておる世界平和の思想と結びついた結果だと思えます。全く世界各国驚異的となってロータリーは発展して来たのでありまして、1971年1月31日現在日本国内1,044RCを数え、我々志を同じくする会員が51,781名に達する世界第2の盛んな国となったのであります。それらの原因から第365地区がパスト・ガバナー各位の御尽力によりRI理事会を通過して分割され、初めて第366区が生れたのであります。現在55RC、会員3,371名、更に仮RC、和歌山東南、予定RCに豊中西北もあり、昨年7月1日より200名の会員増強を見たのであります。

地区もまた昨年14地区であったのが現在17地区となり、更に次年度1地区増加の予定であります。

第二に1920年三井銀行常務取締役米山梅吉さんが初めて日本へロータリーを紹介されてから、昨年で正に50年の歳月を経過したのであります。由来日本人の国民性として海外の長を取り、短を棄て、我が国に適合したものを造る事に妙を得、ロータリーもまた友愛と奉仕の精神が、各地の職業の指導者層の共鳴を呼び、この50年間に異数の発展を来したのであります。

ロータリー精神はもとより世界共通ではありますがその精神は、日本の神道又は仏教、儒教の教えとその

共通点を見出し、定款、細則を実に忠実に実行し、例えばその例会の出席率においても、実に優秀な実行力を示し当第366区1月末95.38%と、95%を超過しております。

次にロータリー財団の事でありますが、現在地区内28,898ドルで会員1人当たり、9.47ドルで最初よりの寄付額は177,523ドル、会員1人当たり58.18ドルとなり、平均580%であります。又ポールハリス賞即ち1,000ドル寄贈者が8名出来たのであります。同じく財団の費用により研究グループ交換派遣生が第365区と合同して6名の青年が大阪RCの西川武四郎君がリーダーとして3月11日オーストラリアの70日間の研究に出發致しますのであります。世界社会奉仕におきましては海外医療協力会を通じてナイジェリアへ100万円、韓国総行会の精薄児救済施設へ30万円沖繩救済会へ35万円を寄贈し、別途に東バキスタン災害見舞金として55RC全部より、1,828,000円、同じくパル地震見舞金としてRCより直接送金の分を除き45RCより1,163,500円寄贈致したのであります。更に特に申し上げたい事は第376区と当地区との姉妹関係締結の事です。昨年7月1日より向う3カ年間姉妹関係締結の文書を交換致したのであります。その第一の試みとして当地区内38RCより第376区の38RCへ「ロータリーの友」誌約10部を毎月寄贈致す事と致し各RCよりそれぞれ相手RCへ発送しておる事です。

青少年奉仕としては、高校生交換として3RCより8名の交換生を決定し、インターアクト・クラブは2RCに更に最近1RC増加の予定であり、ローターアクト・クラブは既に6RCの提唱により活発に活動しておるのであります。

第三はRI会長の目標“Bridge the Gaps”に関する事です。現在は正に断絶の時代であるといわれておるのであります。至るところ断絶の場面に直面しております。

RI会長は1970年代の課題を理解するためには70年代の人間を理解する必要があるといっておられるのであります。青少年と成人、富める者と貧しい者、雇用主と従業員、都会人と地方人、学生と教師等々、その年代における人間を理解する必要があるといわれてお

ります。世代間のGap、社会的のGap、人の移動のGap、経済的のGap等々、ロータリーはこれらの問題を学び理解するための討論の場として設立させなければならぬのであります。われわれは会務奉仕、社会奉仕、職業奉仕、更に国際奉仕について66年前1905年2月23日、ロータリー創始の日にポールハリスが感じた精神即ちロータリー精神を今ここに呼びおこす事によって“Bridge the Gaps”というこの課題を素直に受けとめて実行に努力を傾けて行こうではありませんか。

ありがとうございました。

R. I. 会長メッセージ

皆さん、私は、ビル・ウォーク会長のごあいさつを持って参りました。会長は、今日この大会への出席を非常に望んでいましたが、ロータリー年度中、314の地区の大会全部に出席することは不可能であります。会長は井関ガバナーが果している立派な業績に対し、賞賛の言葉を申し上げるよう、また366地区のロータリー奉仕の卓越した実績をほめたたえるように、私に要望しました。会長はこの地区大会が、非常な成功を収めるよう望んでおります。

私自身も、私の330地区からのごあいさつを申し上げたいと思います。特にシンガポールの3クラブからのごあいさつとしては、皆さまが来る5月にシドニー国際大会に出席される途中、シンガポールに立寄られることを歓迎すると申しています。

1968～69年のマレイシアのピナンにおける地区大会では、RI会長代理としてバストガバナー元理事の松本兼二郎君をお迎えしたことを喜んでおります。彼はわれわれの地区大会において立派に使命を果し、大会の成功に非常に貢献されました。

今日私は、ビル会長の代理として大会に出席し、会長と皆さまの間のギャップを取り除くことは、大そう光栄に存する次第であります。

366地区は、新しい地区であり、この大会は366地区となって初めての地区大会です。この地区の歴史を飾るこのような重要な時に、私が出席したことは、本当に名誉に思います。

私はまた、古い友達に再会できるのではないかと思います。昨年、堺ロータリークラブは、大阪の歯科看護学院の看護婦、小嶺喜美子さんが、ピナンの歯科看護婦訓練学校で6カ月の訓練コースを受けるスポンサーとなりました。私は、小嶺さんがピナンの訓練学校に入学許可を受ける手続をお助けいたしました。ピナン・ロータリークラブは、小嶺さんのピナン滞在中の面倒を見、彼女は先月訓練を終えて、今大阪に帰っています。私は、彼女を帰国途中、バンコクの地区大会にゲストとして招待しました。

この計画のおかげで、私はここへ来る前からあなた方の知り合いのような感じがしております。この計画は、堺クラブとピナングラブとの、366区と330区との大阪とピナンとの、また日本とマレーシアとの、ギャップを取り除いたことになります。また両国民の間の理解を増進することに貢献しました。

私は、日本のこの地区に友人をたくさん持っています。大会の終わったあとでは、更に多くの友人を得ることでしょう。

今日の世界において、異った国民相互の友情と理解が必要です。科学技術の進歩は驚異的であり、人類は月にまで到達しました。しかし、我々の世界にはお互に平和に生活することを知らない地域も存在するので、ビル会長の言を引用すれば、

「私は、現代の世界の人々並びにこの70年代に最も必要なことは、人々が共存の道を学ぶことであると信じます。1970年代の課題を理解するということは、70年代の人々——黒色、褐色、赤色、白色等、すべての国々の人々並びに彼らの問題を理解することです。これは共存の道を学ぶという課題に対する基本条件であります。我々は他の人々と通信することだけに止めず、お互に理解し合うことを学ばなければなりません。」

我々の社会には、いろいろのギャップが存在します。持てる者と持たざる者との間の経済的ギャップ、先進国と開発途上国との科学技術上のギャップ、年輩者と青少年との間の世代のギャップ、人種相互間のギャップ、2国間の意思疎通のギャップ、これらは一例に過ぎません。まだたくさんのギャップがありま

す。ビル会長は、隔りを取り除くことを我々に勧奨しております。いわゆるこれらのギャップは、人間が引き起したものです。それ故、人間は、人間の引き起した問題の解決策を見出しうるはずであります。しかし誰かが“Bridge the Gaps”の過程をスタートさせる触媒の役割を果たさなければならないのです。あなた方ロータリアンは、この媒体となることが要請されているのです。ロータリーの奉仕にあなたの努力を結集し多くの人々並びに多くの青年をロータリーに加入させることが要請されております。“Bridge the Gaps”を効果的ならしめるために、我々の「機動力」を増強しなければなりません。

日本のロータリー運動は、驚異的な割合で発展しました。1920年に設立された最初のクラブは、東京RCであり、1949年に日本には1つの地区しかなかったのですが、今日17地区、1,044クラブ、51,781名のロータリアンがいます。新クラブが絶えず誕生しているので、この数字はもっと大きいものとなっているでしょう。米国について日本は国際ロータリーの地区の数において、世界第2の国となっています。

ロータリー財団への寄付の点では、日本のロータリーは、非常によい成績を示しております。国際ロータリーの314の地区の中で、日本の358地区は、昨年ロータリー財団への寄付の点で、1人当たり34,70米ドルの寄付をして第1位でした。旧365区は、1人当たり10,61米ドルの寄付をして第5位でした。同時に旧365区は、200名地区でもありました。

世界社会奉仕の点で、日本のロータリーはまた多くの立派な貢献をされました。皆さま方も顕著な、価値のある援助をされました。私共の330地区は、日本の各地区から、いろいろと援助を受けておりますが、

- (1)タイ国の農村地帯での学校建築
- (2)マレーシアにおける救急車の整備
- (3)シンガポールの栄養貧血症研究所の施設

これらは、多くの計画中3つの例に過ぎません。

世界社会奉仕は、人と人の間や、国と国の間に理解と善意を作り出して行きます。世界は、このような理解と善意とを必要としているのです。日本のロータリ

一は、この必要をみたすため最も価値ある貢献をしているのです。

ビル会長が指摘しているように、全く同じ人間というものは存在しない、ロータリアンもそうだし、兄弟や、双生児ですら全く同じではないのです。しかし根本的に我々は、同じ抱負と願望を持っているのです。そして同じ問題をかかえているのです。子供のためもっと多くの学校を必要とし、病人のためもっと病院を必要とし、増加する人口のためもっと住宅を必要とし、労働者のためにもっと仕事を必要とし、高い生活水準を求めています。また学生の不安の問題、不具者、盲者、ろう者、精薄者を世話する問題、誰も世話する人のない高齢者の問題、があります。孔子はっております。「四海之内皆兄弟也」と。ロータリアンは「超我の奉仕」というモットーを持っており、希望を達成するために相互に助け合い、問題解決のためお互いに助け合わなければなりません。また "Bridge the Gaps" のためにも助け合わねばなりません。すなわち、開発国と開発途上国との間の工業上、技術上のGap、持てる者と持たざる者との間のGap、その他もろもろのGapを我々が取り除くことができるならば、国と国、人と人との間の理解を生み出すことができます。また世界の平和と善意を作り出す長い道程を進んで行くことができます。

我々は、それができるでしょうか。

此の課題に直面して、ある人々は新地区だから、新クラブだから、或いは、なりたてのロータリアンだから、というかも知れませんが、地区の新旧、クラブの新旧、新しいロータリアンか古い会員か、ということは重要ではありません。重要なことは、あなたがロータリアンとして、ロータリーのため、クラブのため、地域社会のため、人類のために何をなさそうしているかということです。

むかしむかし、ある偉人は申しました。「世界にあなたの持つ最高のものを与えなさい。そうすればあなたは最高の報いを受けるであろう」と。我々は、もし我々のもつ最高のものを与える決心をすれば、それをなしとけることができます。

私は、ビル会長の代理として参りました。私はまた

あなた方の中の1人として、ロータリーを分ち合い、学び合うためにやって来ました。いっしょにビル会長の "Bridge the Gaps" の課題を受け入れようではありませんか。国際理解並びに世界の善意と平和のために、ロータリーの力を効果的ならしめようではありませんか。どうもありがとうございました。

Dr. Tay Teck Eng 講演

皆さん、名残りおいしいことですが、物事はいつかは終りがくるといわれます。このすばらしい地区大会も終りに近づきつつあります。

この大会を立派に主催された井関がバナーに、心からおよろこびを申し上げます。また資料を提供し、討論に参加された方々にも、同様によろこびを申し上げたいと思います。

私は、あなた方が、ロータリーの知識を獲得され、他の方々の経験を通して得るところがあったと確信しております。私と同様に、すばらしい友情を味わい楽しまれたことと信じます。会議が終れば、皆さま方はロータリーの綱領を効果的に実行しようという新しい決意と熱情をもって、それぞれのクラブにお帰りになることでしょう。さらにロータリーを広い地域に、多くの人々の中に、拡大しようとする機会を探索されることでしょう。

あなた方は、クラブを強化し改善し、ギャップを取り除き、ロータリーを通して、世界をよりよき世界にすることに再び献身されることでしょう。私はこの機会に国際ロータリー理事会の最近の決議を御報告したいと思います。

(1) 国際奉仕賞プログラム

理事会は、原則として、理事会によって立案された上記のプログラムを行う計画を承認しました。これは、毎年審査を経て、国際理解に著しい貢献をした個人又は団体に授賞されるべきものとし、最初の授賞は1971年の国際大会に実現することを目標として直ちに実施することになりました。

(2) 青少年功労賞

理事会は、顕著なすぐれた奉仕、信頼性及び指導能力を実証された青少年に対し、ロータリークラブが青

少年功労賞を授与することを勧奨し、証書の書式を準備しておいて、各クラブの利用の便に供することになりました。

(3) 会員の増強

第一に、地区ガバナーは、地区の会員拡大委員会に次のことを実行させるようにします。

(A) 直接に、ロータリークラブの増強委員会、特に会員減少又は静止、もしくは微増クラブの増強委員会にはたらきかけること。

(B) 地区の諸会合又は機関にたいし、会員増強に関する情報を提供し、要請があれば、クラブや会合において、会員増強についてのプログラムを提供すること。

(C) 委員会の目的の遂行上適切な活動を実行すること。

第二に、理事会は、地区ガバナーが、会員増強のためグループ代表を効果的に活用し、またグループ代表の任命にさいして、会員増強に関するその任務と責任を特に明らかにするように勧奨しております。

皆さま方は、会員増強委員会をクラブの会員増強のために効果的に活用する事が大切だと思います。

(4) 有能な人をRCへ加入促進させる広報活動

理事会は、実業及び専門職業の責任ある地位を占める青年が増大しつつあるので、ロータリークラブが、かかる青年に加入勧奨する方策を工夫するよう要請しまたクラブが加入勧奨を強調した広報宣伝を採用するよう示唆しています。

私は、次に新366区のため、二、三の問題を論じて見たいと思います。

(1) 地区の財団活動について

旧365区は200多地区でありましたが、こちらに来る前、新地区としてはまだ100%地区ではないと思っていましたが、昨日のガバナーの御報告によれば、ごく最近100%地区になったということ、また本大会で8人のポールハリスフェローが受賞したということを知り、この地区のすばらしい業績に対し心から賞賛申し上げたいと思います。また本日の受賞者の受取人として、御婦人を1人拝見して感銘いたしました。さらに前進されることを大いに期待しております。

(2) 世界社会奉仕について

今月の末、3月28日から4月3日までは、世界社会奉仕週間にあたります。おそらく他の地区の計画に援助を与えることを考慮されることと思います。そこで私は1つの提案をしたいと思います。それは、マレーシアのある町の湖のある庭園を美化するため、日本人の造園専門家のアドバイスを受けられるよう奉仕していただけないか、ということです。すなわち、あなた方から専門家を送っていただくことと、大阪ピナン間の往復航空賃を負担していただくことであります。マレーシアでの滞在費、国内旅費は、タイピンのロータリークラブが負担いたします。この計画は、科学技術上のギャップを取り除くことに役立つと思います。

(3) 青少年活動について

この部門において、366地区にまだ改善の余地があると思います。現在2つのインターアクトクラブと、6のローターアクトクラブだけだと思いますが、もっと両方のクラブをふやす可能性を探究してほしいと思います。青少年の問題は、緊急課題となっております。世界人口の51%は、25才未満です。青少年は、社会でもっと大きな役割をもちたいという要望を強めています。彼らの権利をふやし、意見を聞いてほしいという要望に対して、我々は彼らの声に傾聴し、共に行動する必要があります。社会の中で責任ある役割を負わせる機会を与えてやらねばならないと思います。権利の要求に対しては、すべての権利は責任と義務とを伴うものであることを認識させるように仕向ける必要があります。我々は学生の不安の原因を取り除く手助けをし、世代のギャップを取り除く必要があるのです。

(4) 研究グループ交換プログラムについて

366区では、365区と共同して、245区にチームを送ることになっていると聞いておりますが、いつか私共の330区と、研究グループの交換をしたいと望んでいる次第です。

(5) 国際青少年交換プログラムについて

昨年私の地区に、小嶺さんを送って下さいましたがもっと他の人々を送り出し、また他の地区から受け入れる機会をさがし出していただきたいと思います。

これらの研究グループ交換や青少年交換プログラム

により、意思疎通のギャップを取り除くことに貢献できるでしょう。

ロータリーの本年度が終るまで、まだ4カ月あります。更に大きな奉仕を遂行できる時間が残っております。私は、皆さまが引つづきロータリーの奉仕を楽しみ、成功を収められるようお祈りして、私のあいさつといたします。

この大会は本当にすばらしい大会でした。旧交をあたためると共に新しい友人を得ることができ、皆さまから暖かく迎えていただきましてありがたく思います。大会が終って本当に名残りおいしいと思いますが、また次の機会にお会いする日を楽しみにいたしております。どうもありがとうございました。

年次大会決議

決議第1号 R.I.会長代理派遣に対し感謝の件

国際ロータリー会長ウィリアム E.ウォーク Jr.氏は第366地区大会を和歌山市で開催するに当たり TAY TECK ENG氏をその代理として本大会に出席せしめられ、同氏は夫人と共に大会に出席して有益且つ感動的なメッセージをもって参加者一同に深い感銘を与えられた。

依って本大会は TAY TECK ENG氏をその代理として派遣されたウォーク会長の好意に対し、深甚なる感謝の意を表すると共に会長代理 TAY TECK ENG 夫妻が極めて示唆に富む感銘深きメッセージ、数々の有益な講話を披きされ、本大会に一段の光彩を添えられたことに対し、心からなる敬意と感謝を表することをここに決議する。

決議第2号 R.I.会長本年度方針（人と人との間の隔りを取り除こう）に協力の件

国際ロータリー会長ウィリアム E.ウォーク Jr.氏は本年度の活動方針として "Bridge the Gaps" の標語を掲げられ、人と人、国と国との間の隔りを取り除き、人とその生活環境の不均衡を是正するよう我々に訴えられた。

人と人との問題は我が地区では青少年層と我々世代

のギャップである。将来の国運を双肩に荷なうべき青少年層と我々世代のギャップは今日極めて深刻であり彼等を良く理解すると共に正しき方向に導くことは我々の重大な責任である。故に各ロータリアンは教育問題を初め、青少年の諸問題について充分な関心をもつとともに、この目的に叶うローターアクトクラブ及びインターアクトクラブの増設に積極的に努力することをここに決議する。

決議第3号 R.I.会長本年度方針（諸国間の隔りを取り除こう）に協力の件

国と国との間の隔りを取り除くことは、世界理解と世界社会奉仕につながり、国際平和の第一歩は他国民の生活と思想の理解から始まる。このため我々は海外のロータリークラブと提携して、会員の相互交流をはかり又学生の訪問交換を実践すると同時に、各ロータリークラブは発展途上国への援助を心がけ、地区の計画と相俟って世界社会奉仕に努めることをここに決議する。

決議第4号 R.I.会長本年度方針（人とその生活環境の隔りを取り除こう）に協力の件

人間と環境のギャップは現下の公害にしほられる。近時急激な世論の対象となってきた公害問題についてロータリアンは直接間接に関係の深いことを認め、職業奉仕および社会奉仕を通じてこれが解決に力を注ぐべきは当然である。ただいたずらに声のみ大にせず、自己の職場を克明に点検して率先改善に努め、またロータリークラブとしては、広く地域における自然環境の保全に尽力することをここに決議する。

決議第5号 第365区 直前ガバナー塚本義隆君に対する感謝の件

1970—1971年度より国際ロータリー第365区は、365区と366区に分割されたが、分割前における最後の第365区直前ガバナー塚本義隆君はいち早く、日本万国博覧会場ロータリー例会をもつべくその基礎的工作をされた功績は偉大である。又その恵まれた健康と永年にわたる経験を充分活用され、積年の旧慣を破って、あらゆる面において改革を断行されたために各クラブ

は一段と自粛緊張し奉仕活動はいやが上にも活発となった。よって我々は当年次大会の名において塚本義隆君に対し、その勇気ある実行力とその功績を称え、深甚なる感謝の意を表することをここに決議する。

決議第6号 ホストクラブ、コホストクラブならび協力諸団体に感謝の件

本大会は長期にわたる周到なる準備と献身的な努力により、非常なる成功裡に終始し極めて輝やかな実績をあげた。これ偏えに大会委員及びホストクラブの海南ロータリークラブ、コホスト各クラブの会員諸君並びにその家族のご協力、又、和歌山県、和歌山市、海南市並びに関係諸団体の本大会の開催に当っての格別の好意と理解あるご援助によるものである。

よってわれわれはこれら関係諸方面に深甚なる謝意を表する事をここに決議する。

決議第7号 日本万国博におけるロータリー例会参加クラブに対する感謝の件

1970年大阪に開催された日本万国博覧会は、空前の記録をつくり、大成功裡に終了した。その博覧会場内EXPOクラブ（国際親善館）にロータリー例会場を設けて期間中実に153回の例会が行われたが、出席者総数2,338名にのぼり、多数の海外ロータリアン並びに家族の参加を得て互に交歓し国際親善と友好理解を深め、極めて有意義に大成功をおさめた。

よってこれを主催された万国博ロータリー組織委員会諸氏並びに、参加クラブ会員諸氏に対し、地元地区として本大会は深甚なる謝意を表することをここに決議する。

決議第8号 第376区姉妹関係締結の件

韓国の南半を占める第376区は、昨年4月その地区大会において、当366地区との姉妹関係締結を決議され、西地区は昨年7月姉妹関係締結の調印をした。それ以来すでに親密関係は進みつつあるが、本大会はこれを確認するとともに、第376区との間に理解と親善とを一層推進することをここに決議する。

決議第9号 ロータリーの強化推進に関する件

日本におけるロータリー運動が生れて五十周年に達した今日、特に痛感されるのは各ロータリアンがみずから運動の本質を研究、且つ体得して質的向上につとめ、一方更に会員の増強とクラブ新設による量的拡大を図る必要がある。

よって我々は質量両面併せて、ロータリーの強化を推し進め我々の目的達成に尽力することをここに決議する。

決議第10号 次年度地区年次大会開催の件

本大会は1971年度国際ロータリー第366区年次大会を明年3月高槻ロータリークラブのホストにより、高槻市において開催することをここに決議する。

■会員増強月間（January）の実績

ビル・ウォーク会長からの要請による本年1月中の会員増強の実績は、各クラブとも、いかがでしたでしょうか。

その後の調査によれば、24クラブで1名ないしそれ以上の増加がなされ、合計53名の会員増強がなされましたが、減少クラブもありまして結果は地区全体で18名の増加に止まりました。その旨R Iに報告しておきました。

■枚方RC創立10周年記念祝賀会

2月27日（土）大阪太閤園において簡素ながら厳粛に催された。出席者は、来賓22名、会員49名、会員家族31名、計102名。

同クラブは、10年前2月28日、高槻スポンサークラブ小島秋特別代表の並々ならぬ御努力によって創立されたが、その後順調な成長を続け69年4月には寝屋川クラブを創設する程の充実したクラブに発展した。

式典は、井関ガバナールの祝辞、小島元特別代表の生みの思い出話、市長その他来賓の祝辞に引き続き、記念奉仕事業として、枚方市立身体不自由児療育施設への超音波水治療装置一式贈

呈式、10カ年皆出席者3名の表彰式があり、祝宴は常盤津、舞踊の余興と共に終始和やかに進められ、7時30分盛会裏に解散した。

■366地区、200%地区となる

地区大会で発表されたように、2月22日付で100%地区となったのに引きつづいて、3月10日付ミーンズ事務総長からの来信によれば、新たに200%地区となったことが確認され、同時に200%地区達成を表示した立派な額が送られて来ました。この機会に366地区の皆さまに深甚な感謝の意を表します。

■366区青少年交換プログラム

前年度に引続き、米国とオーストラリアを対象国として、10数名の学生交換計画を進めており、現在までには、大阪北RC吉田章君令息、吉田和男君を昨年10月～11月の間、イリノイ州(649地区)へ送り、本年2月大阪南RC林淳一君長男、林大介君がテキサス州(587地区)へ出発暖かい歓迎を受けておられます。

オーストラリアより、NSWのウェリントンRC(267地区)のMary Solomon嬢を、堺RCがお引受けして、会員の磯野節君宅に預かり帝塚山学院に1年間通学することとなり、堺RCより、磯野節君長男をウェリントンRCへ1年間、Cobar RCへ井上一郎君を1年間交換留学の手続を進め、近く出発の予定となっています。

和歌山RCは、竹中泰三君の令息、竹中周三君を、コロラド州(545地区)へ1年間留学させ、コロラド州ブライトンよりJean Sono Kitayama嬢を1年間、竹中会員宅にお預りいただく予定となり、同嬢は3月20日米国を出発28日伊丹到着の予定であります。

その他、大阪南RCより、菱川会員令息をイリノイ州(649地区)へ、須賀川会員の令息をテキサス州(587地区)へ、夏期1カ月の交換学生

として送る予定で、テキサス州(587地区)へは、更に橋本RCの田中会員令嬢、大阪西南RCの広瀬会員の長男を、夏期短期派遣、イリノイ州(649地区)へは、大阪西南RCの広瀬会員の次男、高槻RCの川崎会員の令息、太田会員の令息を送る予定をたて交渉を進めています。先方の587地区及び649地区でも5～6名の学生を7月頃短期対象学生として、当地区へ送る計画のため目下人選中であり、委員としては上記諸計画が円滑に且つ有意義に行われるよう心から祈っております。

オハイオ州(577地区)から1971～72年度に高校生の一年間留学交換を希望するという手紙が参りました。御希望の方がございましたら、ガバナー事務所に御申込下さい。(世戸一夫)

事務総長書簡より

●地区協議会への出席

今年度の地区協議会への参加者に指名されているのは、次期クラブ会長、幹事、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の各部門担当理事又は委員長、会報編集者並びにロータリー財団委員会の委員長です。

全クラブより、指名参加者全員の出席参加を得ることの重要性は、いかほど強調しても強調し過ぎることはありません。また新クラブや、昨年の地区協議会へ全員参加しなかったクラブは、特に留意して下さい。(なお、当地区では、6月12日(土)新大阪ホテルにおいて開催されることに決定しております。)

●クラブ会長の選挙

1970年国際大会における決議70-65の採択による理事会への指示に従って、理事会は標準クラブ定款を改正して、ロータリークラブ会長をその就任するロータリー一年度の開始直前2カ年

間のいかなる時でも選挙できる事を規定するための制定案を1972年規定審議会へ提出し、その審議に付す準備をする事を決議いたしました。

■和歌山東南クラブ創立総会

和歌山市の4つ目のクラブとして、和歌山東南クラブの創立総会が、2月20日(土)15:30より、県経済センターにおいて開かれ、地区大会を目前にひかえてめでたく新RCが誕生。

和歌山、和歌山東、和歌山南、3RCの地域割譲により、和歌山東南部をテリトリーとし、和歌山南RCがスポンサーとなり、同クラブの若月春雄ガバナー特別代表の司会のもとに、創立総会が挙行された。当日は、井関ガバナー、藤沢地区拡大委員、3RC会長及び幹事、拡大準備委員等19名の臨席を得た。

チャーター会員 25名
例会日 毎週土曜日 12:30
例会場 県農協会館 4階
会 長 岩橋東太郎、幹 事 谷口数木
事務所 県経済センター

■オーストラリア行き研究グループ交換 団員出発

3月11日12時半伊丹空港ロビーに集合した西川団長以下一行は、ユニホームに身をかため、定刻13:45の航空便で東京に向け出発いたしました。当日お見送りの方々は、絹川365区ガバナー、塚本直前ガバナー、不破、奥村両地区委員長、大阪RC菊地会長、古市会員、和歌山RC広田会員その他多数の方々でありました。

■前半年ロータリー財団寄付額

日本は全世界の三分の一

本年度前半期(1970.12.31まで)にロータリー財団が受けた寄付額は929,704ドルで、ロータリー1人あたり1ドル37セントに当たって

ます。これは昨年度同期間にくらべて34.9%の増加を示しました。

地域別にすればアジアが断然トップを占めて356,512ドル、1人あたり4.59ドルです。アジア地域には36の地区があるが、そのうち、日本が17地区で、その合計寄付額が313,370ドルにのぼって全世界の3分の1を占めております。日本のロータリー5万人で割ると、1人あたり6.26ドルとなります。日本の各地区別寄付額は下記のとおりです。

地区	寄付額	1人当たり	地区%
350	4,023ドル	2.34ドル	
351	11,273	5.22	
352	9,280	3.07	100
353	7,947	2.40	100
355	19,230	4.55	100
357	12,708	3.74	100
358	88,767	22.39	100
359	61,827	16.15	100
360	12,235	3.84	100
361	17,217	6.07	100
365	10,196	5.03	200
366	17,550	5.75	200
367	5,154	2.94	100
368	9,331	5.08	100
369	8,476	2.65	100
370	11,973	4.63	100
373	6,181	2.66	100

(注) 前半期といってもアメリカ、カナダ以外の各地域は集計の都合により11月30日までの数字となっています。

■公式訪問及びI.C.G.F.予定表

公式訪問 (尾形次期ガバナー)

7月14日(水) 粉 河	22日(木) 箕 面
15日(木) 有 田	23日(金) 寝屋川
16日(金) 御 坊	26日(月) 大阪柏原
17日(土) 白 浜	28日(水) 海 南
20日(火) 大阪西北	29日(木) 門 真
21日(水) 大阪西南	30日(金) 和歌山南

8月2日(月) 大阪東淀 17日(火) 大 東
 3日(火) 大阪阪南 18日(水) 八 尾
 4日(水) 守 口 19日(木) 富田林
 6日(金) 那智勝浦 24日(火) 貝 塚
 10日(火) 松 原 25日(水) 岸和田
 11日(水) 東大阪 26日(木) 堺東南
 12日(木) 高 槻 28日(土) 大阪天満橋
 13日(金) 大阪住吉 31日(火) 豊 中
 16日(月) 大阪西

9月1日(水) 大阪北 16日(木) 大阪東
 2日(木) 枚 岡 21日(火) 和歌山
 7日(火) 枚 方 22日(水) 和 泉
 8日(水) 茨 木 23日(木) 和歌山東
 9日(木) 吹 田 24日(金) 泉大津
 10日(金) 大阪淀川 29日(水) 新 宮
 13日(月) 堺 南 30日(木) 田 辺
 14日(火) 高 石

10月1日(金) 攝 津 15日(金) 河内長野
 7日(木) 堺 21日(木) 豊中南
 8日(金) 大 阪 22日(金) 大阪城南
 9日(土) 池 田 23日(土) 大阪心斎橋
 12日(火) 大阪南 28日(木) 橋 本
 14日(木) 泉佐野

11月6日(土) 和歌山東南

I.C.G.F.

(インターシティー・ゼネラル・フォーラム)

第1組(8月7日一土)

新宮(ホスト)、那智勝浦、白浜、田辺、御坊
 (以上5RC)

第2組(8月21日一土)

有田(ホスト)、海南、和歌山、和歌山東、和歌山南、粉河、橋本、和歌山東南(以上8RC)

第3組(9月4日一土)

岸和田(ホスト)、泉大津、貝塚、泉佐野、和泉、高石(以上6RC)

第4組(9月21日一土)

大阪南(ホスト)、堺、堺南、堺東南、大阪住吉、大阪西南、大阪阪南(以上7RC)

第5組(10月16日一土)

豊中(ホスト)、茨木、池田、箕面、豊中南、吹田、高槻、大阪北、攝津(以上9RC)

第6組(10月2日一土)

大阪東(ホスト)、大東、東大阪、枚岡、枚方門真、守口、寝屋川(以上8RC)

第7組(10月30日一土)

大阪(ホスト)、八尾、大阪柏原、河内長野、富田林、松原、大阪心斎橋(以上7RC)

第8組(11月13日一土)

大阪西(ホスト)、大阪西北、大阪城南、大阪天満橋、大阪淀川、大阪東淀(以上6RC)

今 月 の 御 注 意

◎国際大会への信認状

来る5月の国際大会に出席するため、4月19日出発される尾形ガバナーノミニーに寄託いたしますから、各クラブともお早めに、ガバナー事務所にお送り下さい。署名を忘れずに。紛失されたクラブに、再発行はできませんので悪しからず。

◎国際奉仕計画への登録

月信第8号に書きましたとおり、第706号パンフレットの計画への登録しめ切りは、4月15日ですから、必ず航空便で到着するよう、エバンストンへ送って下さい。

◎公式名簿資料の報告

3月中に行われた各クラブ役員の選挙の結果にもとずき、来年度公式名簿に登録する原稿を4月30日までに、RIへ送って下さい。

2 月 出 席 報 告

(Attendance Report for February)

順位	クラブ名	例会 数	会員 数	期初と の増減	出席率	前月 順	順位	クラブ名	例会 数	会員 数	期初と の増減	出席率	前月 順
1	大阪西南	4	63	+11	100.00	2	29	堺 東 南	3	33	+2	94.95	44
2	和 泉	4	60	+2	100.00	3	30	大 阪 西	4	95	+4	94.88	32
3	高 槻	3	55	+3	100.00	5	31	田 辺	3	67	+2	94.62	23
4	橋 本	3	55	—	100.00	4	32	大 東	4	34	—	94.18	10
5	河内長野	4	56	—	99.55	12	33	大 阪 南	4	152	+4	93.96	38
6	東 大 阪	4	59	+4	99.13	13	34	富 田 林	3	56	+3	93.94	36
7	大阪淀川	4	65	—5	98.84	8	35	海 南	4	57	+3	93.75	19
8	和歌山東	3	79	+8	98.70	16	36	大阪城南	4	44	+5	93.75	6
9	新 宮	4	56	+2	98.18	7	37	大阪住吉	4	73	+1	93.49	35
10	大阪天満橋	4	54	+4	98.15	24	38	大 阪 東	3	85	—2	93.11	37
11	粉 河	4	26	—2	98.08	27	39	吹 田	3	59	—	93.10	26
12	茨 木	4	54	+3	97.96	11	40	和歌山南	4	60	+5	92.88	40
13	箕 面	3	29	+1	97.70	15	41	大 阪 北	4	164	+7	92.78	46
14	枚 方	4	52	+3	97.60	41	42	大阪東淀	4	31	+31	92.74	31
15	和 歌 山	4	96	+3	97.25	20	43	枚 岡	3	41	—1	92.68	14
16	豊 中	4	52	—1	97.06	25	44	高 石	4	43	+1	92.44	33
17	泉 大 津	4	68	—3	97.01	9	45	八 尾	4	53	+3	92.41	47
18	堺 南	4	67	+2	97.00	21	46	守 口	4	52	+1	92.31	52
19	大阪阪南	4	50	+4	96.95	30	47	門 真	3	25	—	92.00	53
20	松 原	4	46	—2	96.74	17	48	大阪柏原	4	25	+4	91.88	48
21	泉 佐 野	3	57	+1	96.50	28	49	攝 津	4	29	+29	91.38	49
22	那智勝浦	4	34	—1	96.21	39	50	大 阪	4	293	—5	91.36	42
23	池 田	4	51	+2	96.08	34	51	豊 中 南	3	30	+2	91.11	54
24	岸 和 田	4	57	—2	95.98	18	52	白 浜	4	40	+4	90.92	45
25	有 田	3	49	—1	94.24	29	53	貝 塚	4	53	+7	90.10	50
26	御 坊	4	65	+5	95.17	1	54	寝 屋 川	4	25	+1	90.00	51
27	堺	3	116	+5	95.02	43	55	大阪心斎橋	4	28	+28	81.25	55
28	大阪西北	4	50	+12	95.00	22							
平均出席率					94.96%		合 計 205 3,368 +197 5,223.07						



ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 366 : GOVERNOR'S

Monthly Letter

第366区 ガバナー

井関 六楠

区内各会長及び幹事殿あて

月 信 (写)

GOVERNOR: HISAGUSU ISEKI

OFFICE: 和歌山市西江丁 内田ビル 3階

Uchita Bldg., Nishi-Migiwacho, Wakayama-shi

ADDRESS: P.O. BOX 5, WAKAYAMA

和歌山局 私書箱5号 640-91

TELEPHONE: 0734-22-0847

CABLE ADDRESS: INTEROTARY WAKAYAMA

第11号 (昭和46年5月1日 発行)

No. 11 May 1, 1971

《会長、幹事さんへ》

◎残るところ2カ月の任期

あなた方の任期も、余すところ2カ月で終了し、次の年度に移ります。このさい、あなた方のクラブが、“Bridge the Gaps”のためになしたことをレヴィユし、評価して見ませんか。目標は達成されたでしょうか。クラブや地域社会のニードをみたすに足る計画が実行されたでしょうか。これらの検討の諸結果は、次の年度におけるクラブの諸活動のあり方に大いに役立つことと思います。“Bridge the Gaps”の目標に向かって進歩を遂げたかどうかの検討としては、各委員長から委員会活動の結果の報告を求め、6月の例会に検討の総括表を提示したらいかがでしょうか。

次に、本年度始めて実施された世界社会奉仕日について、各クラブは、どんなプログラムを実行されたでしょうか。R I本部は、各クラブが行った世界社会奉仕日の活動について、4月

30日まで報告するように求めています。(4月のR Iニュースの中に印刷された報告様式を切抜いて用いること。)各クラブはR Iへの報告と同時に、ガバナー事務所へもコピーを送って下さい。

最後にもう一つ、申し上げたいことがあります。姉妹地区の韓国376区との組合せ一覧表が月信第7号の9～10頁にのております。先方の38のクラブにたいし、当地区の38のクラブから「ロータリーの友」を10部する計画は、着々進行しており、非常に喜ばれております。R Iの英語の文献よりも日本語の文献の方がよく判るので喜ばれるわけでしょう。「ロータリーの友」を10部まとめて包装し、郵便局で税関申告書に記入して手続すれば、普通便送料380円で届きます。各クラブとも、どうぞお忘れなきようにお願いいたします。なお別に日本語文献の贈呈につきましては、後の頁に詳しい提案がありますから、できるだけ御賛同賜わり実行して下さい。

《ナイジェリヤの宮崎医師第1信》

日本キリスト教海外医療協力会へ寄せられたナイジェリヤ派遣の宮崎亮氏の手紙をご紹介します。(月信第7号参照—366地区世界社会奉仕活動)

◎出発に際しビザがおくれたり、ビザのないまま出発したり、いろいろ御心配をおかけしました。しかし、ミリタリーパス(軍の通過証)は得られず、これがないと東部州に入れないことになっています、オポボは、ナイジェリアの人も「オポボは田舎なので」といやな顔をする程遠い所です。

前の2年間のナイジェリアの生活で慣れているはずなのですが、マーケットには肉も野菜もカンヅメもなく、キリスト教協議会の人達が必死になって、私達の家を作ってくれましたが、やっと動き出した発電機もストップ冷蔵庫もこわれてしまいました。一番困るのは水です。この家には全く水がないので毎日毎日自動車で貰い水です。これだけでも1時間も2時間もかかります。

ここでは自分達の健康を守るのがやっとの生活で、子供の教育や読書の時間は全くなき、手紙やレポートも2の次になってしまいます。今はこの辺でコレラがはやっています。イトングバング病院では、百人以上のコレラ患者が入院、うち5人以上が死亡という所に、点滴用の注射液も使い果してもう治療できないといっておりました。

◎昨日は、アイルランドから来ている神父さんが私の家までやって来て「ンゴ診療所の附近で260人のコレラ患者が死亡しました。手をかして下さい」と訴えております。このンゴ診療所は、大きな河をわたって行かなければなりません。カヌーで行きますと6時間はかかるそうです。来週はこの神父さんとノルウェーからの診

療チームの人たちとのり込むことになっています。

先日もブッシュの中にある診療所に行きましたら「コレラで1人死にました。5人はやっと病院に送りました」とのことで、コレラの恐怖におびえる群集が診療所をとりかこみ、何故コレラワクチンを持って来てくれなかったのだと、私たちに迫って来ました。診療をはじめると、医師が来た、薬がきた、と次から次に集って来る患者達をさばき切れず大混乱、逃げるようにして帰って来ました。

◎私の受持の区域は、ナイジェリアの南東部にあり、広大な密林の中に点在する村落で、この中の30数カ所に薬をはこび、診療するというのが仕事です。密林の中に迷い込み出られなくなったり、途中でガソリンが切れたり、こわれかけた橋をおっかなびっくりやっとなど渡ること数度。戦争で破壊された大きな橋があり、イカダがあって車をのせて対岸に行こうとすると急流に押し流されそうになってしまい、土民の支える一本の太い竹の棒でやっとなど窮地を脱しました。

その他にオポボ病院に小児科病棟を建設すること。近代的な臨床検査室及び小さな研究室を作ること、更にレントゲン室、特に結核対策のための集団検診の基地を作ること。また新しい手術室を作ること。

雅、祥子も元気です。昨日は川からとれた大きな魚をたべました。コレラ菌で汚染されているかも知れませんがテラマイシンをのませました。12時間たった今、まだ下痢はありません。感染はしなかったことと思います。現在までに、この受持地域の31カ所を訪れ、価格にして1,000万円以上に及ぶ薬を配りました。

患者数は1週約2,000人(大部分の診療所は薬も医療品もないので開店休業ですが)、将来は

8,000人以上になる見込です。

この他に、らいセンターがあります。ここには300人のらい患者が集っておりますが、アメリカのらいミッションのハッセルブラット博士の調査によると、らい患者は東南部州だけで5,000人はおり、私共の援助を待っているとのこと。広大な地域で、とほうもなく多い患者達を前にしてただぼうぜんとしているのみです。

《米山奨学生あれこれ》

◎新学年度奨学生120名

昭和46学年度における米山奨学生は120名と、予定を超過しての多数に上った。収入予算にぎりぎりに見合う員数である。

こうした多数に上った理由の第一は、全国で応募者が218名という未曾有の数字を示したことで、米山奨学金に対する要望が如何に大きいかを物語るものである。これに対して新規採用の余地は、当初の枠を拡大したにかかわらず51名、全国平均で42人に1人という競争率であった。東京では7人に1人という激戦であった。その結果として、予算さえあれば当然採用したかった人を、余りにも多く不合格とせざるを得なかったことを残念とも、また申しわけないとも考えている。

期間延長者、新規採用者の中には、6カ月ないし1年という短期奨学生も相当数あり、これが全体の員数の大巾増加を来した理由の1つで健全財政の面からこの奨学生数の維持は、寄付の増大以外は考えられない。

奨学生を国別に、員数の多いところから示すと次のとおりである。かつて内は前年比増減を示す。

中華民国 72(+1)、大韓民国 20(+8)、マレーシア 8(+1)、ベトナム 5(+4)、パ

キスタン 4(+2)、ホンコン 3(+1)、インドネシア 2(+1)、インド 2(+1)、タイ 2(0)、ブラジル 1(+1)、ラオス 1(+1)、ビルマ 1(+1)

◎366区関係奨学生氏名

黄明聡(中国)阪大博士課程1年(電子工学)
李辛祥(中国)阪大博士課程3年(教育学)
梁逸(中国)大阪府大博士課程2年(農芸化学)
王万雄(中国)大阪市大修士課程1年(建築構造学)
呉光新(香港)阪大医学部3年(医学)
楊啓東(中国)大阪府大博士課程3年(農芸化学)

◎米山カウンセラー制度の発足

去る2月26日開催の理事会において米山カウンセラー制度の制定が決定した。米山カウンセラーは、ロータリー財団のロータリアン・カウンセラーに類するもので、奨学生の個人的世話をお願いする方々である。

米山奨学生の希望は、できるだけ多くのロータリー会員と、できるだけ多くの懇談の機会を持ちたいということである。そのために世話クラブ内の会員にも紹介を願いたい。多くの世話クラブでは、世話を願う会員が、必ず奨学生とテーブルを共にして、話相手にもなるし、他の会員にも紹介の労をとっておられる。同じ意味で他クラブの例会に出席する機会を与えていただきたい。米山カウンセラーは、国際奉仕委員長といった役職よりも、会員中の適任者をお願いしたいというのが奨学会の希望である。

◎昭和47学年度奨学生募集

昭和47学年度の奨学生募集は、本年9月1日に開始し、11月15日にしめ切る予定である。

募集開始がはやめられたと同時に、しめきりが従来の12月10日から1カ月程早くなることに

今から御注意願いたい。

また、期間延長の申請は、原則として11月末まで提出を必要とする。応募資格の中に、日本で勉強するため「来日」した者が加えられたことも新しい。更に、札幌、仙台、京浜葉、名古屋、京阪神、北九州の諸地区では、学部在學生を募集しない予定である。

◎非世話クラブにお願い

世話クラブには、米山奨學生が配属されており、直接の接触によって実体を知っていただけるが、世話クラブでない大多数のクラブでは、仲々そうした機会はない。

ロータリー財団奨學生の方が更に縁遠いものなのだが、100名余の米山奨學生を持ちながらロータリークラブとの接触がなお不充分であることは残念である。

世話クラブでないクラブが、機会を見て米山奨學生を招待して下さったならば、彼らの喜びがいかにばかりか計り知れないものがある。同時に日本のロータリーが誇りにしているこの国際事業について認識を深めていただければ。御希望の向きは、奨学会に御連絡願いたい。

なお、本年度上半期の普通寄付は、
¥24,529,232に達し、前期より¥1,386,477増加した。(以上、米山奨学会機関誌より転載)

事務総長書簡より

◎地区内における広報活動

地区内におけるロータリー広報活動に関し、各地区ガバナー並びにその地区広報委員長は、彼らの広報活動並びにその成果が、国際ロータリー出版物に、ニュース或いは特集記事として取材されるよう、各地区における広報活動についての情報を、事務局に提出されることを理事会は奨励いたします。

◎インターアクト並びにロータリーアクトクラブの数地区連合集会に関する方針声明

理事会は、インターアクトに関する方針声明書の第21項ハの部分の次のように改正いたしました。

1地区以上、特に1カ国以上にわたる数地区からのインターアクトクラブ会員の集会は、そのような会合がホストロータリー地区のガバナー並びにインターアクト委員会の指導のもとに1名以上の地区委員の出席を得て、またホスト地区のインターアクトガバナー並びに各インターアクトクラブ会長の協力のもとに、更には国際ロータリー理事会の承認を得ることを条件として開催される場合、実行可能な限り、それを奨励するものである。

理事会は、同様にロータリーアクトに関する方針声明書の第19項ハの部分の改正し、上掲のインターアクトに関する条文中、インターアクトの字句を、ロータリーアクトに書き替えたものを採択いたしました。これらに加え、理事会はインターアクト並びにロータリーアクトクラブの数地区連合集会開催についての許可申請に添付すべき書類についても決議いたしました。(詳細は、ガバナー事務所へお問合せ下さい)

◎国際ロータリー事務局への訪問

国際ロータリー事務局を訪問して、その機構を知り、そしてどのように運営されているかを実際に御覧になられますことは、ロータリアンならば、どなたにとっても有益な経験となるものであります。そして皆様の本部への御来訪はいつでも歓迎されます。殊に次期地区ガバナーの方々が国際協議会への行きしな、或いは帰途、米国イリノイ州シカゴ市を通過される場合に、国際ロータリー事務局へもお立寄り下さいますことが奨励されております。

国際ロータリーの本部は、シカゴ市の中央繁

華街の北、約12マイルのところに所在し、オヘア国際空港の北東、約15マイルの処にあります。またシカゴから事務局のあるエバンストンへは電車も走っており、他の交通の便も利用できます。執務時間は、月曜日から金曜日まで午前8時30分から、午後4時45分までです。

◎ロータリーの襟章を着用すること

ロータリーのエムブレム(記章)は、ロータリアンを識別する独特の象徴であります。全ロータリアンは、ロータリーの襟章を着用し、或いは記章を展示する特権を有します。貴地区内の各クラブ会長に対し、ロータリーの襟章を着用し、ロータリー綱領や4つのテストの額を掲示して、ロータリーのエムブレムを展示することを奨励するように、御要請願います。

◎クラブ活動の調査に協力要請

各クラブにおける活動、特に“Bridge the Gaps”というR I会長プログラムにこたえての活動について、情報収集のため企画された調査書が、R Iニュース4月号と共に全クラブへ送付されています。この調査書は、遅延なく中央事務局へ返送されることが要望されております。これによって収集される情報は、世界中のRCでの活用に備えて作成される文献資料の編集に有益な参考資料となるのです。

◎ローターアクト第3周年を迎える

1971年3月をもって、ローターアクトは第3周年を迎えた。3月2日現在、47カ国の163地区に820のローターアクトクラブが結成された。

■1972年規定審議会への地区代表選挙

来年ヒューストンで行われる大会における規定審議会への各地区代表1名及び代表代理1名は、地区年次大会で選出されるべきであります

が、当366区では、すでに3月上旬地区大会を終りましたので、R I理事会の承認を得て、郵便投票をもって行うこととなりました。

つきましては、すでに別信をもって各クラブ会長にご依頼申し上げましたとおり、来る5月10日までに、賛否何れかの御投票をお願い申し上げます。候補者は次のとおり。

地区代表候補者 塚本義隆(直前ガバナー)

代表代理候補者 大谷一雄(ガバナーノミニー)

■ロータリー財団寄付額平均610%

本年3月31日までの地区内各クラブからロータリー財団への本年度寄付額は38,218ドルに達しました。会員1人あたり12ドル52セントです。また、最初よりの寄付累計額は186,843ドルで、会員1人当たり61ドルとなります。平均610パーセントというわけです。各クラブの寄付額パーセントは次表のとおりで、*印は3月に達成した新パーセンテージを示す。

%	クラブ数	クラブ名
200	4	門真、箕面、寝屋川、 *大阪柏原
300	11	御坊、橋本、枚方、粉河、大阪阪南、大阪城南、新宮、吹田、高石、富田林、豊中南
400	11	枚岡、泉大津、海南、貝塚、岸和田、松原、*大阪西北、*大阪淀川、*堺東南、白浜、高槻
500	13	有田、池田、泉佐野、河内長野、守口、大阪南、*大阪西南、*大阪住吉、*大阪天満橋、大阪西、田辺、豊中、*八尾
600	3	東大阪、和泉、*和歌山
700	1	大阪北
800	4	大東、茨木、大阪、和歌山東

900	1	堺南
1.000	2	那智勝浦、大阪東
1.200	1	堺
1.400	1	*和歌山南

■第345地区大会へ代表団参加

3月13～14日、台湾台北市において第345地区年次大会が開かれ、塚本直前ガバナーを団長として当地区および第365区の7クラブから22人のロータリアン及び家族が、これに参加しました。これは昨年2月の京都におけるわが地区大会へ台湾から22人の代表者が出席していただいたので、その答礼の意味からであります。

第345区は台湾43、香港7、マカオ1を合わせ51クラブ、2,173人の会員がありますが、大会参加登録数は1,174人でありました。第1日(土)は台北市郊外の陽明山にある中山楼という豪華な国立会議場で、開幕式があり、ガバナー Calvin C. Chang(張長昌)の司会のもとに、蔽副総統兼行政院長の記念講演と R I 会長代理 M. A. T. Caparas (フィリピン)のメッセージがありました。次いで塚本直前ガバナーが海外から参加のロータリアンを代表して、祝辞と昨年の京都地区大会および日本万国博ロータリー会合への多数参加に対する謝辞を述べました。

午後の本会議は台北市内の三軍軍官倶楽部へ会場を移し、孫経済部長から、台湾経済の発展状況についてスライド映写つきで、詳細な解説的講演があり、また、部門別討議が本会議場で全員参加により、順番に行なわれました。国際奉仕部門で塚本直前ガバナーから、国際理解増進のために第345地区との青少年交換の試案を述べ、賛成の大拍手がありました。

第2日(日)は会場をさらに豪華酒店 (Hoover Restaurant)に移して会議が続行されたが、いずれの会場でも開会前および会議中に十数種に及ぶソングの練習や合唱がたびたびあって、会

場をなごやかにする努力がなされたこと、また晩さん会でも一切アルコール抜きであったことが特に注目を引きました。

■韓国376地区大会(大邱)

4月3～4日両日、韓国大邱市における第376地区年次大会へ、塚本直前ガバナー、中村増蔵(和歌山)、山口格太郎(大阪)の3君が、当地区を代表して出席しました。376区と366区は、昨年7月以来姉妹関係を結んだので、友好親善のため参加したわけですが、また大阪西南 R C からは、会長、幹事のほか夫人3人を含む20人、これは、北釜山 R C と姉妹結縁関係のためですが、それに台湾の各地から12人が参加されました。

塚本直前ガバナーは同大会でのあいさつの中で、朴正寛次期ガバナー及び申宰淳、大邱 R C 副会長が、3月の和歌山の大会へ臨席されたことを感謝し、また昨夏、当地区インターアクト学生15名を派遣の際、親切に迎え入れてくれたことに対しても、謝意を表しました。黄竜雲 376地区ガバナーは当地区から代表3人の列席を喜び大歓迎すると共に、大会決議第5号をもって、第366地区内のクラブから「ロータリーの友」をはじめロータリー日本語文献を376地区の各クラブへ送付してくれて、クラブ活動に大いに役立っていることに対し、井関ガバナー及び塚本直前ガバナーに感謝することを満場拍手で決議されました。

なお、韓国におけるロータリーはますます発展して、本年7月1日からは新に第377地区が誕生(全羅南北道)3地区となり、現在クラブ総数は109に達しています。第376地区大会は大邱市の寿城観光ホテルで開かれ、350人が参加、R I 会長代理としてタイ国バンコック市のドンブリ R C 出身元ガバナー Bhichai Rattakul 夫妻が臨席しました。

■大阪住吉RC創立10周年記念式

4月9日(金)大阪ロイヤルホテルにおいて、簡素ながら厳粛に催された。出席者は、来賓14名、会員62名、家族その他24名、計100名。

同クラブは、昭和36年2月14日、大阪及び大阪南スポンサークラブ、故中野ガバナー、森、松島特別代表の並々な御努力によって創立されたが、その後順調な成長を続け、昭和44年6月には、大阪阪南クラブを創設するほどの非常に充実したクラブに発展した。

式典は、井関ガバナーの祝辞、森、松島特別代表の生みの思い出話、記念事業「ロータリーの森、長居公園への植樹」、「ロータリー財団寄付600%の達成」についての報告、10カ年間皆出席者4名の表彰があり、祝賀会は、舞踊、奇術、音楽ショーの余興とともに、終始和やかに進められ、18時30分盛會裏に解散した。

■攝津RC認証状伝達式

吹田RCをスポンサークラブとして誕生した攝津クラブ認証状伝達式は、暖かい日ざしの中、3月20日午後2時より、大阪市日本綿業会館本館6階において挙行された。

来賓として井関ガバナー、塚本直前ガバナー、365区網川ガバナー、井上攝津市長等を迎え、遠く高知西RCの4名始め、各RCから213名の参加を得、攝津RC全会員及び会員夫人合せて269名にて厳粛かつ和やかに挙行された。

細谷特別代表の開会の辞に始まり、国歌斉唱、ソング奉仕の理想、来賓参加クラブ紹介の後、特別代表より結成の経過報告があり、攝津RCは、胎動36カ月の難産であったが、人口6万の攝津市に、昨年9月26日、22名で結成され本年1月9名の新会員ができて現在会員30名、くしくも明治、大正、昭和生れが各10名、平均年齢50才の若いクラブである等の苦心談があっ

た。

認証状は、振袖娘のかい添えで、井関ガバナーから北本新クラブ会長に伝達された。

北本会長のあいさつ、会員家族の紹介、ロータリー財団、攝津市への寄付金贈呈、来賓祝辞、記念品贈呈、祝電披露後、ソングそれぞれロータリー、閉会の辞をもって万雷の拍手のうちに式典を終了した。引続き木崎国嘉氏の記念講演「永遠の青春」を聞き、パーティーに移り、くりひろげられる余興をバックに歓談し、盛會のうちに終わった。

■公式訪問及びI.C.G.F.予定表

(変更と訂正)

月信前号掲載の予定日程のうち、1部が第365区年次大会(10月15~17日)と重なりますので、下記のとおり変更いたします。(尾形次期ガバナー)

公 式 訪 問

- ・9月24日(金)泉大津は、9月17日(金)に繰上げ
- ・10月9日(土)池田は、9月25日(土)に繰上げ
- ・10月15日(金)河内長野は、10月29日(金)に繰下げ

I.C.G.F.は次のように訂正します。

- ・第4組(9月18日一土)クラブ名は変更なし
- ・第5組(10月2日一土)
大阪東(ホスト)、大東、東大阪、枚岡、枚方、門真、守口、寝屋川(以上8RC)
- ・第6組(10月9日一土)
豊中(ホスト)、茨木、池田、箕面、豊中南、吹田、高槻、大阪北、攝津(以上9RC)

■6月の地区協議会一新年度役員のため

- ・7月1日からの新年度の各クラブ会長、幹事及び各部門指導者を対象として、次のとおり地区協議会が開催されます。
- ・6月12日(土)9時～16時、新大阪ホテル
- ・出席要請される人は、次の8名です。会長、幹事、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、各部門担当理事又は委員長、会報編集者、並びにロータリー財団委員会委員長。
- ・参加者は、それぞれ「クラブ会長必携」、「クラブ幹事要覧」、「委員会資料」等、各部門の参考資料を通読し、御研究の上、参加して下さい。
- ・この地区協議会には、指名参加者全員の出席参加が要請されていますので、会長、幹事は特にこの点を強調、御伝達下さるようお願いいたします。

■和歌山東クラブ会長の異動

和歌山東RC会長、小笠原紀三九君が、4月2日、病あたらたまり逝去されたことに對し、謹んで弔意を表します。

その後、石井純治君が会長に就任され、副会長には、玉置恵三君が就任されました。

■和歌山東南クラブ認証

2月20日、創立総会が開催され、新しく設立された和歌山の4つ目のクラブ、和歌山東南クラブは、4月14日付、RIから認証されました。おめでとうございます。例会は、毎土曜日、和歌山県農協会館で行われています。事務所は、経済センター内です。

■韓国姉妹地区へ日本語文献を

韓国376地区大会へ出席された塚本直前 ガバナーの御報告によれば、同地区各クラブは、R

Iから送付される英語のロータリー文献だけの現状では不十分であり、日本語文献を渴望しておられるとのこと。塚本直前ガバナーの御提案は、各クラブが相手クラブに対し、東京文献事務所の目録を送付し、必要なものに印をつけて送り返してもらい、それを贈呈することにしたら如何、というものです。御協力のほどをお願いいたします。

◎ロータリーの現況

3月5日現在(149カ国、地域)

RC、14,660クラブ

会員、694,000名

7月以降新設RC、311クラブ(44国)

■マクロウリン元RI会長の災難

「貴君がロータリーだ！」という有名な警句を残したのは 東京世界大会当時の RI 会長 J. Edd McLaughlin、その彼が昨年10月30日テキサス州Rallsにある自宅が全焼し、会長時代に方々からもらった記念品まですっかり灰になった、というニュースがアメリカのあるクラブ週報に掲載されていました。お見舞状を出したところ、3月5日付で私あてに返信があり、いわく「私が宝物のように大切にしていた多数の記念品はじめ、すべてを失いました。しかし私も妻 Pearleも幸い怪我はありませんでした。再び元のアパートメントで住めるようになり、感謝しています。今も東京の世界大会をしばしば思い起し、美しい日本での楽しい日をおぼえています」

(塚本義隆)

3 月 出 席 報 告

(Attendance Report for March)

順位	クラブ名	例会 数	会員 数	期初と の増減	出席率	前月 順
1	和 泉	5	60	+2	100.00	2
2	橋 本	4	56	+1	100.00	4
3	高 槻	4	55	+3	100.00	3
4	粉 河	5	27	-1	100.00	11
5	大阪西南	5	68	+16	99.68	1
6	河内長野	4	56	—	99.55	5
7	大阪淀川	4	64	-6	98.81	7
8	大阪阪南	5	50	+4	98.80	19
9	堺 南	5	68	+3	98.49	18
10	茨 木	5	52	+1	98.34	12
11	和 歌 山	5	98	+5	98.00	15
12	和歌山東	4	77	+6	97.67	8
13	泉大津	4	71	—	97.47	17
14	有 田	4	49	-1	97.45	25
15	箕 面	4	28	—	97.35	13
16	大阪天満橋	4	58	+8	96.99	10
17	堺 東 南	4	33	+2	96.97	29
18	泉 佐 野	4	57	+1	96.93	21
19	高 石	5	42	—	96.67	44
20	豊 中	5	54	+1	96.60	16
21	海 南	5	57	+3	96.43	35
22	松 原	5	50	+2	96.40	20
23	那智勝浦	4	34	-1	96.21	22
24	大 阪 南	5	155	+7	96.18	33
25	東 大 阪	5	60	+5	96.16	6
26	池 田	4	51	+2	96.08	23
27	堺	4	113	+2	96.00	27
28	攝 津	4	30	+30	95.81	49
29	大 阪 西	5	94	+3	95.70	30
30	枚 方	5	51	+2	95.69	14
31	大阪城南	4	47	+8	95.56	36
平均出席率					95.23%	
32	新 宮	5	55	+1	95.19	9
33	大 阪 東	4	86	-1	95.16	38
34	田 辺	4	67	+2	95.16	31
35	御 坊	4	64	+4	94.36	26
36	貝 塚	5	53	+7	94.34	53
37	大阪住吉	4	73	+1	94.18	37
38	富 田 林	4	54	+1	93.98	34
39	枚 岡	4	40	-2	93.84	43
40	岸 和 田	5	58	-1	93.79	24
41	白 浜	4	39	+3	93.62	52
42	大阪柏原	5	25	+4	93.60	48
43	大 阪 北	5	165	+8	93.20	41
44	和歌山南	4	60	+5	92.80	40
45	大阪西北	5	50	+12	92.40	28
46	大阪東淀	5	30	+30	92.00	42
47	守 口	5	52	+1	91.92	46
48	大 東	5	34	—	91.77	32
49	八 尾	5	53	+3	91.20	45
50	吹 田	4	59	—	90.95	39
51	大 阪	4	293	-5	90.44	50
52	寝屋川	4	25	+1	90.00	54
53	門 真	4	25	—	89.00	47
54	豊 中 南	4	31	+3	88.71	51
55	大阪心斎橋	4	29	+29	84.24	55
合 計		245	3,385	+214	5,237.84	



ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 366 : GOVERNOR'S

Monthly Letter

第366区 ガバナー

井関久楠

区内各会長及び幹事殿あて

月 信 (写)

GOVERNOR: HISAGUSU ISEKI

OFFICE: 和歌山市西汀丁 内田ビル 3階

Uchita Bldg., Nishi-Migiwacho, Wakayama-shi

ADDRESS: P.O. BOX 5, WAKAYAMA

和歌山局 私書箱5号 640-91

TELEPHONE: 0734-22-0847

CABLE ADDRESS: INTEROTARY WAKAYAMA

第12号 (昭和46年6月1日 発行)

No. 12 June 1, 1971

＜6月の行事と新年度への準備＞

◎6月12日(土) 地区協議会

新年度のクラブ主要役員理事等が、新年度における活動に備えるための準備訓練を受けるため、国際協議会で新しくR I次期会長からその年度方針を聞き、ガバナーとしての準備体制を整えた次期ガバナーの御帰国を待って、第366地区協議会が、6月12日、9時から新大阪ホテルにおいて開催されます。出席義務者は、次期の会長、幹事、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、それぞれの部門担当理事又は委員長、会報編集者、並びにロータリー財団委員会委員長の8名です。

◎新年度への準備目標

新年度開始の7月1日以後、できるだけ早い機会にクラブ協議会を開き、新年度のプログラムを審議し決定して下さい。そのためには、クラブの能力にふさわしい、よくバランスのとれた活動のプログラムを遂行するようにし、適当

な実行力を確保できる活動計画を選び出すことまたR I会長のテーマを実行できるように配慮することが必要です。

できるだけ早く委員会の組織をきめ、できるだけ多くの会員を、委員会の部署に割当てること、第1回クラブ協議会には、委員会の計画について報告を求めるようにすることが必要と存じます。

ロータリー情報に力を入れて下さい。毎週の例会に提供される主題のバランスを考え、プログラム委員会とロータリー情報委員会との相互協力を得て、実施して下さい。

クラブの全会員が、ひとりひとり、クラブの活動に関心を持ち、進んで参加させるように仕向けるにはどうしたらよいか、よく考えて下さい。

事務総長書簡より

◎新年度への提案

各クラブは、1971～72年度に入ってからできる限り早目に、おそくとも、8月31日までは完了するように、職業分類に関する調査を行い、各クラブの充填及び未充填職業分類一覧表を現状に則して改訂しなければなりません。

会員間の親睦を深め、ロータリー情報の普及特に新入会員へのロータリー情報の普及をはかるために、炉辺会合を行なうことを各クラブへ提案して下さい。クラブの中には、ロータリー奉仕の各部門別にクラブ・フォーラムを開く方を好むクラブもあります。また地区内のクラブ又はロータリアンで、表彰された方がある場合には、各クラブの会報にもそれを掲載することを勧めて下さい。

◎新しい国際親睦活動のグループ

R I 理事会は、娯楽や趣味、副業或いは職業にて共通した関心を有するロータリアン同志が非公式なグループを作ってお互いに知己親睦を深め合うことを奨励いたしております。現在すでにゴルフ、ヨット、飛行機操縦、キャラバン隊旅行、狩猟、魚釣り、アマチュア・ラジオなどの親睦活動グループができております。そして新らしくその他のグループもできつつあります。その新しい活動グループと加入する関心のある会員の方々が連絡する先のロータリアンの氏名と住所を下に列記しておきましたので御承知下さい。

(写真) Frederick B. Fitts; 47 Nelson Street, Framingham, Massachusetts 01701, U.S.A.

(鉄道) Edward P. Fitch; 9 Sherman Street, Nashua, New Hampshire 03060, U.S.A.

(ブリッジートランプ) Gerald Essig; 145 Commack Road, Commack, New York 11725, U.S.A.

(カーリング氷上遊戯) T. Audrey Legge; 215 Wolseley Avenue, Montreal West 263, Quebec, Canada

(乗馬) Elton Weeks; Route 4, Box 735, Coffeyville, Kansas 67457, U.S.A.

◎インターアクト及びローターアクトの数地区合同集会には理事会の承認が必要

先般行われた方針の改正のうち重要な変更の1つは、インターアクト又はローターアクト・クラブの数地区合同集会を行なう場合に、国際ロータリー理事会の承認を要する点です。これはそのような集会を制約するためではなく、一定の指針のもとに奨励するためなのであります。その理由は、そのような会合は、ロータリー並びに当該インターアクト又はローターアクト・クラブの体面にかかわるものだからであり、よってその期日、場所、目的、プログラム、参加者、予算、責任保険、そしてその集会がロータリアンの直接監督のもとに行なわれるという確認書などを含む承認申請書類をもって理事会の承認を求めなければなりません。

■第2回合同地区委員会報告

4月17日(土)午前10時から、新大阪ホテル3階において、井関ガバナー司会のもとに本年度第2回目の合同地区委員会が開催され、19の各種委員会から50数名の多数の方々が参集して議事が進められました。以下その大要をご報告いたします。

先ず井関ガバナーから、7月の第1回合同委員会から約10か月を経過したが、2か月で補いをつけるという意味と、計画が実行できなくても、発表してもらえば、今後実行できるというつもりで発表願いたい。また慣例により、今日の発表を基礎にして報告書を送っていただい

報告書を作りたいと思っているとのあいさつがありました。次いで4月19日レークプラシッドに向けて出発される尾形ガバナーノミニーに、せん別の贈呈があり、これに対する謝辞があって、各部門別報告に移りました。

●社会奉仕部門（森委員長）

本年の計画は、公害問題を取り上げたわけでロータリアンとしては自らが公害を出す原因を作らないという見地から検討し、その後委員の数もふやし、月信にも報告をのせた。

●職業奉仕部門（富久委員長）

すでに刊行した「社は社訓集」を作り、約400の社は、家憲等を集め、その中から50をまとめることができた。5,000部作成して、印刷費は約8万円であった。

●拡大部門（松島委員長）

53クラブでスタートしたが、攝津、大阪心斎橋、和歌山東南の3クラブができた。準備中のものの内、空港中心の豊中西南は、その後豊中だけのスポンサーでやる事になった。その他、豊中北、堺東部、堺西、藤井寺、河内、泉南、四条畷、串本などが今後有望と思われる。

●会員拡大職業分類（箕田委員長）

純増を10%に目標をおく。新会員は人物本位、若い人を入れるようにする。クラブの活動に参画するようにする。職業分類一覧表を8月末までに作成するようにする。会員増強は2月末で3,368名、+197名ということになっているが、新クラブ75名を差引くと122名となり、心さみしい感じがする。

●広報（八反田委員長）

本年は日本ロータリー50年、366区誕生の年に当り、万国博もあって、積極的に計画したが、昨今の情報過剰時代の影響きびしく、マスコミで受付けてくれない。委員会活動の努力も反省し広報活動に新たな活路を求めなくてはならない

と思っている。

●財団奨学会（小中委員長）

奨学生の割当追加が2名あって、合計3名となった。9月中旬、関西の12の主な大学の学生課あてPRの意味でパンフレットを送った。各クラブにも送り、月信にも掲載して、一応申込が17件あったが、その後6名が手続したのみである。4月30日に学生の選考を行う。

●研究グループ交換（奥村委員長）

昨年は西豪州から受入れ、本年は、6名の若い人を先方に送っている。非常に親切に扱われているとの便りがあった。国際理解親善のためよい事なので、将来どうするか、ガバナー事務所から各クラブにアンケートをとった。55クラブ中、賛成43、反対7、不明5。RIでは、5週間、団長共6名という方針である。英語を使う国ということでカナダを指定したい。

●財団推進（若月委員長）

366区が出来て最初の年であるから、しっかりやらなくてはならぬということでやった。クラブ平均は600%を超え、フェロー8名、準フェローも相当いる。ただ最近まで100%地区だったので、再三100%のクラブの幹事をお願いして200%となった。一安心している所へ塚本直前ガバナーから300%にしたいというお手紙をいただいた。

●財団学友（浜 委員）

11月21日、学友会懇談会を開き、学友から、日本の実情をよく把握して留学することが必要だということ、地理と語学を研究して行く必要があるとの意見をきいた。また今後自主的に集って行こうという申しせをした。

●On To Sydney（岡委員長）

8月7日委員会を開き、富士海外旅行、交通公社の外に、地区内の者が行きやすいように地区内のエージェントにも依頼した。大阪、大阪

天満橋、有田では、クラブ内でグループを作って行くことになっている。

●青少年交換歓待（世戸委員長）

昨年からアメリカ、オーストラリアに拡大し各地区の委員長に手紙を出し、アンケートをとった結果、13名の学生をうけ入れて、当方から9名の男女を交換学生として派遣した。原則として、夏期の短期交換を中心として(高校生)、長期1年間の交換も行っている。全体としてこちらへ来た学生にサービスがよすぎる、もう少しオーバーケアにならない方がよいという意見が出ている。

●インターアクト（宮本委員長）

万国博での交歓会、韓国訪問旅行により、インターアクトに魅力を与えるようになった。万国博奉仕活動があってクラブ員が少しふえた。最近東京地区の顧問、生徒と懇談したが、最低40万～80万という予算をとっているクラブがあった。366区では、クラブをふやすことがねらいであり、近く高石で1つ生れようとしている。

●青少年活動（中西、松本委員）

本年は、ボーイスカウトの第13回世界ジャンボリーが、8月2日から10日まで、富士山ろく朝霧高原で開催される。地区内各クラブから年間1,000円の協力を得て、合計2,868,000円を送金している。

●ロータリーの友地区委員（今井委員）

最近のロータリーの友が非常によくになっている。年5回の委員会の内すでに4回を終り、各部門別にとりあげ、ロータリーの本質にふれる事柄をとりあげている。クラブ細則に「ロータリーの友」を入れるように取り計らい願いたい。また全国会員名簿の原稿のメ切期日の厳守を願いたい。

●ロータリーの友専門委員（原委員）

委員会は隔月にやっている。縦組、横組の併

用は、最近のアメリカの流行である。収支は、55,700部で、1冊139.01円に対し広告料が32.07円入るので、差引106.94円が原価である。発行部数を多くすれば単価も下がる。会員数をふやすことが目標となってくる。

●地区資金（山中地区会計）

4月15日現在の366区地区資金中間収支報告があり、収入の部8,882,275円、支出の部6,013,569円、差引残高2,868,706円、それぞれの内訳にわたって説明があった。

ガバナー事務所経費について、井関ガバナーから大略次のような説明があった。

366区では、約400万円は必要だが、R Iから84万円しか送って来ないので、残りはホストクラブが負担するのが前例となっている。小さいクラブからガバナーが出るときは問題だ。また地区資金の中から出すことは筋道がとおらないが、地区資金を集める時に、各クラブから多少負担をしていただくことがいいのではないかとの意見が全国のガバナー会議で出ている。365区では、福井大会で各会員年額2,000円を負担しようということになった。いずれこのことは地区協議会の時、会長幹事の部会で発表し研究してもらうことにしたい。

●ローターアクト（古市委員長）

現在6クラブあるが、これを10クラブに拡大したい。年令の問題が、18才～28才に拡張されたので、今後は相当の程度まで行くのではないかと思っている。地区協議会を、366区と合同して、6月20日にやることになった。30万円の予算で、大阪ローターアクトクラブの当番で行われる。

●世界社会奉仕（原田委員長）

5年前にこのプロジェクトが出来て以来、ますます重要性を増して、ウォーク会長も特にこれを取り上げた。165万円の配分は、100万円を

海外医療協力会に、35万円を沖縄救災事業に30万円を韓国慈行会に贈呈した。また東パキスタン風水害寄付はWCSとしてでなく贈ったが齋木P.G.の現地視察の結果、永久的避難所の建設が最もよいということになり、365区、366区、367区、368区の4人のガバナーが委員となり、これに齋木P.G.が加わって5人できめることとなった。(東パキスタン避難所建設委員会一委員長は絹川ガバナー)

●指名(塚本委員長)

大谷ガバナーノミニー指名の件について報告の後、ガバナー事務所経費の問題にふれ、次年度、湯浅さんがRI理事として2年間つとめられるのでガバナー事務所の実情をRIに認識してもらうため、資料を提供することになった。

以上で各委員会の報告を終り、引きつづいて各委員会の問題についての質疑応答に移り、最後に井関ガバナーから、あと2か月半あるので各委員会とも計画活動をつづけていただきたいとあいさつ、午後3時、合同委員会の幕を閉じました。

■東パキスタン風水害報告書

RI世界社会奉仕副委員長
齋 木 竜 治 郎

かねてご依頼を受けておりました東パキスタンのサイクロン被害状態調査並に救援方法協議を終えて帰国いたしましたので、次にご報告申し上げます。

(1) 被害調査

現地調査は容易にできるものと考えてダッカへ参りましたが、そんなに簡単ではありません。ダッカからチッタゴンまでは空路1時間で充分ですが、チッタゴンから最も近い被害地ハチア島へ行くにも、フェリーで8時間を要するため同島の視察だけでも3日を必要とし、且つまた

食糧、飲料水、宿舍等も得難く、まして全被災地域の視察などはとうてい困難であることがわかりました。

そこで小型飛行機をチャーターして現地へ飛びました。ダッカ空港からガンジス河主流に沿って南下し、ハチア島をはじめとして、パトアカリ地方まで各島々を低空飛行で視察した後、ガラチパの水路に着水しました。この地域が政府の援護局からロータリー救援地域として指定されているところです。被害状況は、新聞で報導された通り無惨なもので、サイクロンと称するものの特異な被害を知ることができました。

(2) 現地ロータリーの活動状況

災害発生と同時にロータリアンの医師が急行して医療にあたり、他よりの援助を得てボートの寄贈等をした、という話でした。

(3) 救援方法の協議

バストガバナー、ラヒム・カーン氏、現ガバナー、アブドル・ハック氏、ダッカ、ダッカ北、ナラヤンガンジー各クラブの会長、地区幹事、世界社会奉仕委員等と、日本ロータリアン各位の救援金の使途について協議しました。先方は、2階又は3階建の避難用建物を建設したいから送金してもらうか、日本で建築してそれを寄贈してほしいという希望でした。ご希望を承わり帰国後日本のガバナーに報告した上で、救援方法を決定していただきます、と申し上げて別れました。

(4) 今後の処置

救援方法については、ガバナー諸氏ご相談の上ご決定願いたいと思います。参考までに私の卑見を申し上げます。

(イ) 救援物件は、先方の希望通り避難用建築物が最適と思う。

(ロ) 建築に2つの方法がある。

(A) は現金を送金して先方で建築させる。

(B) は日本の手で建築をし、建築物を寄贈する。

(A)は現地の状態を考えると問題があり、(B)の方がベターだと思われる。(なお、(B)について調査した結果、適当な建築方法があり、現地で建築をしてくれる権威ある日本の業者のあることがわかりました。もし必要ならば紹介いたします。)

ⅴ 今後の実施については、ガバナー諸氏ご協議の上、適当な窓口を作ってその衝にあたられたく、先方は現ガバナー、アブドル・ハック氏がその窓口となることをきめてきました。

以上取り急ぎで報告申し上げます。ご協議のため小生が出席する必要がありましたら、お申付下されば出向きまして更に詳しくご説明申し上げます。ただ目下同地は政治上のトラブルのため混乱しており、且また6月から10月まで雨季のため建築が不可能であることをお含み願います。

■ペルー震災義捐金について

◎第358区 安田幾久男ガバナーから、全国各地区ガバナーあて来信

全国ロータリアンの善意に依るペルー震災義捐金は、43,529ドル58セントの巨額に達し、昨年12月28日R I本部指示に基き、第446区 地震罹災者基金として、同地区直前ガバナー Luis V. Altuna氏を通じ送金いたしました。これに対し、Altuna氏より2月11日付及び3月16日付、同封英訳文のとおり、てい重な感謝の手紙が参りましたので皆様方に対する感謝の意をこめてご通知申し上げます。この手紙に依れば、震災により破壊された学校の再建資金に当てられ、全日本ロータリアンに対する深甚なる感謝が表明されております。皆様方の好意とご協力に対し重ねてありがたくお礼申し上げます。

◎Luis V. Altuna直前ガバナーから、安田358区ガバナーへの手紙の概要

私の国のCallejon de Huaylas 地方を襲った地震の犠牲者に対する義捐金についての貴殿の御親切なお手紙をいただき、感謝に堪えません。私と、この地区のロータリアン並びに地震の被災者全員に代って御親切を感謝申し上げます。

私は、リマのWiese銀行から日本の各地区からの総額43,529ドル58セントに達するロータリアンの義捐金を受け取りました。

このお金は、世界各地から送られたお金と一緒にして、学校再建の基金とします。地震に襲われた地方の学校は完全に破壊されたからです。

私は、ペルーの全ロータリアンが心から感謝申し上げているということ、ガバナーの皆様、また各地区のロータリアン全部の方々にお伝えいたしたいと思います。

■青少年の海外旅行とロータリー

旅行シーズンの到来と共に、青少年の海外旅行についての次のようなR Iの方針を念頭において下さい。

いかなるロータリークラブも、若者を海外に送ることについて、次の条件を充すのでなければ、支持協力を与えてはならない。

すなわち、旅行計画の全面にわたって、前もって慎重に検討することが必要である。

特に、ロータリークラブは、証明書の発給をしてはならない。また紹介状を与えてはならない。海外におけるロータリークラブに若者を紹介し、または身分を証する目的をもって、援助を要求したり、証明書や文書の要請をすることは禁止される。ただし、前もって完全な相互協定が成立していて、ホストクラブの好意と援助が得られる場合は、この限りでない。

更に、R I 理事会の勧告によれば、いかなるロータリークラブも、他国のロータリークラブが自国で後援を認めている若者であっても、その者に、好意と援助を与える義務はない。ただし、受入れ側のロータリークラブが、事前に、かつ明らかに、援助提供を同意している場合はこの限りでない。いかなるロータリークラブも若者に援助を提供するかどうかを決定する権限を有するのである。

●1972年規定審議会地区代表決定

来年ヒューストンで行われる大会の規定審議会への当地区代表1名及び代表代理1名は、郵便投票により各クラブの選挙をお願いしたところ、全クラブの御賛同を得て、次のとおり決定しましたのでご報告いたします。

366地区代表 塚本義隆（直前ガバナー）

同代表代理 大谷一雄（ガバナーノミニール）

各クラブ記念式典

◎那智勝浦（創立10周年）

3月17日、勝浦観光会館において、井関ガバナー始め県下各クラブの会長或いは代理の方々その他大ぜいの来賓の臨席を得て盛大に行われた。出席者は、クラブ会員31名、来賓ビジター会員家族を含めて合計97名に及んだ。

同クラブは昭和36年3月17日、スポンサークラブ新宮の特別代表、尾崎作次郎君によって、27名の会員で創立された。当日、10名の10年間100%出席会員の表彰が行われた。祝賀会では、来賓祝辞の後、4名の物故会員への黙禱、記念事業として町当局へ公報車（コロナマークII 1900cc）1台の贈呈を行い、祝宴の後、盛況裏に散会した。

◎堺南（創立10周年）

4月19日、堺市民会館において、多数の来賓

会員、家族、総数117名で式典が行われた。中江会員の司会のもと、辻本委員長、小新会長のあいさつにつづいて、井関ガバナー、堺クラブ木川田会長の祝辞をいただいた。

記念事業の1つとして、仁徳御陵の南にある大仙公園「どら池」の周囲に桜の名所を造ることにし、その記念植樹費として40万円を堺市に寄付した。なおこの事業は今後も継続して行うことになっている。祝賀パーティーには、塚本直前ガバナーの詩吟の名調子を拝聴するなど、全員なごやかに楽しく、創立10周年を祝賀して散会した。

◎八尾（創立10周年）

4月21日、八尾商工会議所会館において記念祝典が行われた。平野委員長、戸田会長のあいさつ、そして井関ガバナーから、意義ある業績賞の映画をレクプラシッドで見た時の感激を述べられ、浅田特別代表から壮年に育ったクラブへの激励といましめのあいさつがあり、厳肅かつ感激裏に式典が進められた。

記念奉仕事業としては、約180万円前後の予算のもとに、八尾市労働会館増築に伴う空地（約300平米）に、庭を寄贈することとし、3月には竣工式、そしてその写真が式典当日配られる10周年誌に載るよにという企画で実行された。式典後、休憩時に茶席があり、祝宴、余興に移って、手に手の大合唱は、われらよくぞロータリアンたりしの喜びをひびかせつつ散会した。

◎和泉（創立10周年）

5月5日、羽衣荘において、厳肅なる式典に引つづき、つつじ満開の庭園での盛大な祝賀パーティーが催された。出席者は、来賓28名、会員57名、家族50名、計135名であった。同クラブは、昭和36年6月泉大津RCをスポンサーとして誕生し、その後着実に成長発展をつづけ、特

に出席率においては優秀クラブとして表彰を受けた。記念事業の一環として国際奉仕活動及び青少年の育成に力をいたし、姉妹友好クラブである台北西RCの御協力を得て、和泉市中学生8名を台北及び台南に派遣し、友好親善の使命を立派に果して帰った。(費用約130万円)。その他社会奉仕として、チャリティーバザーを開き、そのきき金を身体障害児父母の会に贈り、なお又式典のさい市福祉協会に10万円、ロータリー財団へ20万円を寄付した。

◎守口(創立10周年)

5月8日、同クラブ例会場三洋健保会館において、来賓34名、ロータリーアクト会員8名、会員46名、家族27名、計115名の参加のもと、簡素ながら厳粛に式典が挙行された。

同クラブは昭和36年3月20日、大阪、高槻、大阪東クラブをスポンサーに、田宮特別代表の御尽力によって創立、今日に到ったが、その間門真RC、守口ロータリーアクトクラブの創立など順調な発展を示した。

式典では、記念事業「小公園、4つのテスト記念碑」、「ロータリー財団500名達成」及び「記念誌編さん」についての報告、守口市長への記念碑引渡式、来賓祝辞、皆出席者等への表彰状贈呈があって祝賀会に移り、ピアノ演奏の流れる中を一同和やかに歓談し、井関ガバナーによる万才三唱の後、盛会裏にその幕を閉じた。

■G.S.E.T. 団長西川武四郎君の来信

3月11日伊丹を出発して、オーストラリアに派遣された研究グループ交換団長から、塚本直前ガバナーあて5月2日付のお手紙を次にご紹介いたします。

拝啓、グループスタディー1行出発後、いよいよ最終段階に入りました。連日連夜の強行スケジュールに追いまくられて、落着いて通信を

申し上げる暇もなく失礼しています。お蔭様で1行7名極めて元気旺盛で、今日までに訪問したロータリークラブ数、実に24か所に及びます。どこに参りましても大変な人気と大歓迎でこれでも招待希望のクラブが多くてできるだけしぼっているという幹事さんの苦心談で、恐縮している次第です。

ロータリークラブの存在の偉大さは、豪州に来て始めて実感となって入って来ます。パース到着そうそう市長、ウェスタンオーストラリア州のガバナー並びにブリティッシュコモンウェルスのガバナー(女王の代表)を、個別に訪問し種々話をしたりウィスキーを御馳走になって参りました。何れも日本に対し大変な親近感を持っていて快よく会見してもらいました。パース市中心に会社、工場、各種学校、病院、社会施設その他各方面にわたって参観しました。

その後、東南部地方の旅行に出て、牧場、農場、炭鉱、鉄鉱山など全く気の違くなるような膨大な天然資源に接して驚くばかりです。次に北部地方を1週間程廻って、昨日パース帰着、来週はまた1週間ばかり南部地方の旅興行をして、いよいよ最終段階に入る予定です。どこに参りましても自然の大きな事と人口の稀薄なことから、日本とは全くの対照的な世界が存在するのにひたすら感じ入る次第です。(5月2日パースにて 西川武四郎)

なお、1行の今後の予定は、

- 5月14日 パース出発、メルボルン2泊
- 5月16日 シドニー到着、3泊、世界大会出席
- 5月19日 シンガポール到着
- 5月21日 香港着
- 5月22日 大阪着

■1972～73年度財団奨学生選考審査

4月30日、新大阪ホテルにおいて、井関ガバ

ナー、塚本P.G.小中委員長、野田、須賀川、吉村の各委員並びに審査を依頼したアメリカ文化センター館長 Mr. Albert Ball の諸氏出席のもとに、上記の選考審査が行われ、審査方法としては、書類審査、面接審査、英会話審査を実施し、その結果下記のとおり奨学生3名及び補欠1名が決定された。

奨学生候補者

足立 啓子 大学院課程 大阪RC推薦

吉田 康信 大学院課程 堺RC推薦

山科 幸夫 大学課程 富田林RC推薦

補欠候補者

杉中むつみ 大学院課程 豊中RC推薦

ロータリー財団寄付額平均615%

本年4月30日までの地区内各クラブからのロータリー財団への本年度寄付額は40,611ドルに達しました。会員1人あたり13ドル20セントです。また、最初よりの寄付額累計は189,236ドルで、会員1人あたり61ドル50セントとなります。615パーセントというわけです。各クラブの寄付額パーセントは次表のとおりで、*印は4月に達成した新パーセンテージを示します。

%	クラブ数	クラブ名
200	4	門真、箕面、寝屋川、大阪柏原
300	11	橋本、枚方、粉河、大阪阪南、*大阪東淀、大阪城南、新宮、吹田、高石、富田林、豊中南
400	11	*御坊、枚岡、泉大津、海南、貝塚、岸和田、松原、大阪西北、大阪淀川、白浜、高槻
500	12	有田、泉佐野、河内長野、守口、大阪南、大阪西南、大阪天満橋、大阪西、*堺東南、田辺、豊中八尾

600	5	東大阪、*池田、和泉、*大阪住吉、和歌山
700	1	大阪北
800	4	大東、茨木、大阪、和歌山東
900	1	堺南
1,000	2	那智勝浦、大阪東
1,300	1	*堺
1,400	1	和歌山南
(注) 新設3クラブ、大阪心斎橋、和歌山東南は本表に含みません		

公式訪問予定（和歌山東南クラブ）

井関ガバナーの366区内各クラブに対する公式訪問は、和歌山東南クラブを除き、全部終了したが、4月14日付認証を受けた同クラブに対する公式訪問は、6月19日（土）行われることとなった。

シドニー国際大会への出席者

366区の各クラブから多数の方々が、シドニーの国際大会へ参加されました。参加者は25のクラブから、会員88名、家族65名、総計153名の多数にのぼりましたので、ご報告いたします。

御注意までに

◎6月分出席報告は、従来どおり井関ガバナー事務所あて、7月8日までに提出して下さい。

◎ロータリーの現況

3月26日現在（149か国、地域）

RC数、14,683

会員数、695,500名

7月以降新設数 338RC（46か国）

4 月 出 席 報 告

(Attendance Report for April)

順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順	順位	クラブ名	例会数	会員数	期初との増減	出席率	前月順
1	大阪西南	4	68	+16	100.00	5	30	白 浜	4	41	+5	95.09	41
2	和 泉	4	62	+4	100.00	1	31	八 尾	4	53	+3	95.00	49
3	橋 本	4	56	+1	100.00	2	平均出席率					94.94%	
4	高 槻	4	54	+2	100.00	3	32	田 辺	4	66	+1	94.70	34
5	東 大 阪	4	58	+3	99.55	25	33	堺 東 南	4	33	+2	94.70	17
6	池 田	4	50	+1	99.51	26	34	大阪住吉	5	74	+2	94.53	37
7	高 石	4	41	-1	99.39	19	35	新 宮	4	54	—	94.34	32
8	大阪阪南	4	50	+4	99.00	8	36	和歌山南	5	60	+5	93.56	44
9	大阪淀川	5	68	-2	98.23	7	37	堺	4	112	+1	93.18	27
10	大 阪 西	4	94	+3	98.12	29	38	富 田 林	4	56	+3	93.17	38
11	和 歌 山	4	97	+4	98.07	11	39	枚 岡	4	40	-2	93.13	39
12	泉 大 津	5	72	+1	98.02	13	40	大阪東淀	4	30	+30	93.13	46
13	大阪天満橋	4	59	+9	97.89	16	41	那智勝浦	5	34	-1	92.69	23
14	大 阪 東	4	85	-2	97.54	33	42	大阪城南	5	47	+8	92.34	31
15	河内長野	5	56	—	97.50	6	43	大 阪 北	4	164	+7	92.26	43
16	粉 河	4	29	+1	97.42	4	44	枚 方	4	51	+2	92.16	30
17	堺 南	4	68	+3	97.39	9	45	御 坊	5	63	+3	92.13	35
18	和歌山東	3	78	+7	96.97	12	46	豊 中 南	4	30	+2	91.67	54
19	有 田	4	49	-1	96.94	14	47	岸 和 田	4	58	-1	91.38	40
20	茨 木	4	49	-2	96.75	10	48	大阪柏原	4	26	+5	91.16	42
21	大阪西北	4	50	+12	96.50	45	49	守 口	4	53	+2	91.01	47
22	海 南	4	57	+3	96.43	21	50	寝 屋 川	5	28	+4	89.91	52
23	豊 中	4	54	+1	96.31	20	51	大 東	4	34	—	89.71	48
24	松 原	4	51	+3	96.05	22	52	貝 塚	4	53	+7	89.63	36
25	攝 津	5	30	+30	96.00	28	53	大 阪	5	297	-1	89.47	51
26	大 阪 南	4	155	+7	95.72	24	54	門 真	4	26	+1	85.06	53
27	泉 佐 野	4	58	+2	95.69	18	55	大阪心斎橋	4	29	+29	84.69	55
28	箕 面	4	28	—	95.54	15	合 計						230 3,397 +226 5,221.59
29	吹 田	4	59	—	95.26	50							



ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 366 : GOVERNOR'S

Monthly Letter

第366区 ガバナー

井関久楠

区内各会長及び幹事殿あて

月 信 (写)

GOVERNOR: HISAGUSU ISEKI

OFFICE: 和歌山市西丁 内田ビル3階

Uchita Bldg., Nishi-Migiwacho, Wakayama-shi

ADDRESS: P.O. BOX 5, WAKAYAMA

WII山尾 私書箱5号 640-71

TELEPHONE: 0734-22-0647

CABLE ADDRESS: INTEROTARY WAKAYAMA

第13号 (昭和46年6月25日 発行)

№ 13 June 25, 1971

■1971-72年度国際ロータリー理事会 の陣容

会長	エルンスト・ブライトホルツ	(スウェーデン)
理事	マルセル・コルバット	(U. S. A.)
	ジョン・ダルトン	(U. S. A.)
	ジュール・フロック	(U. S. A.)
	ロイ・ヒックマン	(U. S. A.)
	ベン・ホームル	(U. S. A.)
	ロルフ・クレリッヒ	(フィンランド)
	ホセ・マルティン	(アルゼンチン)
	コルネリウス・マイヤリンク	(オランダ)
	ルヌー	(オーストラリア)
	ローランド・リチャードソン	(イングランド)
	プラット・シークレスト	(U. S. A.)
	アーサー・シンプソン	(カナダ)
	湯浅 恭三	(日本)

事務総長 ジョージ・ミーンズ (U. S. A.)

財務長 ロイド・ホリスター (U. S. A.)

■シドニー国際大会の登録数

5月16日から20日までオーストラリアのシドニーで開催された国際大会における73か国(又は地域)からの登録数は16,646名であり、これに16才以下の参加者 574名を加えると出席者総数は17,220名にのぼりました。多数参加国は次のとおりでした。

豪 州	9,603
U. S. A.	3,817
日 本	1,752
ニュージーランド	815
カナダ	278
イタリー	107
スウェーデン	87
中華民国	79
フィリピン	56
メキシコ	45

アルゼンチン	44
オランダ	37

各クラブ記念式典

●堺（創立20周年）

3月27日、臨海工業地帯の真中の臨海センタービルにて、多数の来賓、会員、元会員遺族等総数126名の出席を得て行われた。

午後3時より6階において式典挙行、森パストガバナーが、井関ガバナーの祝辞を代読され露口大阪RC会員は創立当時の思い出を話して下さる。木川田会長より記念植樹目録を河盛市長に手渡し、当選記念歌「今日も1日」（奈良会員作詞）が堺市民合唱団によって披露された。

午後5時より祝賀パーティーが2階ホールにて賑々しく行われ、出席9名のチャーターメンバーにレイを贈ってその功績をたたえ、多数の近隣親子関係RCより祝辞をいただき、海外からの祝電も披露されて6時閉会した。

記念事業には、堺で最も歴史的な仁徳御陵前の小公園に松の大樹を植え、記念品には、身近なオーバナイト入れを一同に配布、記念誌を近々発刊の予定をしている。

●河内長野（創立10周年）

4月15日、大阪太閤園において、簡素ながら厳粛に行なわれた。出席者は、井関ガバナー始め25名の来賓、会員51名、会員家族26名 計102名が列席。

当クラブは田中常楠特別代表（橋本RC）の並々ならぬご努力により創立され、地域社会への奉仕は勿論のこと、橋本RCの伝統的な特色である出席率上昇に努め、大優勝旗を獲得した年度もあります。又、若い優秀な会員を増強して、平均年齢の若返りを計り、現在56名（創立

時26名）と順調に成長して参りました。

式典は、井関ガバナー、河内長野市長その他来賓の祝辞、田中特別代表の生みの思い出話をいただきました。記念事業は当市の名所寺が池公園にロータリーの森を造成し、そこに250本の桜を植樹、市長に贈呈いたしました。又、この日を記念して会員が作詞した「河内長野ロータリークラブの歌」を披露し、厳粛に式典を終了。祝宴は舞踊・寿師子に始まり、来賓のかくし芸、歌謡ショー等、終始なごやかに進められ、100人の手に手つないでの大合唱、感激とともに、ロータリアンとしての喜びをひしひしと感じ定刻通り散会。

●和歌山南（創立10周年）

4月28日、和歌山県経済センターにおいて井関ガバナー始め、緒方、原田、塚本各パストガバナー、県下各クラブ会長等、来賓ビジターの臨席を得、会員49名、会員家族あわせて105名の出席にて盛大に行われた。

同クラブは、1961年にスポンサークラブ和歌山RC、特別代表井関ガバナーによって、24名の会員で創立された。

当日は、橋本委員長、紀会長のあいさつに引つづき井関ガバナーより、本年創立10周年を迎えるクラブは地区内に11クラブあるが、私としては特に印象深く市内新クラブ結成とロータリー財団寄付向上とが最もよき記念事業と喜んでいる。今後とも心を新にして会員間の隔りがあれば取り除き、一致団結してロータリー活動にまい進してほしい、との祝辞があった。つづいて4名の10か年皆出席者表彰、物故会員への黙禱、記念事業として、県民文化会館前への時計塔設置を行った。祝賀会では、会員提供による10か年思い出のスライド映写を行い、一同和やかに歓談し盛会裏に会を終えた。

●泉大津（創立15周年）

5月1日（土）午後2時より、泉大津市消防署会議室において厳粛に記念式典を挙行、引つづき小松荘にて記念祝賀家族会を開催、簡素ながら意義ある1日を送った。出席者は来賓17名、会員62名、家族48名、計127名であった。

同クラブは31年5月4日、堺スポンサークラブ辻本特別代表のよき御指導によって創立され、その後順調な発展の下に、36年6月には和泉RCを創設し、その間、米国741区との留学生交換を行い、同クラブより4名、米国より2名の交換を行った。

式典は、井関ガバナー、木川田堺RC会長、市長その他の来賓祝辞に引つづき、記念事業として、市民会館建設基金、ボーイスカウト会館建設基金、ガールスカウト活動資金をそれぞれ贈呈、15年間連続皆出席会員2名、10年間以上皆出席会員27名の表彰を行い、次いで、祝賀宴には鳳啓助、京唄子外の漫才、舞踊と、終始和やかに進められ、6時盛会裏に解散した。

●白浜（創立10周年）

5月6日午後5時より、小雨煙る新装ハマプランカ会議室において開催され、井関ガバナー外90名が参加して盛大に行われた。田中委員長の開式のあいさつに引つづき、井関ガバナー、田辺スポンサークラブ広木会長、合同チャーターナイトクラブ那智勝浦RCの寺本副会長その他の来賓祝辞があり、つづいて玉川会長の物故会員をしのぶ言葉並びに物故会員5君についての思い出話があり、黙祷を捧げた。ついで第4代岩城会長の白浜クラブ10年の歩みと題する卓話、皆出席表彰があって閉会した。6時半祝宴に移って家族約50名が参加して、ロータリーならではの感慨深い楽しい家族会の夕べだった。

記念事業としては、100万円を白浜駅前美化

施設資金として白浜町へ寄贈した。式典はできる限り質素にはするが意義を持たせるため、上記物故会員の追悼に重点を置くプログラムを実施した。

●泉佐野（創立10周年）

5月22日、新東洋において、井関ガバナー始め塚本バスターガバナー、堺以南の各クラブの会長、其他関係諸団体の来賓の御臨席を仰いで、盛大に挙行された。出席者は来賓22名、会員51名、家族其他53名、計126名。

同クラブは昭和36年1月9日、スポンサークラブの大阪、岸和田両クラブ、特別代表として、岸和田クラブの中沢米太郎氏の並々ならぬ御援助によって、31名のチャーターメンバーにて創立されたが、順調に発展を遂げ、現在会員数58名にて近き将来、泉南ロータリークラブ（仮称）を創立せんと、着々と準備を進めている。

式典に先だち、記念事業として市内在住の彫刻家、道下長生氏力作の、すくすくと成長する象徴として、「青年の像」を泉佐野駅前広場に建設し、当日早朝より神事の後市当局に贈呈した。

式典は11時30分より式典委員長義本仲氏の開会挨拶に始まり、4名の物故会員に対する黙祷の後、井関ガバナー、塚本直前ガバナー、中沢元特別代表の祝詞に引続き、優良従業員の表彰の後宴会に移った。

祝典を特にこの日に決めたのはバラの花の満開の時を選んだため、会員津志本氏のデザインにて、玄関より式場、宴会場と1万輪のバラの花で埋め尽くされ、その美事な色と香と豪華さに出席者一同陶醉、圧倒させられ、時間の経つのを忘れる程であって、予定を1時間延長して午後4時過ぎ、ロータリーソングを最後に散会した。

■清風南海学園インターアクト結成式

5月26日午後2時30分、清風南海学園の会議室に於て、宮本366地区インターアクト委員長を迎えて結成式が挙行された。高石RCから会長以下20名の会員と学校側から校長以下18名の先生多数の参列者があった事は、あたかも新クラブの前途を予言しているかの如く力強く感じられた。

式は隅谷IC委員長の開会の挨拶から始まった。崇高な教育方針を持つ学校に、校長先生をはじめ関係諸先生の力添えで30名の優秀な会員を有するクラブが結成出来た事の喜びをのべられたと同時に、この激動する70年代の世界を迎えて若い人々が国際理解を深める事は意義深い事であると激励された。

続いて高石RC会長であり、同校の校長である平岡校長より同校の教育方針とロータリー精神と相通ずる事を強調され、生徒諸君に4つのテストが紹介された。4つのテストは一見容易に見えるが、実行することは中々困難である。しかし諸君の努力によってこの4つのテストが諸君の学校生活に生かされる様にと挨拶があり司会者よりクラブ顧問の先生と30名の会員の紹介があり、会長よりバッヂが手渡された。式は川田新クラブ会長の学校の教育方針とロータリー精神に基いて創意工夫をして国際理解に奉仕すると力強い宣誓でクライマックスに達した。

その後宮本地区委員長より祝詞があり、その冒頭でこの式場に入った瞬間に生徒諸君に何か意気込みがある様に感じられ、このクラブは将来立派なクラブに成長すると思うと卒直な感想を述べられた。クラブを作るのは易しいが、それを維持し成長させるのは困難である事を話され、関係諸君諸先生の注意を喚起された。

またインターアクトクラブの国の内外の国際理解の場での活躍と大きな役割を述べられたが

新クラブの今後の指針になった様に思う。原口副会長の万才三唱で式は無事終了した。式終了後も宮本委員長を囲んで関係諸氏諸先生とインターアクトの今後の問題について忌憚のない意見が交され、有意義な一日であった。

■新ポール・ハリス・フェロー誕生

大阪天満橋RC 松本政雄君

5月5日付ロータリー財団からの手紙によれば、上記松本君にポール・ハリス・フェローの称号が贈られましたので、お知らせいたしますとともに、深甚なる敬意を表します。

■大阪心斎橋RC認証状伝達式

昭和45年11月10日創立され、11月19日付認証された上記クラブは、5月15日(土)午後3時から、新大阪ホテルにおいて、認証状伝達式を挙行した。特別代表浅田敏章君の開会のことばに始まり、井関ガバナーの認証状伝達並びに祝辞、中島会長のあいさつ、塚本直前ガバナーの祝辞その他があって祝賀行事にすすみ、特別講演、大阪教育大教授、前田勇氏の「日本語の墮落」、次いで舞踊、常盤津「千代の友鶴」があって、披露パーティに移り、18時30分、盛大に終了した。

■ロータリー財団へ1人あたり14ドル25

当地区各クラブの本年度ロータリー財団寄付額は昨年7月1日から本年5月31日まで合計43,813ドルにのぼりました。ガバナーとして深く感謝いたします。

この金額は会員1人あたりにして(1969年12月末日の会員数を基礎に計算すれば)14ドル25となります。前年度中の寄付額1人当たり平均12ドル07に比較すると2割近くもふえました。ありがたいことです。最高は和歌山南RCの1人

当り101ドル余です。詳細は別表を御覧下さい。

寄付累計額のクラブ平均パーセンテージは、625%になりました。最高は和歌山南RCの1,500%です。しかし地区としてのパーセンテージは最低クラブのパーセントをもって呼ばれるため200%地区であります。パーセント別のクラブ数は次のとおりです。(新設3クラブ大阪心斎橋、攝津、和歌山東南は計算から除かれています)

200%	3クラブ	800%	4クラブ
300%	12クラブ	900%	1クラブ
400%	11クラブ	1,000%	1クラブ
500%	11クラブ	1,100%	1クラブ
600%	5クラブ	1,300%	1クラブ
700%	2クラブ	1,500%	1クラブ

ロータリー財団への本年度寄付額一覧

ク ラ ブ	12/69 会員数	本年度 寄付額	会員1 人当り	累計額パ ーセント	ク ラ ブ	12/69 会員数	本年度 寄付額	会員1 人当り	累計額パ ーセント
有 田	47	333ドル	7.10ドル	500	大 阪 北	156	3,010	19.29	700
大 東	32	499	15.59	800	大 阪 西 北	35	689	19.68	400
御 坊	57	400	7.03	400	大阪心斎橋				
橋 本	51	54	1.05	300	大 阪 南	149	1,361	9.14	500
東 大 阪	50	1,166	23.33	600	大 阪 西 南	42	1,487	35.41	500
枚 方	47	101	2.14	300	大 阪 住 吉	65	1,148	17.67	600
枚 岡	44	357	8.11	400	大阪天満橋	50	2,700	54.00	*700
茨 木	49	871	17.77	800	大 阪 西	86	837	9.71	500
池 田	47	212	4.52	600	大 阪 淀 川	66	817	12.38	400
和 泉	57	386	6.78	600	堺	107	2,750	25.70	1,300
泉 大 津	65	569	8.76	400	堺 南	66	1,350	20.45	900
泉 佐 野	56	193	3.46	500	堺 東 南	31	1,701	54.90	500
門 真	24	27	1.15	200	摂 津				
海 南	54	326	6.03	400	新 宮	56	123	2.19	300
貝 塚	46	585	12.73	400	白 浜	38	449	11.84	400
河内長野	57	626	10.98	500	吹 田	60	220	3.66	300
岸 和 田	57	410	7.19	400	高 石	40	163	4.07	300
粉 河	24	67	2.79	300	高 槻	53	216	4.07	400
松 原	49	493	10.06	400	田 辺	64	372	5.80	500
箕 面	24	378	15.75	*300	富 田 林	53	207	3.91	300
守 口	49	162	3.30	500	豊 中	53	325	6.13	500
那智勝浦	34	387	11.39	1,000	豊 中 南	24	132	5.50	300
寝 屋 川	24	40	1.66	200	和 歌 山	88	1,255	14.26	600
大 阪	288	2,122	7.36	800	和 歌 山 東	73	1,903	26.07	800
大 阪 東	78	1,810	23.21	*1,100	和 歌 山 南	51	5,178	101.54	*1,500
大阪阪南	35	407	11.63	300	和歌山東南				
大阪東淀	24	726	30.25	300	八 尾	45	856	19.02	500
大阪城南	34	339	9.99	300					
大阪柏原	21	500	23.81	200	56クラブ計	3,075	43,813	14.25	625

(注) *印は5月に達成した新パーセンテージを示す

■年次大会仮決算書／46.6.1現在

＜収入の部＞

＜支出の部＞

項 目	予 算	金 額	項 目	予 算	金 額
地区大会分担金	6,200,000 (@2,000× 3,100人)	6,674,000 (@2,000× 3,337人)	総 務 費		4,935,939
県下の R. C. 協力金	2,360,000 (@5,000× 310人) (@3,000× 270人)	2,521,000 (@5,000× 341人) (@3,000× 272人)	印 刷 費	1,800,000	1,158,540
ホストクラブ拠出金	1,060,000 (@20,000 ×53人)	1,110,000 (@20,000 ×55.5人)	通 信 費	150,000	192,377
参 加 登 録 料	4,800,000 (@4,000× 1,200人)	5,724,000 (@4,000× 1,431人)	謝 礼 費	300,000	350,771
希 望 晩 さん 会 費	750,000 (@2,500× 300人)	1,272,500 (@2,500× 509人)	記 念 品 代	1,200,000	1,240,361
ガバナー事務所より			消 耗 品 代	50,000	54,557
地 区 資 金		250,000	人 件 費	580,000	869,664
会長代理記念品代		50,000	借 室 代	200,000	250,000
歓 迎 会 費		65,000 (@2,500× 26人)	バナー・タスキ・腕 章・胸章代	300,000	85,285
利 息		25,027	会 合 費	200,000	244,377
			本 部 費	10,000	80,560
			年次大会準備費		71,060
			事務局交通費		7,290
			備 品		77,812
			雑 費		253,285
			行 事 補 助 費		748,145
			ゴ ル フ 会	300,000	301,895
			茶 席 会	300,000	300,000
			俳 句 会	200,000	93,250
			観 光 費	100,000	53,000
			登 録 費	500,000	560,140
			記 録 費	2,000,000	2,100,000
			広 報 費	100,000	57,772
			会 場 費	2,000,000	2,215,205
			食 事 費	2,400,000	3,211,558
			接 待 費	100,000	158,411
			交 通 費	400,000	476,000
			救 護 費	50,000	—
			保 安 費	50,000	—
			余 興 費	2,000,000	2,019,540
合 計		17,691,527	合 計		16,482,710

(単位 円)

収 入 総 額 17,691,527

支 出 合 計 16,482,710

差 引 剰 余 金 1,208,817

5 月 出 席 報 告

(Attendance Report for May)

冊子 53

順位	クラブ名	例会 数	会員 数	期初と の増減	出席率	前月 順
1	大阪西南	3	68	+16	100.00	1
2	橋 本	4	56	+1	100.00	3
3	河内長野	4	56	—	100.00	15
4	高 槻	4	52	—	100.00	4
5	和 泉	4	61	+3	99.58	2
6	高 石	4	41	-1	99.39	7
7	大阪阪南	4	55	+9	98.59	8
8	有 田	4	49	-1	98.47	19
9	攝 津	4	32	+32	98.39	25
10	泉大津	4	71	—	98.23	12
11	箕 面	4	28	—	98.22	28
12	大阪淀川	4	68	-2	98.13	9
13	和歌山東	4	78	+7	98.05	18
14	粉 河	3	30	+2	97.78	16
15	大阪東淀	4	29	+29	97.41	40
16	大阪天満橋	5	59	+9	97.29	13
17	茨 木	3	49	-2	97.04	20
18	大阪西北	4	51	+13	97.02	21
19	堺 南	4	67	+2	96.97	17
20	大 阪 西	4	95	+4	96.79	10
21	和 歌 山	4	96	+3	96.64	11
22	新 宮	3	54	—	96.23	35
23	大阪柏原	4	26	+5	96.15	48
24	白 浜	5	41	+5	96.10	30
25	泉 佐 野	4	58	+2	96.09	27
26	海 南	3	57	+3	95.83	22
27	大 阪 東	4	90	+3	95.60	14
28	大阪住吉	4	72	—	95.53	34
29	和歌山南	4	60	+5	95.34	36
30	吹 田	4	58	-1	95.26	29
31	池 田	5	50	+1	95.20	6
32	寝屋川	4	25	+1	95.11	50
平均出席率					95.09%	
33	豊 中	4	55	+2	94.99	23
34	堺 東 南	4	34	+3	94.74	33
35	田 辺	4	66	+1	94.67	32
36	東 大 阪	3	58	+3	94.64	5
37	松 原	4	52	+4	93.72	24
38	岸 和 田	3	58	-1	93.68	47
39	大 阪 南	4	154	+6	93.56	26
40	富 田 林	4	56	+3	93.18	38
41	御 坊	4	64	+4	93.11	45
42	枚 岡	4	39	-3	93.09	39
43	堺	4	113	+2	93.02	37
44	豊 中 南	4	31	+3	92.66	46
45	大阪城南	4	47	+8	91.98	42
46	守 口	3	53	+2	91.20	49
47	貝 塚	4	52	+6	91.18	52
48	那智勝浦	4	34	-1	90.63	41
49	大 阪 北	3	163	+6	90.48	43
50	枚 方	4	52	+3	90.32	44
51	八 尾	3	54	+4	90.20	31
52	大 阪	4	301	+3	89.94	53
53	大 東	4	35	+1	89.84	51
54	大阪心斎橋	5	29	+29	89.65	55
55	門 真	4	26	+1	89.42	54
56	和歌山東南	5	25	+25	88.80	
合 計					219 3,433 +262 5,325.13	

1012



ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 366 : GOVERNOR'S

Monthly Letter

第366区 ガバナー

井関 久楠

区内各会長及び幹事殿あて

月 信 (写)

GOVERNOR: HISAGUSU ISEKI

OFFICE: 和歌山市西汀丁 内田ビル3階

Uchita Bldg., Nishi-Migiwacho, Wakayama-shi

ADDRESS: P.O. BOX 5, WAKAYAMA

和歌山局 私書箱5号 640-91

TELEPHONE: 0734-22-0847

CABLE ADDRESS: INTEROTARY WAKAYAMA

第14号 (昭和46年6月30日 発行)

No. 14 June 30, 1971

退任ご挨拶

昨年6月レーク、プラシッドのロータリー国際協議会から帰って早や一か年、全く夢の様にロータリーに明けロータリーに暮れるという毎日を送って参りました。お蔭で健康に恵まれた事と先輩のバスターガバナーの御指導と友人達の熱心な御協力とによって任期を終りました事を感謝しております。毎日毎日忙がしく飛びまわって全く無我夢中でした。

この間に感じた事の第一は人の心の美しさであります。ロータリアンの人々の気持ちの温かさであります。この気持ちのありがたさは終生私の心の糧となると思います。

最初の公式訪問は昨年の7月15日の暑い頃で地元の私が特別代表をした最も親しみの持っておるクラブがその第一歩でした。第365区は先例として分区代理を頼まないため単身の訪問は予備知識の不足からそのクラブの真随をつかみ得るかどうかは少し不安でした。しかし訪問し

た56のクラブの方々に接する内にお互の友情は直ちに通じ合える事ができました。旧365区が分割され大阪府と和歌山県とに縮小された事が地理的に楽になり、しかも会長幹事懇談会、例会、協議会を全部その日の内に行って時間の短縮のできた事は本当にあり難い事でした。ひるがえって今日までのバスターガバナーの御苦労に初めて感謝の気持ちが湧きました。その他 I. C. G. F. 或いは数多くの創立記念式典、新クラブの認証状伝達式、更に今春和歌山市に催された地区大会等、走馬灯の様に頭をかすめて楽しい思い出の数々となっております。

そのたび毎にロータリアンとの心の結び付きが私の生活をどれだけ賑やかに楽しくしてくれましたことでしょう。本当に若返った気持ちになりました。ありがとうございました。

これでいよいよ中心の歯車は更に新しい立派な人格者 尾形 ガバナーに取り換えられました。しかし私は今後も補助の歯車として皆さんと共にロータリーのために活動して参りたいと

考えております。

今日まで至らなかった点をお許しいただきまして皆さんへのかけ橋を更に強く保って参りたいと思います。ありがとうございました。
さようなら。

■第3回ローターアクトクラブ

地区協議会

(第365、366両地区合同)

6月20日(日)12時30分より新大阪ホテル3階において、第3回ローターアクトクラブ地区協議会が、大阪ローターアクトクラブ主管のもとに、第365区と合同で開催され、10クラブより185名の会員と井関、絹川両地区ガバナー、塚本直前ガバナー、古市、松居両地区ローターアクト委員長、並びに地区委員、ロータリアン等30数名の来賓も参加して盛大裏に終了した。なお懇親会には地区国際青少年交換で来日中の米国、豪州の青少年及び当地区より推薦されて渡米する青少年あわせて15名の特別参加により国際色豊かなパーティーであった。

今回の特筆すべき事項は、両地区合同の集合にはR I 理事会の承認を得なければならない点であった。ガバナー事務所でこの点について特々配慮されたわけであるが、国情の違いから参加者に対する責任保険に加入するという点で理解に苦慮した。幸い一応保険に加入し、開催日寸前に電報で許可が来たような一幕もあった。当日のプログラムは下記のとおりである。

12:30 登録

13:00 開会宣言 有本大阪RAC会長

ローターアクトソング斉唱

来賓紹介

クラブ紹介

来賓祝辞 絹川365区ガバナー

井関366区ガバナー

13:30 記念講演「海外から見た日本人」

里井達三良氏(関西国際空港ビル社長、大阪RC会員)

14:40 グループ討論会「ローターアクトクラブ活動の理想と現実」

15:50 懇親会

16:50 閉会の辞 村上大阪南RAC会長

17:00 解散「今日の日はさようなら」斉唱

■第4回インターアクトクラブ

連絡協議会

(第365、366両地区合同)

第365、366地区I.C.連絡協議会が6月13日(日)午前10時より午後5時まで奈良市法華寺町奈良市立一条高等学校で催され、150名が参加した。また野崎365区次期ガバナー、塚本直前ガバナー、並に各RCのI.C.諮問委員長ら10余名が出席され、顧問の先生方と一緒に指導された。

従来365区に所属していた5つの高校I.C.が毎年1回代表を送って連絡協議会を開いていたのを、365、366両地区に分れてからもそのまま両地区合同で行うことになったものである。すでに昨年度はこれら5つのI.C.がまとまって韓国訪問、万国博会場国際懇談会等の地区行事をしているので、その実績を基礎に、第4回目の地区連絡協議会でも1歩前進した形をとるに至った。プログラムはあいさつの後、各校の活動研究発表が別表のように行われた。

昼食後I.C.メンバーは総会の時間まで一条I.C.の案内で近くの史跡をたずねながら交歓。一方、諮問委員、顧問、生徒役員の各分科会があり、それぞれ次の内容を討議した。

(1)諮問委員分科会

(A)I.C.とRCとの交流を深める

(B)地区合同行事にはRCの諮問委員が互い

I C 名	題 名	発 表 者	概 略
奈良市立 I C 高 校 一 条	「沖 縄 訪 問」 8 m m 上映と スピーチ	乾 裕 亮 今 西 真利子 小 泉 康 子 橋 本 尊 子	① 私たちのみてきた沖縄 ② 沖縄の高校を訪問したこと ③ 社会保障の現状
樞原学院 I C	「飛鳥と樞原学院 I C」 スライドをつかって	林 泰 山	① 石舞台のゴミ処理 ② 飛鳥青年団
堺工業 I C	「奉 仕 活 動」	中 川 進 小 川 秀 五 寺 野 保 弘	① 学生の道徳と無関心 ② 清掃方法 ③ 一般社会の公衆道徳 ④ これからの奉仕活動のあり方
西京 I C	「西京 I C 会員と交換 学生との交流」	糸 井 輝 行	交換学生との行動
大阪東 市立 高等 学校 I C	「大阪市立身体障害福 祉センターを訪問して」	篠 前 元 男	① センターの構成・役割 ② 身障者の日ごろの生活 ③ I C にできる身障者への活動内容

に協力して、事前事後、本番運営のバックアップを強化する（特に経済援助）

(C)各諮問委員の指導の実際を報告

(2)顧問分科会

今年度地区重点活動

(A)外国代表青少年団の交歓受入

(B) I C 海外派遣の研究

(C)顧問の研修

(D) I C の新設推進

(3)生徒役員分科会

(A)各 I C より昨年度事業説明、今年度事業
計画報告

(B)地区活動

(イ)連絡協議会を宿泊付の合宿にする

(ロ)交通事故遺児に R C が救いの手をさしの
べるよう強い希望

(ハ)各 I C 間の連絡緊密化

最後に、総会で分科会の報告とあいさつ、つ
づいて次回連絡協議会の当番クラブを大阪東校
に推薦、承認された。

■交換学生オリエンテーション行わる

昭和46年6月20日、新大阪ホテルで開催された365、366両地区合同のロータリークラブ地区協議会に、当366地区の交換学生も参加して、午後3時より5時まで交換学生のオリエンテーションを行った。

参加者は、265地区(豪州)よりの Miss Mary Solomon、545地区(U.S.A.)の Miss Jean Kitayama、649地区(U.S.A.)の Miss Karen Jane Shepherd、Miss Patricia Lynn Reeves、Mr. Terry Allan McArthur、Mr. Daniel Albert Foley、Mr. James Charles Thompson、当366地区よりの学生は、竹中周三君(和歌山)、広瀬太一君、広瀬勲二君(大阪西南)、川崎望君、大田哲郎君、黒川真一君(高槻)、菱川良夫君、須賀川誠君(大阪南)、田中あつ子さん(橋本)の9名の他に井関ガバナー、古市、世戸の新旧地区委員長とホストファミリーが出席して、井関ガバナーのあいさつ、ハンドブックをテキストにしての世戸委員長の説明があって質疑応答の後、ティーパーティーを持ち交友を深めた。

■新ポール・ハリス・フェロー誕生

大阪東RC 井上忠義君

6月21日付、ロータリー財団からの通知によれば、上記の井上君にポール・ハリス・フェローの称号が贈られましたので、お知らせいたしますとともに、深甚な敬意を表します。

■清風南海高等学校IC認証状伝達式

高石RCの支援によって誕生した清風南海高等学校インターアクトクラブ認証状伝達式は、6月29日(火)新東洋で高石RCの例会のプログラムの中でとり行われた。井関366地区ガバ

ナー、絹川365地区ガバナー、塚本366地区直前ガバナー、尾形366地区次期ガバナー、宮本366地区インターアクト委員長をはじめ近隣クラブの会長、365、366両地区の各RCのインターアクト委員長並びに各校のインターアクト顧問先生及び生徒代表の多数の来賓の祝福を受けた。

高石RCではかねがねインターアクトクラブ創設の意向を持っていたが、清風南海高等学校の平岡校長が高石RCの会長に就任と同時に清風南海高校にIC設立が具体化し、30名の会員を擁する新ICが誕生したわけである。

平岡高石RC会長より川田清風南海高校IC会長に認証状が伝達され、川田IC会長の「学園の教育方針とロータリー精神に基いて創意工夫をして地域社会に国際理解に奉仕します。」と力強い宣誓があり参列者から多大の期待がかけられた。

井関ガバナーからもロータリーのメンバーと若いICのメンバーとの間に新しい橋がかけられたことは文字通り Bridge the gaps の実践であると励しの言葉をいただき、生徒達にトインビーの言葉を引用され生きる事は愛することであり、奉仕とは愛することであると教訓され一同大きく感銘を受けた。又各ガバナーからも有益な励ましの言葉があり、厳肅のうちに式は無事終了した。

(高石RCインターアクト委員長 平岡正巳)

■大阪東、西ロータリークラブ

創立14周年記念式典

6月10日午後5時より大阪コクサイホテルにおいて、井関ガバナーを始め在阪11クラブの役員17名、東51名、西25名、総数93名の多数の参会を得て盛大に行われた。

5時15分、8階「いちょうの間」において記念式典を挙行、井関ガバナーより祝詞をいただ

き、兄弟クラブが合同で祝典をやるのもめずらしいが、それを創立以来毎年やって友好を深めているのは他に例がないのではないかと、おほめの言葉をいただいた。当日毎回出席をされていた室賀国威特別代表が健康上の都合により、出席されなかった事は残念であったが、新装成った美しい会場で、明るく、厳肅に、記念式典を終えた。ついで恒例の会員による余興にうつり、蒲原真一君（西）の哥沢、松寿千年のしぶいノドに加え、うつとりするような山村若喜美さんの踊、東は中許、梶本両君による長唄、新曲浦島、絶妙のコンビによる迫力、ロータリーならではの余興に陶酔、ころはよし、模擬店に色どられたパーティの始まり、美女の酌が良かったのか、御酒のまわりが早いようで祝賀気分が会場にみち、来賓ともども親睦を深める事ができた。

四宮副委員長（西）の来年は15周年で更に盛大にとの閉会の辞のあと西尾副会長（東）万才三唱もそこそこ、井関ガバナーと大谷次年度ガバナーノミニの手をとり力強い握手、ちょっとしたハプニングに会場われんばかりの大拍手。盛り最高頂に達したところで祝賀会は無事終了、9時散会した。（井上記）

■366地区70～71年度

出席優秀10クラブ決定さる

本年度の各クラブ出席競争は、月信第1号記載の規定により行いましたが、年間の結果は次のとおり決定いたしました。これら10クラブに対して出席優秀旗を贈呈いたしますが、今秋行われる各地のインターシティー・ゼネラル・フォーラムの席上で新ガバナーからお渡しいたします。なお第1位に対して贈られる大優勝旗は明春の地区年次大会において贈呈いたします。

第1位（優勝）	橋 本
第2位	高 槻
第3位	和 泉
第4位	大阪西南
第5位	大阪淀川
第6位	和歌山東
第7位	河内長野
第8位	茨 木
第9位	箕 面
第10位	堺 南

■7月末をもって事務所閉鎖

1年数か月にわたり和歌山市西汀丁に開設しておりましたガバナー事務所も、7月末をもって閉鎖いたします。長い間、関係の皆さまに御連絡やら御訪問をいただき又種々御厚配を賜わりまして誠にありがとうございました。なお万事不行届のため御迷惑をおかけいたしましたことをおわび申し上げます。

今後何か御用の向きは

井関久楠宅（和歌山市松ガ丘1-5-7

☎641 電話（0734）44 1230）

又は和歌山ロータリークラブ事務所

（和歌山市西汀丁 経済センター2階

☎640 電話（0734）23 9031）

あて御連絡下さい。

6 月 出 席 報 告

(Attendance Report for June)

順位	クラブ名	例会 数	会員 数	期初と の増減	出席率	前月 順	順位	クラブ名	例会 数	会員 数	期初と の増減	出席率	前月 順
1	大阪西南	5	67	+15	100.00	1	30	大阪西	4	95	+4	95.74	20
2	河内長野	4	56	—	100.00	3	31	大阪城南	4	47	+8	95.74	45
3	橋 本	4	55	—	100.00	2	32	御 坊	4	64	+4	95.53	41
4	高 槻	4	53	+1	100.00	4	33	六 東	5	36	+2	95.48	53
5	有 田	4	49	-1	98.98	8	34	枚 方	5	52	+3	95.38	50
6	大阪阪南	5	54	+8	98.89	7	35	和歌山南	4	60	+5	95.34	29
7	大阪天満橋	4	58	+8	98.73	16	平均出席率					95.29%	
8	和 泉	5	62	+4	98.33	5	36	大阪住吉	4	73	+1	95.17	28
9	大阪淀川	4	68	-2	98.14	12	37	新 宮	5	52	-2	95.05	22
10	茨 木	5	49	-2	97.78	17	38	富田林	4	56	+3	95.00	40
11	和歌山東	4	78	+7	97.73	13	39	寝屋川	4	25	+1	95.00	32
12	松 原	5	52	+4	97.69	37	40	和 歌 山	5	94	+1	94.94	21
13	泉大津	4	71	—	97.50	10	41	泉佐野	4	60	+4	94.54	25
14	堺 南	4	70	+5	97.41	19	42	海 南	5	57	+3	94.28	26
15	白 浜	4	41	+5	96.95	24	43	枚 岡	4	41	-1	93.86	42
16	大阪西北	5	51	+13	96.86	18	44	大阪南	5	153	+5	93.34	39
17	大阪東淀	4	31	+31	96.69	15	45	貝 塚	5	52	+6	92.94	47
18	大 阪 東	4	91	+4	96.59	27	46	攝 津	4	31	+31	92.74	9
19	池 田	4	51	+2	96.56	31	47	田 辺	4	69	+4	92.55	35
20	岸和田	5	58	-1	96.55	38	48	八 尾	5	54	+4	92.55	51
21	大阪心斎橋	4	29	+29	96.55	54	49	堺	4	113	+2	92.34	43
22	箕 面	4	28	—	96.43	11	50	守 口	5	53	+2	91.70	46
23	堺 東 南	4	32	+1	96.19	34	51	大阪北	5	167	+10	91.37	49
24	高 石	5	42	—	96.18	6	52	大阪柏原	4	26	+5	91.35	23
25	東大阪	5	62	+7	96.00	36	53	大 阪	4	299	+1	87.91	52
26	粉 河	5	30	+2	96.00	14	54	那智勝浦	4	34	-1	87.50	48
27	豊 中	5	55	+2	95.99	33	55	和歌山東南	4	24	+24	86.46	56
28	豊中南	4	31	+3	95.97	44	56	門 真	4	25	—	86.12	55
29	吹 田	4	59	—	95.77	30	合 計					245 3,445 +274 5,336.38	

1970-71年度平均出席率

(Average Attendance Report for 1970-71)

順位	クラブ名	年間平均 会 員 数	出 席 率	順位	クラブ名	年間平均 会 員 数	出 席 率
1	橋 本	56	100.00	30	大 阪 西 北	48	95.15
2	高 槻	53	100.00	31	田 辺	67	95.12
3	和 泉	61	99.55	32	大 阪 東	88	94.98
4	大 阪 西 南	62	99.18	33	那 智 勝 浦	34	94.88
5	大 阪 淀 川	68	98.85	34	海 南	56	94.69
6	和 歌 山 東	77	98.25	35	堺	113	94.58
7	河 内 長 野	57	98.21	36	富 田 林	55	94.47
8	茨 木	52	97.96	37	枚 方	52	94.47
9	箕 面	29	97.65	38	大 東	34	94.24
10	堺 南	66	97.61	39	大 阪 城 南	44	93.83
11	泉 大 津	71	97.56	40	枚 岡	40	93.78
12	新 宮	54	97.14	41	貝 塚	53	93.59
13	高 石	43	97.03	42	白 浜	40	93.57
14	大 阪 阪 南	50	96.97	43	八 尾	52	93.25
15	松 原	48	96.68	44	大 阪 東 淀	28	92.76
16	和 歌 山	96	96.56	45	寝 屋 川	25	92.71
17	有 田	49	96.48	46	大 阪 北	162	92.66
18	泉 佐 野	57	96.41	47	池 田	50	92.47
19	粉 河	28	96.36	48	大 阪 柏 原	24	92.41
20	大 阪 天 満 橋	56	96.10	49	攝 津	28	92.26
21	大 阪 西	94	95.90	50	堺 東 南	33	91.35
22	豊 中	53	95.79	51	豊 中 南	29	91.25
23	吹 田	59	95.58	52	大 阪	293	90.40
24	東 大 阪	58	95.55	53	守 口	52	90.39
25	岸 和 田	58	95.54	54	門 真	25	90.00
26	御 坊	62	95.49	55	大 阪 心 斎 橋	29	87.85
27	大 阪 住 吉	73	95.34	56	和 歌 山 東 南	25	87.63
28	和 歌 山 南	59	95.32		合 計	3,381	5,318.99
29	大 阪 南	153	95.19		平均出席率		94.98%